

スタンドアロン NVR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

3.1.x.78/ 5.1.x.78/ 6.1.x.78

目次

1.0 はじめに	7
安全にお使いいただくために	9
本製品をお使いになる前に	14
1.1 ハードウェアの仕様	15
DS-1202 シリーズ	15
DS-2205B UHD シリーズ	16
DS-4220B UHD シリーズ	17
DS-4220-RM UHD シリーズ ※受注生産品	18
DS-16364-RM UHD シリーズ ※受注生産品	19
MN-2100 UHD シリーズ ※受注生産品	20
DS-4220 UHD シリーズ ※廃盤	21
1.2 LED インジケーター	22
DS-1202 シリーズ	22
DS-2205B UHD シリーズ	24
DS-4220B UHD シリーズ	26
DS-4220-RM UHD シリーズ ※受注生産品	28
DS-16364-RM UHD シリーズ ※受注生産品	30
MN-2100 UHD シリーズ ※受注生産品	32
DS-4220 UHD シリーズ ※廃盤	33
1.3 デュアル・モニター仕様 : HDMI	35
2.0 NVR の準備	36
2.1 クライアント PC の要求仕様	36
2.2 電源アダプタの抜け防止	37
DS-2205B UHD	37
DS-4220B UHD	39

2.3 NVR への接続	41
2.3.1 EZ Search.....	41
2.3.2 ライブ表示の実行	50
2.4 その他.....	52
2.4.1 ファイルの改ざんチェック（NVRCheck）	52
2.4.2 エクスポートした録画データの再生（NVRPlayer）	53
3.0 PC での操作.....	57
3.1 ライブ画面.....	57
3.1.1 表示モードの変更	57
3.1.2 ライブ画面の主な機能.....	58
3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）	70
3.1.4 音声双方向機能	72
3.1.5 音声通話機能	72
3.1.6 マルチ・サーバー	73
3.1.7 ダイナミック E-map 機能.....	75
3.1.8 アラーム画像表示機能.....	83
3.1.9 マニュアル一括録画機能.....	84
3.2 録画再生.....	86
3.2.1 録画再生	86
3.2.2 録画再生画面の主な機能.....	90
3.2.3 スマートサーチ・AI 検索※Beta 版の機能となります。	95
3.2.4 アドバンスド検索機能.....	100
3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能	104
3.2.6 ファイルのエクスポート.....	105
3.2.7 エクスポートしたファイルの再生	108
3.3 PC による録画フォルダへのアクセス（SMB/FTP）	110

3.3.1 Windows ネットワーク	110
4.0 ローカル・ディスプレイの操作.....	112
4.1 NVR へのログイン.....	112
4.1.1 バーチャル・キーボード	112
4.2 ライブ表示.....	113
4.2.1 ライブ表示モードの選択	113
4.2.2 ライブ表示の主な機能.....	114
4.2.3 映像設定	120
4.2.4 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）	126
4.3 録画再生	128
4.3.1 録画再生	128
4.3.2 録画再生の主な機能.....	131
4.3.3 音声の再生	133
4.3.4 スナップショット.....	134
4.3.5 録画映像のエクスポート	135
4.3.6 ブックマーク機能.....	136
4.3.7 AI 検索機能 ※Beta 版の機能です。	137
4.3.8 アドバンスド検索機能.....	138
5.0 設定	139
5.1 カメラ設定.....	139
5.1.1 カメラ設定	139
5.1.2 映像設定	146
5.1.3 カメラの状態	147
5.2 録画とイベント.....	149
5.2.1 録画モード	149
5.2.2 録画スケジュール.....	151

5.2.3	スナップショットのスケジュール	152
5.2.4	イベントスマート録画.....	154
5.2.5	録画グループ	154
5.2.6	タイムラプス録画	155
5.2.7	イベントと動作の管理.....	155
5.2.8	詳細設定	165
5.2.9	イベントと動作の情報.....	166
5.2.10	E メール.....	166
5.3	ディスク管理	168
5.3.1	ディスク管理	168
5.3.2	ストレージ管理	169
5.3.3	ファイル共有サービス.....	170
5.4	スケジュールエクスポート設定	172
5.4.1	スケジュールエクスポート設定	172
5.4.2	USB バックアップ	174
5.4.3	エッジバックアップ ※開発中の機能です。	176
5.4.4	バックアップサーバー機能.....	177
5.5	ネットワーク設定	178
5.5.1	ネットワークのセットアップ	178
5.5.2	ネットワーク・サービス.....	181
5.5.3	設備検査ツール	183
5.5.4	DDNS.....	184
5.5.5	YouTube ライブ.....	185
5.5.6	SNMP サーバー	186
5.6	管理.....	191
5.6.1	ユーザー管理	191

5.6.2 フェイルオーバー.....	194
5.6.3 定期通知機能.....	196
5.7 外部デバイス.....	197
5.7.1 PoE スイッチ制御.....	197
5.7.2 POS Syetem.....	197
5.7.3 Web リンク機能.....	198
5.7.4 Modbus IO Device.....	198
5.7.5 AI BOX.....	199
5.7.6 AXIS IO デバイス.....	199
5.7.7 Access Control.....	200
5.7.8 UPS 管理.....	200
5.7.9 パトライト.....	203
5.7.10 IP Controller.....	204
5.8 システム.....	205
5.8.1 機器情報.....	205
5.8.2 ログ・システム.....	206
5.8.3 設定の保存と読み込み.....	209
5.8.4 ハードウェア設定.....	210
5.8.5 システムのアップグレード.....	211
5.8.6 日付と時間.....	214
5.8.7 言語.....	215
5.8.8 再起動とシャットダウン.....	216
こんな時は？.....	220

1.0 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

- 本製品は本書内で「NVR」または「DIGISTOR」と呼ばれます。
- 本ユーザー・マニュアル（バージョン 3.1.0.78 〈UHD 用〉、5.1.0.78 〈ラックマウント用〉、6.1.0.78 〈DS-2205B UHD /4220B UHD 用〉）は、DIGISTOR ファームウェアの Ver78 にのみ適用されます。DIGISTOR が古いバージョンのファームウェアで稼働している場合は、応じたバージョンのユーザー・マニュアルをご覧ください。
- 本書は DIGISTOR のすべての機能について解説を行っております。特定の機種によっては、その機能をサポートしていない場合があります。

= 保証の範囲 =

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。



注意：

1. 貴重なデータを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。
弊社はデータの損失並びにデータの修復に関して、一切の責任を負わないものとします。
2. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。
火災、感電、けが、器物損壊の
原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼
してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や
感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連
絡してください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部
が劣化するなど、そのまま使用
すると火災・落下によるけが、
器物損壊の原因となります。

- 放置せずにただちに電源を切り、販売店
に連絡してください。



機器の上や周囲に水などの 入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災
や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、
販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは 定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、
湿気などで絶縁不良となり、火
災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布
でふいてください。

不安定な場所に置かない

落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねるなど

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行って使用してください。アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください
(アース工事費は本製品の価格には含まれておりません)。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

注意

通気孔をふさがない  内部に熱がこもり、火災の原因となります。

機器設置の注意点

●取扱説明書を読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

●電源

必ず、製品付属の AC アダプタをご利用ください（※該当機種のみ）。

●修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

●警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

== 安全にお使いいただくために ==

1. 本製品は外気温 0-40 度、湿度 20-80%の環境下（※結露なきこと）でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。

6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. 万が一の感電防止のためアース（接地）することをお勧めします。
9. レコーダー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的（1-2 ヶ月）に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
10. 電源コードの上にものを置かないでください。
11. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
12. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。

規制の通知



FCC（連邦通信委員会）通知

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地区で使用する際に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させる恐れがあります。ただし、特定の設置環境で干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信を妨害していることを、機器のオフ/オン切り替えにより確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を移動する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- この機器を、受信機が接続されている回線と別のコンセントに接続する。
- 販売代理店か、ラジオ、テレビに詳しい技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利が無効になることがあります。

シールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。



CE 通知

クラス B のみ。

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が、すべて揃っているかご確認ください。

また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

DS-1202 シリーズ



- ① 電源ボタン
- ② LED インジケーター：電源
- ③ LED インジケーター：システム
- ④ LED インジケーター：ネットワーク
- ⑤ LED インジケーター：USB
- ⑥ LED インジケーター：HDD
- ⑦ バックアップボタン
- ⑧ USB 3.0 ×2
- ⑨ HDD
- ⑩ HDD ※使用不可
- ⑪ USB 3.2 Gen 1×1
- ⑫ HDMI
- ⑬ ギガビット LAN×2
- ⑭ リセットボタン
- ⑮ 電源入力
- ⑯ K-lock
- ⑰ ケーブルクランプ [ケーブル抜止用]

DS-2205B UHD シリーズ



- ① 電源 LED インジケータ
- ② システム LED インジケータ
- ③ HDD LED インジケータ
- ④ ネットワーク LED インジケータ
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.2 Gen 2×1（自動バックアップで使用）
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ 2.5 ギガビット LAN
- ⑩ USB 3.2 Gen 2×1
- ⑪ HDMI 2.0b
- ⑫ USB2.0
- ⑬ リセットボタン
- ⑭ 電源コネクタ
- ⑮ K ロック用スロット

DS-4220B UHD シリーズ



- ① 電源 LED インジケーター
- ② システム LED インジケーター
- ③ HDD LED インジケーター
- ④ ネットワーク LED インジケーター
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.2 Gen 2×1 (自動バックアップで使用)
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ HDD3
- ⑩ HDD4
- ⑪ 2.5 ギガビット LAN
- ⑫ USB 3.2 Gen 2×1
- ⑬ HDMI
- ⑭ USB 2.0
- ⑮ リセットボタン
- ⑯ DC 入力
- ⑰ K-lock 用スロット

DS-4220-RM UHD シリーズ ※受注生産品



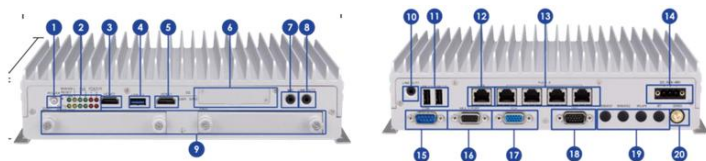
- ① HDD1～4 LED インジケータ
- ② ネットワーク LED インジケータ
- ③ 電源 LED インジケータ
- ④ USB バックアップ・ボタン
- ⑤ 2×USB 3.2 Gen1x1
- ⑥～⑨ HDD 1～4
- ⑩ リセットボタン
- ⑪ DI/DO (入力 4 / 出力 4)
※左から右に : Vin (max24V) / DI_GND / DI-4 / DI-3 / DI-2 /
DI-1 /COM/DO-4/DO-3/DO-2/DO-1
- ⑫ 2×2.5 ギガビットイーサネットポート
- ⑬ 4×USB 3.2 Gen 1×1 ポート
- ⑭ 2×HDMI (2.0a)
- ⑮ 電源コネクタ
- ⑯ 電源スイッチ

DS-16364-RM UHD シリーズ ※受注生産品



- ① HDD1～16 LED インジケータ
- ② ネットワーク LED インジケータ
- ③ 電源 LED インジケータ
- ④ USB バックアップ・ボタン
- ⑤ 2×USB 3.2 Gen1x1
- ⑥ ～⑳ HDD 1～16
- ㉑ リセットボタン
- ㉒ DI/DO（入力 4 / 出力 4）
※左から右に：Vin（max24V） / DI_GND / DI-4 / DI-3 / DI-2 /
DI-1 / COM/DO-4/DO-3/DO-2/DO-1
- ㉓ 2×2.5 ギガビットイーサネットポート
- ㉔ 4×USB 3.2 Gen 1×1 ポート
- ㉕ 2×HDMI（2.0a）
- ㉖ 電源コネクタ
- ㉗ 電源スイッチ

MN-2100 UHD シリーズ ※受注生産品



- ① 電源ボタン
- ② LED インジケーター
- ③ HDMI 2
- ④ USB3.2 Gen1×1
- ⑤ HDMI 1
- ⑥ Reserved
- ⑦ Reserved
- ⑧ Reserved
- ⑨ SSD
- ⑩ Reserved
- ⑪ USB 2.0
- ⑫ ギガビットイーサネットポート
- ⑬ PoE
- ⑭ 電源入力 (DC 9V ~ DC48V)
- ⑮ Reserved
- ⑯ Reserved
- ⑰ D-SUB15 ピン
- ⑱ DI・DO
- ⑲ Reserved
- ⑳ Reserved

DS-4220 UHD シリーズ ※廃盤



- ① 電源 LED インジケータ
- ② システム LED インジケータ
- ③ HDD LED インジケータ
- ④ ネットワーク LED インジケータ
- ⑤ USB バックアップ・ボタン
- ⑥ USB 3.0 x 2 (自動バックアップで使用)
- ⑦ HDD1
- ⑧ HDD2
- ⑨ HDD3
- ⑩ HDD4
- ⑪ HDMI 2.0 x 2
- ⑫ USB 3.2 x 2
- ⑬ 2.5 ギガビット LAN
- ⑭ リセットボタン
- ⑮ DC 入力
- ⑯ K-lock 用スロット

1.2 LED インジケーター

DS-1202 シリーズ



LED	LEDの色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	ブルー点滅	スリープモードから復帰中
	オレンジ	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムがオフの状態
	グリーン点滅	システムが起動中または、シャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
	パープル点滅	LAN 接続が確立しアクセスを行っている状態
USB	グリーン	USB の準備ができています
	グリーン点滅	データアクセス状態です。
HDD	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態

	グリーン点滅	HDD へアクセス中の状態
	レッド	1, HDD がエラー状態です 2. HDD の稼働時間が規定値を超えています。

背面 RJ-45 の LED の状態 :

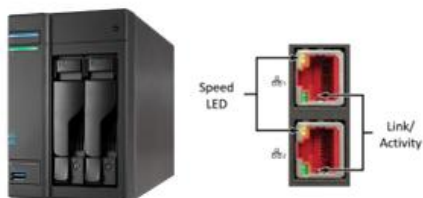
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN1	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
LAN2		グリーン	LAN 接続が確立している状態
		グリーン	LAN にアクセスしている状態
LAN1	Speed (左側)	消灯	接続していません
LAN2		グリーン	2,500Mbps 接続の状態
		オレンジ	1,000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-2205B UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムが OFF の状態
	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障している状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

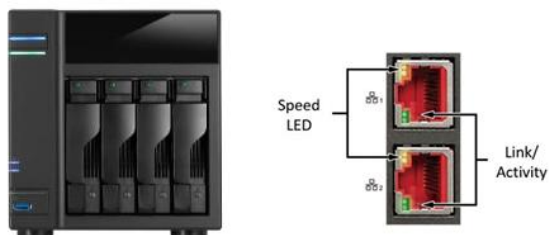
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		グリーン	LAN 接続が確立している状態
		グリーン点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		オレンジ	100/1000Mbps 接続の状態
		グリーン	2.5Gbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-4220B UHD シリーズ



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
システム	消灯	システムが OFF の状態
	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 ～ HDD4	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障し取り外しが必要な状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		グリーン	LAN 接続が確立している状態
		グリーン点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		オレンジ	1000/100Mbps 接続の状態
		グリーン	2.5Gbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-4220-RM UHD シリーズ ※受注生産品



※参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD4	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	オレンジ点滅	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

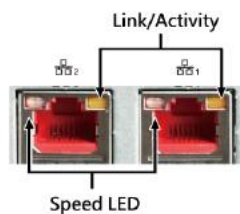
LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps / 100Mbps 接続か 未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の場合
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

DS-16364-RM UHD シリーズ ※受注生産品



※参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
HDD1 ～ HDD16	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	オレンジ点滅	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps / 100Mbps 接続か 未接続の状態
		グリーン	100Mbps 接続の場合
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意 :

* USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。

※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます (※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください)。

MN-2100 UHD シリーズ ※受注生産品



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
LAN	消灯	LAN が接続されていない状態
	グリーン点滅	LAN が接続されアクセスしている状態
PoE1,2 PoE3,4	消灯	電源供給されていないか、接続されていない状態
	グリーン点滅	電源供給され、アクセスしている状態
SSD	消灯	SSD が接続されていない状態
	イエロー点滅	SSD にアクセスされている状態
システム	消灯(左右上)	SSD の準備ができている状態
	レッド (右上)	SSD1 不良
	レッド (左上)	SSD2 不良
	消灯	USB デバイスが接続されていないか もしくは、バックアップ完了
	レッド (左下)	バックアップ進行中
	レッド (左上)	バックアップエラー

DS-4220 UHD シリーズ ※廃盤



参考図

正面の LED の状態：

LED	LED の色と状態	意味
電源	消灯	電源オフの状態
	ブルー	電源オンの状態
	レッド	スリープモード※UPS による
システム	グリーン点滅	システム起動中またはシャットダウン中
	グリーン	システム稼働状態
	レッド	USB デバイスのエラー状態
LAN	消灯	LAN 接続が確立していない状態
	ブルー点滅	LAN 接続が確立している状態
USB	グリーン	USB 機器がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD にアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障し取り外しが必要な状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続されていない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10Mbps 接続か未接続の状態
		レッド	100Mbps 接続の状態
		オレンジ	1000Mbps 接続の状態

注意：

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- ※リセットボタンを押すとカメラ設定、録画設定、イベント設定、Email 設定が消去されます（※設定ファイルを適用するには、設定と保存の読み込みを参照ください）。

1.3 デュアル・モニター仕様 : HDMI

DIGISTOR シリーズ（※DS-1202 を除く）は、映像出力用に 2 ポートを持
ちます*。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力
可能です（※複製モード、拡張モード、個別モードと画像表示モードの選択
が可能）。

***映像出力用の端子は、機種によって異なります。**

DS-2205(B)UHD・DS-4220(B) UHD・

DS-16364-RM-UHD・DS-4220-RM UHD …… HDMI/HDMI

**※DS-1202 は HDMI が 1 ポートのため、デュアル・モニター機能非対応
です。**

**※複製モード／拡張モード／個別モード／画像表示モードは、ディスプレイ
2 台ともフル HD である必要があります。**

*** 4K モニター（解像度 3840×2160）使用時、デュアル・モニター機能は
使用できません。**

複製モード：2 つのモニターに同じ映像を出力します。

拡張モード：2 つのモニターに異なる映像を出力します。※1

個別モード：2 つのモニターに異なる映像を出力します。※2

画像表示モード：モニター2 にアップロードした画像データを表示するこ
とができます。※3

※1 同じカメラを 2 つのモニターに表示することはできません。

※2 同じカメラを 2 つのモニターに表示することができます。

※3 画像データアップロード後、ライブ画面の画像表示ボタンより画像を選
択してください。

※4 表示できるカメラ台数は最大 64 台です。

注意：デュアル・モニター機能使用時に著しく負荷率が上昇した場合は、カ
メラの表示台数を減少させ調整を行って

2.0 NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

- オペレーティング・システム

Microsoft Windows 11 Professional 64bit

- ブラウザ

Microsoft®Edge

- CPU

Intel®Core i7-14700F 相当

- ネットワーク

1Gbps 程度

注意：カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

- メモリ

16GB 程度

- グラフィックカード

NVIDIA® GeForce® RTX4060/8GB 相当

- Adobe Reader

マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

2.2 電源アダプタの抜け防止

付属の電源アダプタ抜け防止を使用することで、電源コードを固定できます。

※DS-1202 シリーズは、背面のケーブル抜け防止アダプタを使用します。

DS-2205B UHD

- ① 付属品箱からコードブラケットを取り出してください（右写真）。



- ② 写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



- ③ ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



- ④取り外した箇所にブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。



DS-4220B UHD

- ① 付属品箱からコードブラケットを取り出してください（右写真）。



- ② 写真を参考にコードブラケットを電源コードに取り付けてください。



- ③ ファンのネジを反時計まわりに緩めて取り外します。



- ④取り外した箇所にブラケットを合わせ、ブラケット用のネジで固定してください。



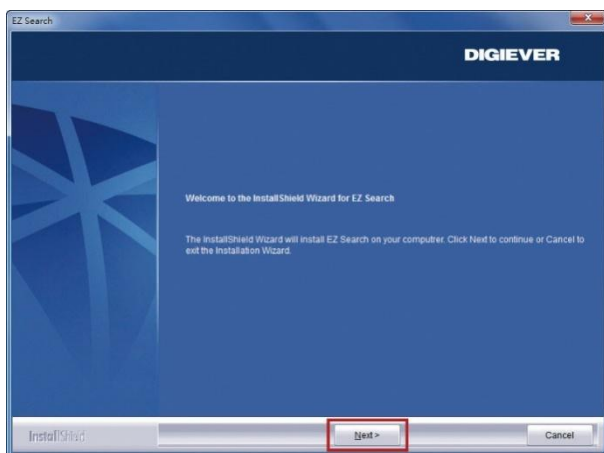
2.3 NVR への接続

まず、弊社ホームページより NVR に接続するためのソフトウェアをダウンロードし、PC にインストールしてください。

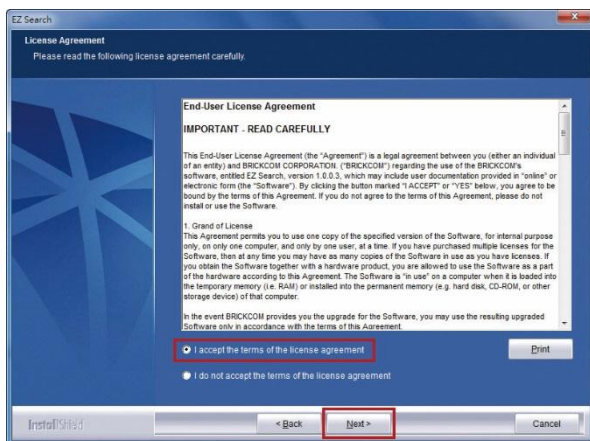
- ① EZ Search ---- NVR を検索するソフトウェアです。

2.3.1 EZ Search

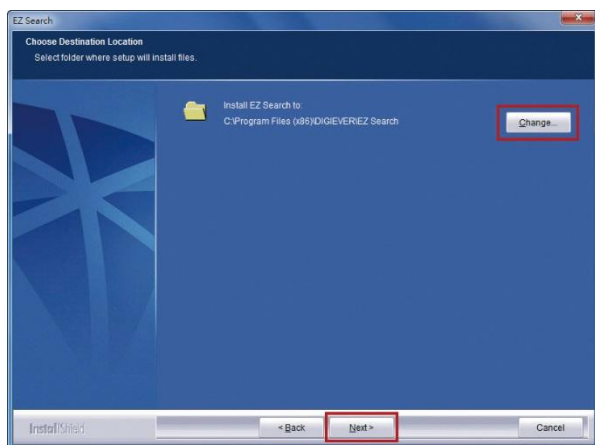
「Install EZ Search」をクリックして NVR 検索ユーティリティを PC にインストールします。



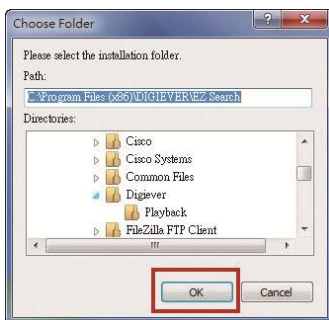
インストールウィザードが起動するので、
「Next」をクリックしてインストールを続行します。



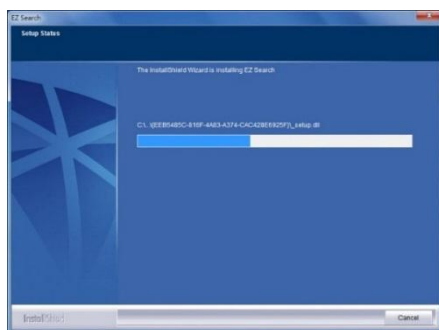
内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。



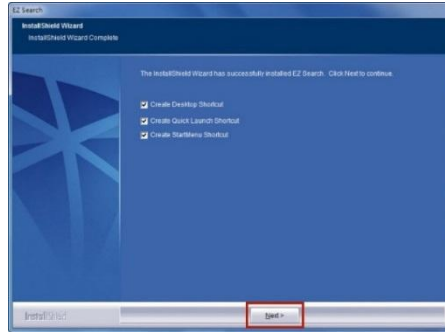
EZ Search は C:\Program Files (x86) \DIGIEVER\EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。



インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

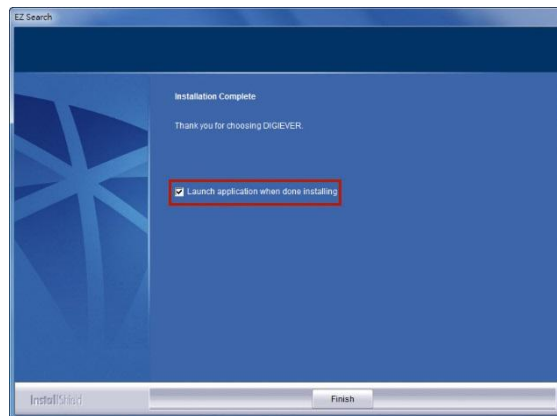


EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。

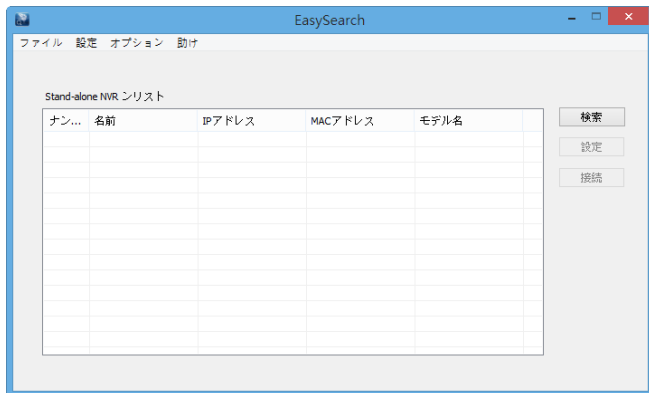


インストールが完了しました。

「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

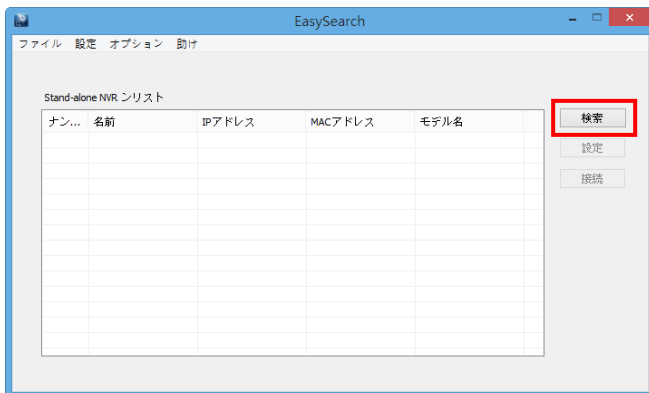


EZ Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「検索」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

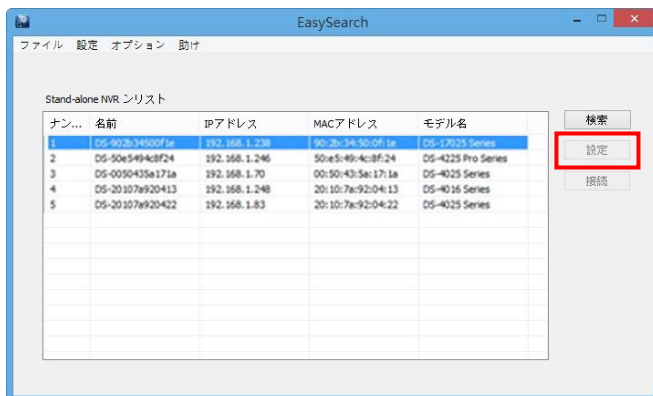
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. 検索



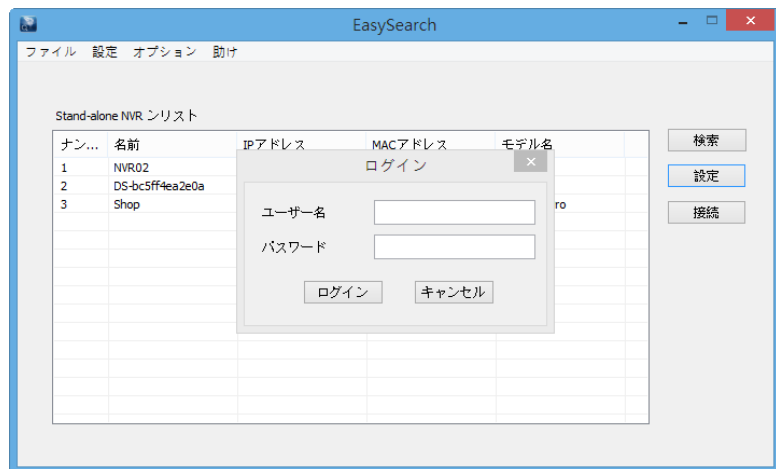
「検索」ボタンを押すと、検索を行います。

2. 設定



「設定」ボタンをクリックすると、次ページのログイン画面が表示され、ネットワーク設定を変更することができます。

注意: 設定を変更するためには NVR の管理者 ID とパスワードが必要です。



NVR の設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後、「ログイン」をクリックします。

※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」

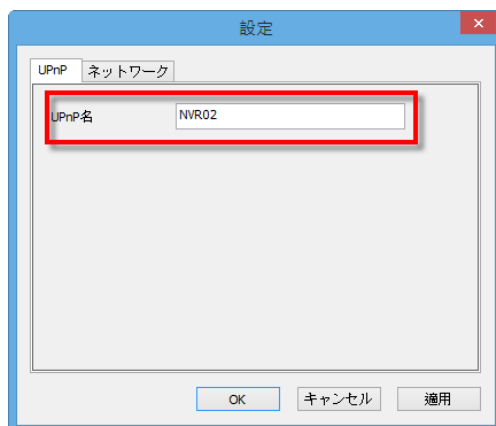
3.接続

NVR を選択し、「接続」ボタンを押すと、NVR に接続します。

右上の「×」をクリックすると、EZ Search は終了します。

1) UPnP

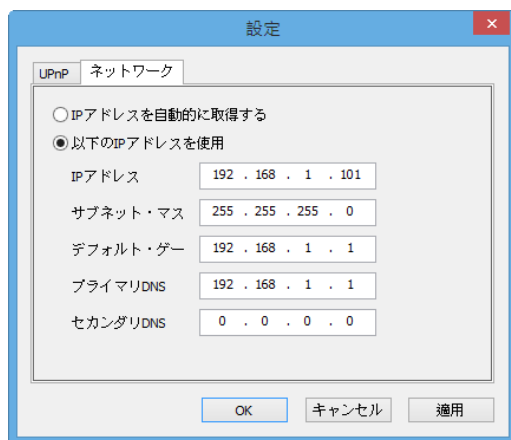
UPnP (Universal Plug and Play) で表示される名称を変更できます。
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。



The image shows a dialog box titled "設定" (Settings) with a red close button. It has two tabs: "UPnP" and "ネットワーク" (Network). The "UPnP" tab is selected. Inside the dialog, there is a text input field labeled "UPnP名" (UPnP Name) containing the text "NVR02". This field is highlighted with a red rectangular border. At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用" (Apply).

2) ネットワーク

ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と固定 IP の設定による手動設定が選可能です。

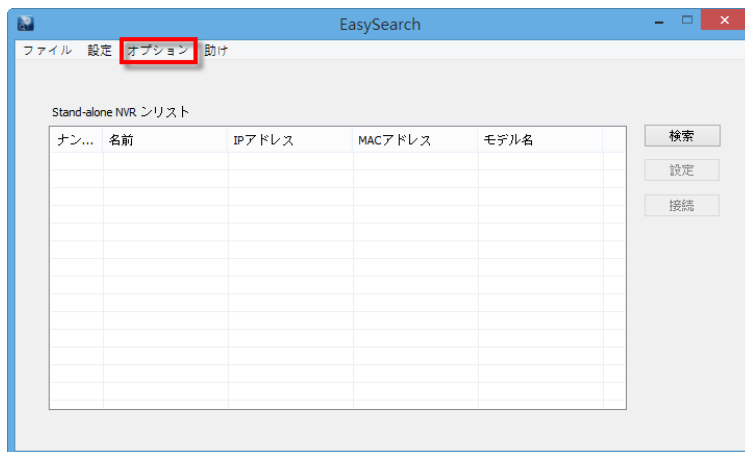


The image shows a dialog box titled "設定" (Settings) with a red close button. It has two tabs: "UPnP" and "ネットワーク" (Network). The "ネットワーク" tab is selected. Inside the dialog, there are two radio buttons: "IPアドレスを自動的に取得する" (Obtain IP address automatically) and "以下のIPアドレスを使用" (Use the following IP address). The second option is selected. Below the radio buttons, there are five rows of input fields for network configuration:

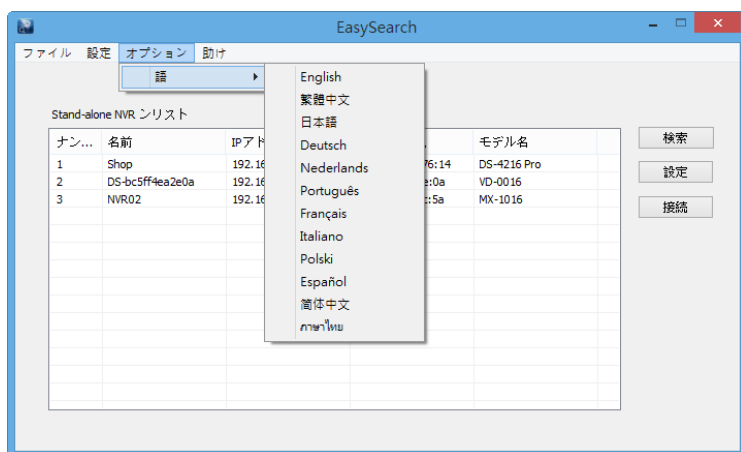
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 101
サブネット・マス	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト・ゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
プライマリDNS	192 . 168 . 1 . 1
セカンダリDNS	0 . 0 . 0 . 0

At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用" (Apply).

3) オプション



表示言語を変更できます。

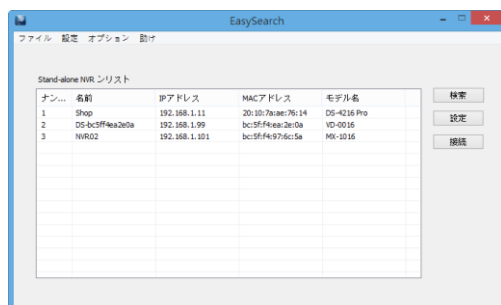


2.3.2 ライブ表示の実行

1. NVR への接続

1) EZ Search を使って接続する

Ez Search を立ち上げ、リストから NVR を選んで「接続」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、NVR に接続します。



2) ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

注意：NVR の IP アドレスを、ブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名／パスワードを入力し、ログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

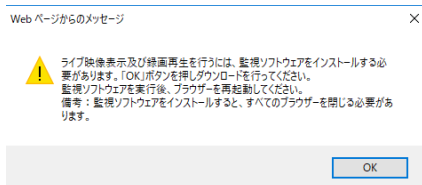
ドロップダウンリストで言語を指定してください。



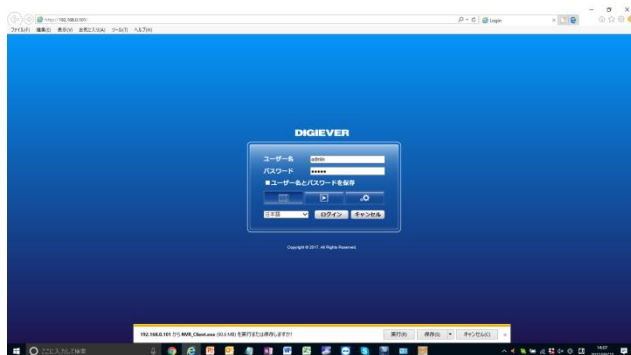
4. NVR-Client のインストール実行

初めて NVR に接続した際、NVR-Client をインストールする必要があります。

- 1) その後、下記のメッセージが表示されますので、「OK」を押してください。



- 2) 次に「実行」をクリックし、ソフトウェアのダウンロード、ソフトウェアのインストールを行ってください。



NVR-Client をインストールすると、PC を使用してモニタリングが行えます（※ネットワークの状況によっては、時間がかかることがあります）。

また、NVR-Client をインストールすると、デスクトップ上にアイコンが作成されます。そのアイコンをクリックし、IP アドレス／ユーザー名／パスワードを入力してログインすることもできます。

2.4 その他

2.4.1 ファイルの改ざんチェック (NVRCheck)

録画ファイル及び取得したスナップショットには自動的にウォーターマークがつき、NVRCheck を使用することで、不正なファイルでないかのチェックができます。

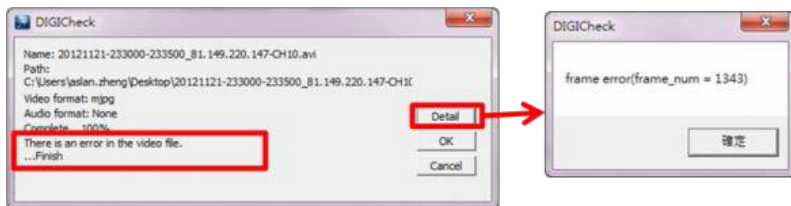
- ①ダブルクリックしてプログラムを起動してください。
- ②確認を行いたいファイルを選択し、OK をクリックしてください。



改ざんされていないファイルの場合、「No error occur.」と表示されます。



改ざんされたファイルの場合は、「There is an error in the video file.」と表示されます。



より詳しい情報が必要な場合は「Detail」ボタンをクリックし、内容を明記の上、販売店までお問合せください。

2.4.2 エクスポートした録画データの再生（NVRPlayer）

NVRPlayer は、エクスポートした録画データの再生を行うことができるプログラムです。

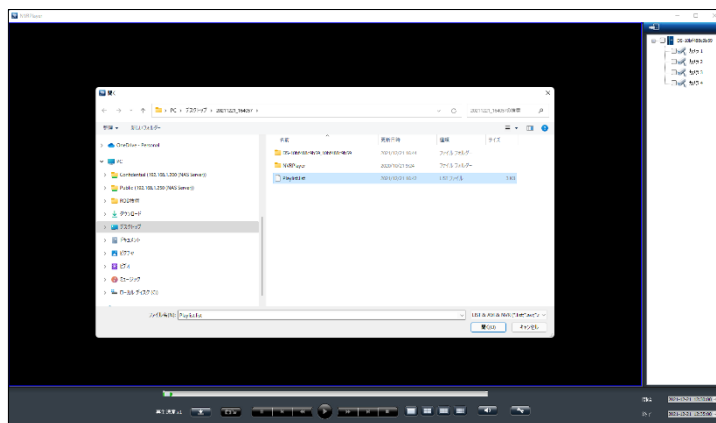
（※Windows へのインストールは必要ありません）

AVI ファイルのエクスポート時に、毎回ダウンロードを促すメッセージが出てきますので、そのファイルを、下記の要領で使用してください。

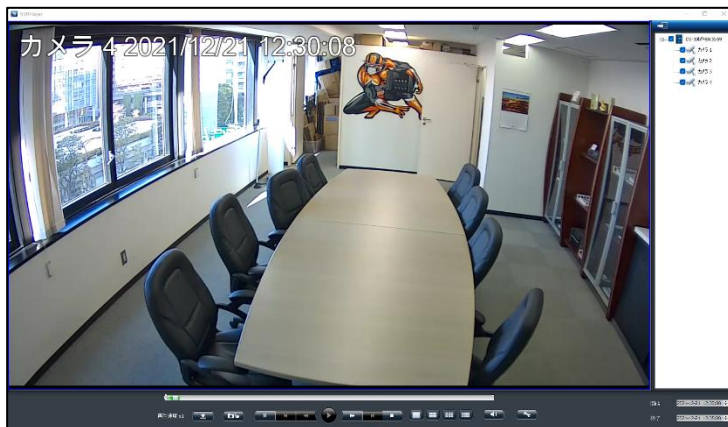


NVRPlayer をクリックして、プレイヤーを展開、NVRplayer フォルダ内、NVRplayer.exe をクリック、再生ソフトウェアを起動してください。

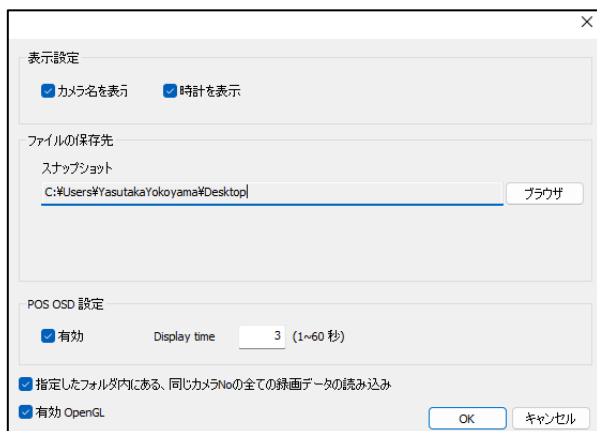
NVRPlayer が起動したら、「開く」ボタンをクリックし、取得したエクスポートフォルダ内の **Playlist.list** ファイルを選択して再生を行ってください。



また、再生時には左上にタイムスタンプが表示されます。



表示設定をクリックすると以下の画面が表示され、下記の内容の表示を変更することができます。



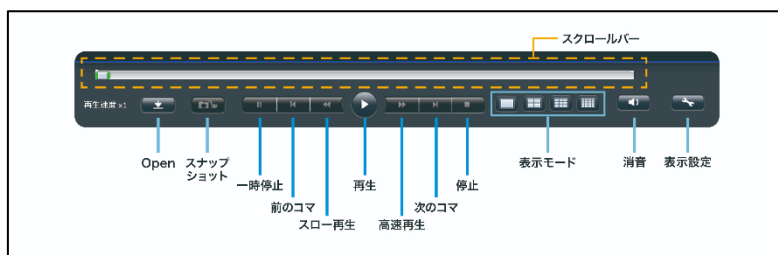
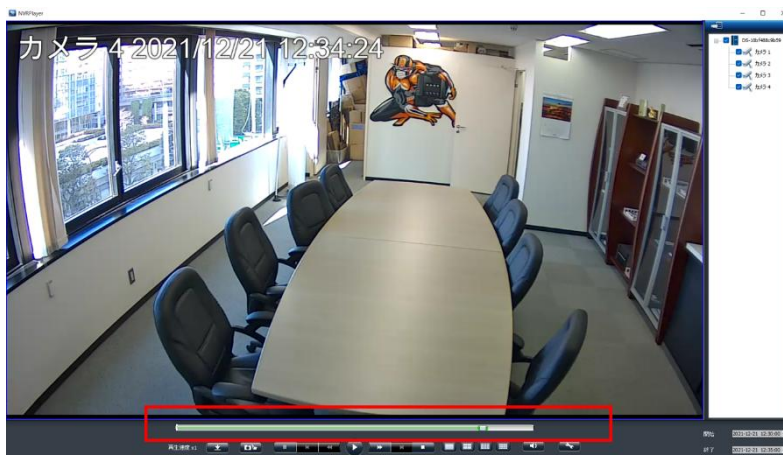
- **カメラ名を表示**：カメラ名の表示・非表示を変更できます。
- **時計を表示**：NVR の時計の表示・非表示を変更できます。
- **ファイルの保存先**：「スナップショットの保存先」を変更できます。
- **POS OSD 設定**：使用しません

- **指定したフォルダ内にある、同じカメラ No の全ての録画データの読み込み**
み : デフォルトでは、1 カメラファイルを選択すると当日のすべての CH 番号の録画データをソートして表示させる仕様です。その機能が必要ない場合は、このチェックを外してください。
- **有効 OPENGL** : PC デコーダー変更するチェックです。録画出力映像に違和感がある場合は、このチェックを ON/OFF してください。

さらに、NVRPlayer の下部にあるタイムバーを動かすことで、選択したファイル内の時間検索を行えます。

※対応している魚眼カメラの展開も可能です (※右クリックでメニューが表示されますので、表示条件を指定して再生を行ってください)。

アイコンの説明



●コマ送り機能

「一時停止」ボタンを押し「次のコマ」or「前のコマ」をクリックすることで、コマ送り／戻しを行います。

●スナップショット

「スナップショット」をクリックすること、で PC にスナップショットを保存します。

Ver.74 より、複数の録画データファイルを選択し、ドラッグ＆ドロップを行うことで、それらの複数ファイルの読み込み、再生できるようになりました。

3.0 PC での操作

3.1 ライブ画面

3.1.1 表示モードの変更



右上 5 つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ウェブリンク： ウェブリンクで設定したリンクにアクセスできます。
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ画面の主な機能



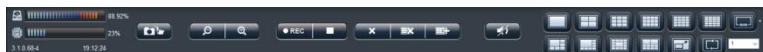
1. カメラの状態

アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： 録画状態を示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択するとその枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

NVR のファームウェア・バージョンを表示します。

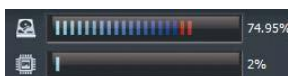


2) ディスク・システム負荷率

ディスクとのシステム負荷率を確認できます。



※使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。

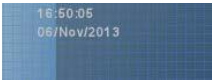


※解像度や FPS、画質の設定により、システム負荷率が高くなります。

安定処理の目安は、常時 80%以下です。

※HDD の上書き中は負荷率が 90%以上になることがありますが、全体のパフォーマンスに影響はありません。

3.基本機能

アイコン	内 容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウィンドウがポップアップします。 1) クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。 2) 保存 画像を設定したフォルダに保存します。 3) キャンセル スナップショットした画像を破棄します。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	マニュアル録画開始： マニュアル録画を開始します。
	マニュアル録画停止： マニュアル録画を停止します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	選択されていない状態：ON 選択されて青くなっている状態：OFF
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4. ライブ表示モード

アイコンをクリックすると、表示レイアウトを変更できます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/ 7×7/8×4/ 8 ×7/8×8 分割表示
	5+1 分割表示
	8 分割画面

	12+1 分割画面
	8+2 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション > 一般設定」で変更できます。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ画面でその操作を行えます。

下記が、そのアイコンの内容となります（※対応カメラのみ）。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。 クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを変えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの手動調整 カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。
	オートフォーカス： フォーカスを自動調整します。 ※オートフォーカス対応カメラ使用時に使用します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： プリセット・ポジションを元に自動巡回設定を行います。 巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回を開始します。

6. イベント・ログ

カメラの接続不良や、モーション検知機能等のイベントのログを表示します。検知するとアイコンが点滅し、アイコンをクリックするとログ・ウィンドウが表示されます。



警告音を有効にすると、イベント動作時に警告音が鳴動します。

(オプション > 一般設定の“警告音の有効／無効”からの設定変更も可能です)

ログのエクスポートを選択すると、NVR のログデータが一括で取得できます。

7. オプション

1) 一般設定



●ライブ映像表示の自動整列

この機能を有効にすると、表示しないカメラを詰めて (=間を詰めて) 表示します。

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する

この機能をチェックすると、すべてのカメラの表示サイズ (※アスペクト比を維持するか? 枠一杯に最大化するか?) を一括で変更できるようになります。

●リレーサーバー設定時、全カメラに設定を適用する

●イベント発生時にウィンドウを強調表示

設定によりイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。
当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示を停止します。

●警告音

この機能を有効にすると、カメラのイベント時に警告音が鳴ります。

●イベント発生時にポップアップ

この機能を有効にすると、イベント発生時に映像のポップアップを行うことができます。1分割もしくは4分割表示でポップアップすることが可能です。※Ver70-3.1～

確認後、 ボタンを押してポップアップ画面を閉じてください。

●“ ”秒後にウインドウを閉じる（5-180 秒）

自動的にポップアップを閉じる場合は、上記メニュー内の“ ”にて秒数の指定を行ってください（※デフォルトは 10 秒です）。

●登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします

“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を有効にすると、NVR のすべてのカメラにおいて、イベント発生時にポップアップを行います（※表示されていないカメラも含む）。

使用しない場合は、現在表示されているカメラに対してポップアップを行います。

注意：ポップアップには最新のイベントの画像が表示されます。

●DG デコードを有効にする（GPU ハードウェアアクセラレーションデコード）

チェックが入った状態で DG デコードが有効になります。

※DG デコード非対応の PC の場合、項目はグレイアウトします。

●自動ミュート機能（指定時間マウス操作が無い場合音声はミュートになります）：30 秒から 300 秒

●スナップショット設定

スナップショットで使用する拡張子を[.bmp]と[.jpg]で選択できます。

●マニュアル録画ボタンの設定

- 選択したカメラをマニュアル録画する

■すべてのカメラをマニュアル録画する

録画モード設定の「マニュアル録画」を有効にすると、モニタリング画面での手動録画機能が使用できます。

この画面では、マニュアル録画ボタンを押下した際の動作の設定が可能です。

●ストリームを自動判別：

PCでのモニタリングで、X 分割以下はストリーム 1 を取得する設定が可能です。※自動判別使用時 デフォルトは 12

2) マルチ・サーバー

マルチ・サーバー使用時のレイアウト情報を本機に保存します。



3) シーケンシャル設定

●シーケンシャル間隔：ページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。（4-6000 秒）

●レイアウト内シーケンシャル機能を使用する：

カメラ枠①に任意のカメラを表示・シーケンシャルすることができる機能です。機能を有効にする場合は☑を入れてください。

また、下記のリストよりカメラを選択してください。

※PCで「5+1」[12+1]のレイアウトのみ使用できます。

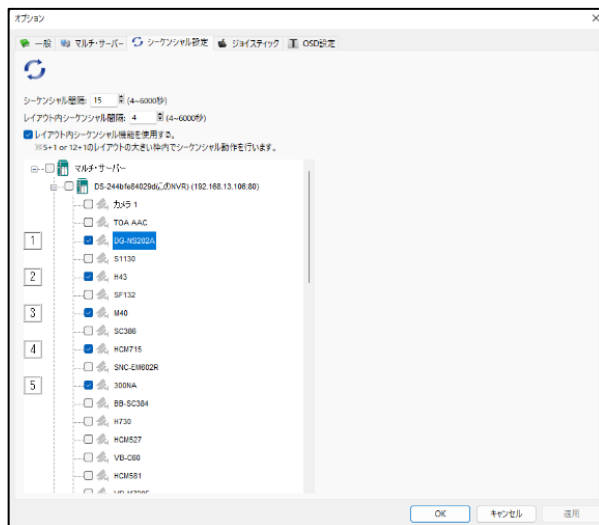


●レイアウト内シーケンシャル間隔：

レイアウトシーケンシャル機能※カメラ枠①内のページの切り替え間隔（秒単位）を設定します。（4-6000 秒）

モニタリング画面のシーケンシャルボタンを押すと、シーケンシャル動作を開始します。

※レイアウト内シーケンシャル機能を使用した場合は、任意の指定したカメラ枠①の映像も併せシーケンシャルを行います。



4) ジョイスティック

PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。
ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。
※ジョイスティックの項目にて、該当するジョイスティックのモデル名
を選択し、「適用」を押してください。



適用後、ジョイスティックによりカメラを操作できます。

3.1.3 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）

アスペクト比	>
ストリーミングの変更	>
カメラの設定ページ	
NVRの設定ページ	
再生画面を開く	
全画面表示	
✓ カメラステータスバー	
ROI	>
魚眼の展開	>
インスタント再生	
動作速度の調整(PTZ)	>

1.アスペクト比: 原寸サイズ、または最大サイズ（ウインドウに合わせる）を切り替え表示できます。

2.ストリーミングの変更: 表示しているストリーミングの切り換えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウインドウ表示用）に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適なストリームが表示されます。

また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。

3.カメラの設定ページ: カメラの設定ページへ移動します。

4.NVR の設定ページ: 新規ページで NVR のカメラ設定ページを表示します。

5.再生画面を開く: 新規ページで録画再生ページを表示します。

6.全画面表示: 全画面表示を終了します。

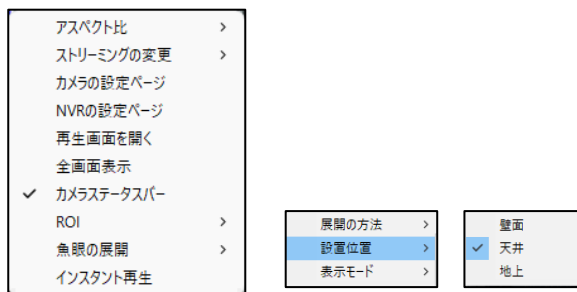
7.カメラステータスバー: カメラ情報などのステータスを表示／非表示の切り替えができます。

8.ROI: ROI を使用します。

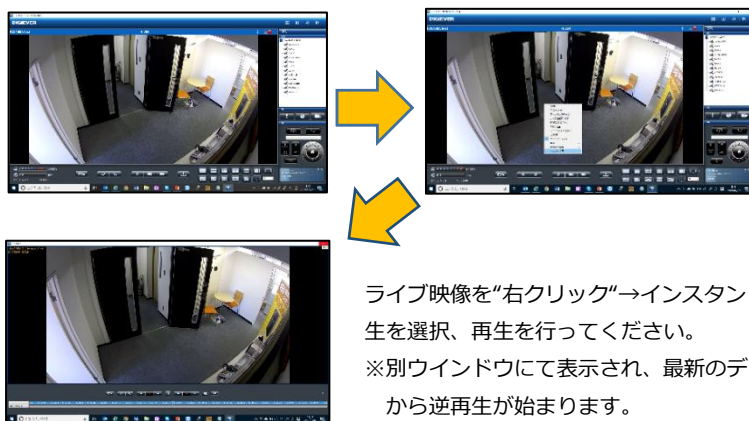
9.魚眼の展開: 全方位カメラの映像を補整する際に使用できます。

(1) 全方位カメラの展開

カメラを選択後、右クリック→下記画面内容にて全方位カメラの設定位置、表示方法の変更を行ってください。



10. インスタント再生：選択したカメラの即時再生を行います。



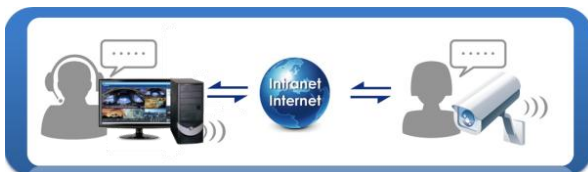
ライブ映像を“右クリック”→インスタント再生を選択、再生を行ってください。
※別ウインドウにて表示され、最新のデータから逆再生が始まります。

11. カメラ IO 制御機能（※対応カメラのみ）：モニタリング画面にて、カメラを選択→右クリックにて「カメラ IO」の出力：ON・OFF の制御ができます。

12. 動作速度の調整 (PTZ)：（※対応カメラのみ） PTZ カメラによっては動作速度の調整ができるものがあります。

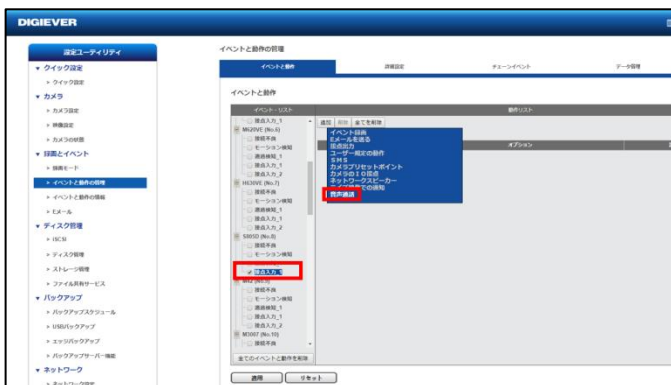
3.1.4 音声双方向機能

音声双方向の機能が使用できます。（※対応機種のみ）



3.1.5 音声通話機能

カメラの IO 入力が入ると（※要設定）、画面を対話モードに切り替えて表示できる機能です。※対応カメラのみ ※PC のみの機能



「イベントと動作」設定にて、対応カメラの IO 入力をクリック、「双方向通話」を選択します。ライブ映像に移行し、カメラの IO に入力が入ると、上記のように画面が切り替わって単画面表示になります。他、拠点からボタンを押されるとリストに追加され、クリックすることで拠点を切り替えて対話ができます。

対話完了時はxを押して完了します。すべての対話が終了すると、通常のレイアウトへ戻ります。

注意：カメラ側のマイクの音声の録音は行いますが、PC もしくは NVR から送信される音声は録音を行いませんのでご注意ください。

3.1.6 マルチ・サーバー

他の NVR を、今アクセスしている NVR に登録して、まとめて管理できます。カメラリストの上にあるアイコンをクリックしてください。

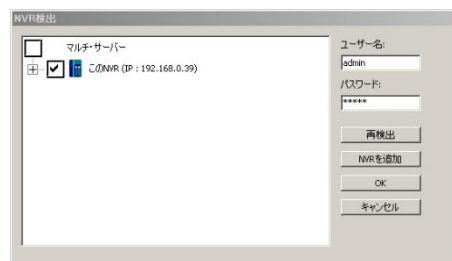
※閲覧用、録画再生用別に設定が必要です。

※最大 512 台の DIGISTOR チャンネルを登録・管理できます。

※マルチ・サーバー使用時は基本、すべてのレコーダーのファームウェアを同じ ver にしてください。



再検出のボタンを押すと NVR を自動的に検索します。追加したい NVR にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。

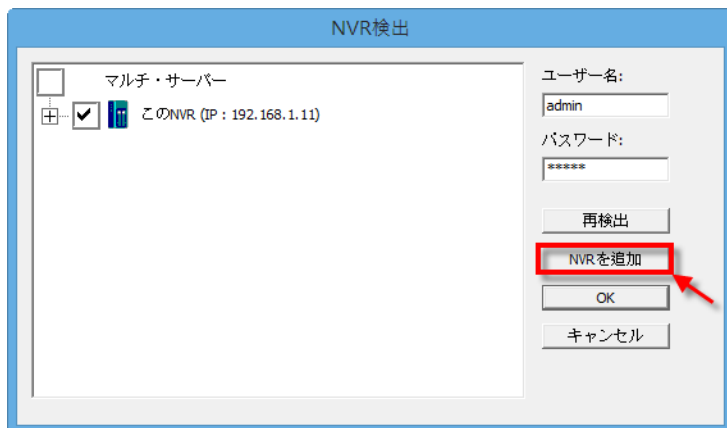


手動で追加する際は、「NVRを追加」をクリックすると右記のウィンドウが表示されます。

NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力することで NVR の追加が可能です。

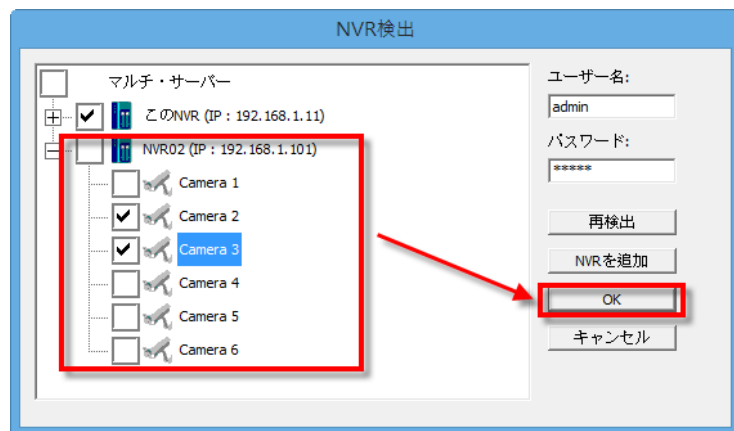


このウィンドウは「NVRを追加」操作時の入力画面です。Web URL、ポート、ユーザー名、パスワードの入力欄と、OK、キャンセルのボタンが配置されています。



「NVR検出」画面のスクリーンショットです。左側のツリーで「このNVR (IP : 192.168.1.11)」が選択されています。右側の入力欄には「ユーザー名: admin」と「パスワード: ****」が入力されています。右下の「NVRを追加」ボタンが赤い枠と赤い矢印で強調されています。

追加したい NVR とカメラを選択して「OK」ボタンを押してください。



「NVR検出」画面のスクリーンショットです。左側のツリーで「NVR02 (IP : 192.168.1.101)」が選択されており、その下の「Camera 3」が青い背景で選択されています。右側の「OK」ボタンが赤い枠と赤い矢印で強調されています。

※最大256台のチャンネル登録が可能です（5チャンネルのDIGISTOR使用時は51台まで）。

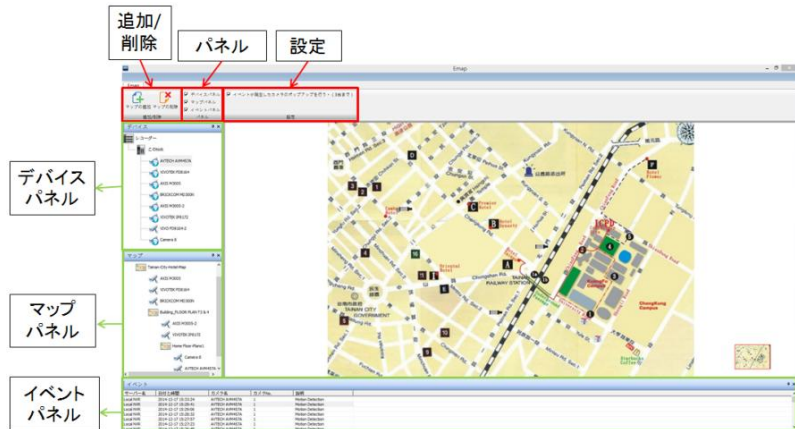
3.1.7 ダイナミック E-map 機能

PC を使用してのモニタリングにて、マップ機能が使用できます。ユーザーは、マップを貼り付けてカメラを配置することにより、視覚的にカメラの監視を行うことができます。また、イベント発生時に該当カメラをポップアップ表示させることも可能です。

※E-MAP 情報は各々の PC に格納される為、複数台の PC で E-MAP 機能を使用する場合は、各 PC の同じ階層上に同じ画像ファイルを配置してください。

例) 各 PC、C ドライブ直下の MAP フォルダ内に同じ画像ファイルを配置

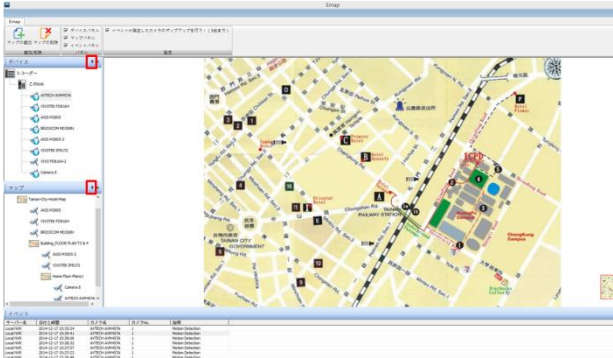
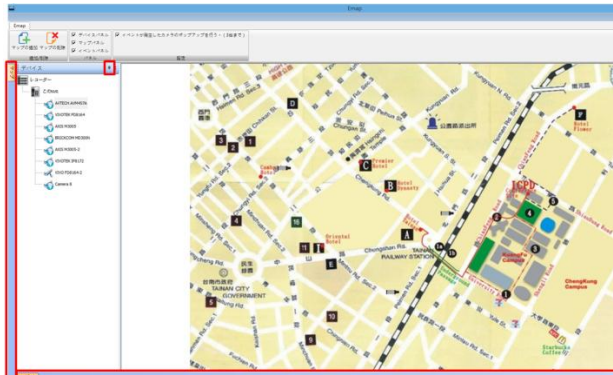
また、MAP 情報が保存されるタイミングは、MAP 画面を閉じるタイミングとなります。



ライブ表示上の E-Map ボタンをクリックし、E-Map の画面に移行してください。



アイコンの状態

アイコン	内容
	パネルの固定：パネルを固定します。 
	パネルを隠す：ウインドウの端にパネルを隠し、非表示にする（※再度パネルを表示するには、パネル名をクリックしてください）。 
	削除：パネルを閉じます。

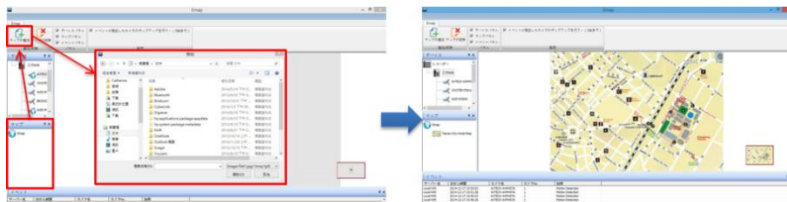
	Map の追加 : E-Map を追加します。
	Map の削除 : E-Map を削除します。
	追加可能なカメラ : デバイスパネル上にあるカメラをドラッグすることにより追加可能です。
	Map 上に既にあるカメラ : すでに Map に登録されているため、そのカメラの追加はできません。

Map の階層の追加

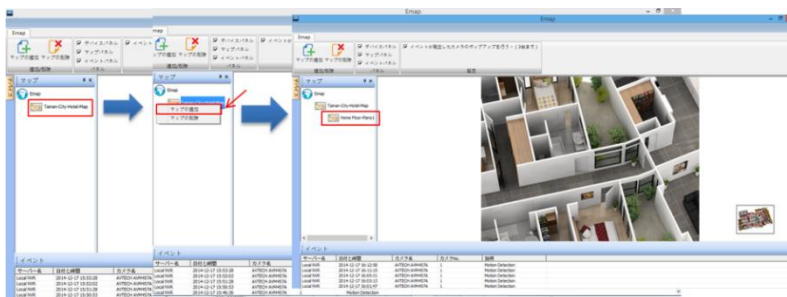
(1) **Map の追加:** マップを追加するには、“マップパネル”上のマップをクリックし、“マップの追加”をクリックしてください。

⚠ **注意:** PNG, BMP 及び JPEG の画像のみ使用できます。

⚠ **追加できる画像ファイルは 100 枚迄です。**



(2) **Map の右クリック:** マップを右クリックすることでサブレイヤー（サブ階層）の作成が可能です。

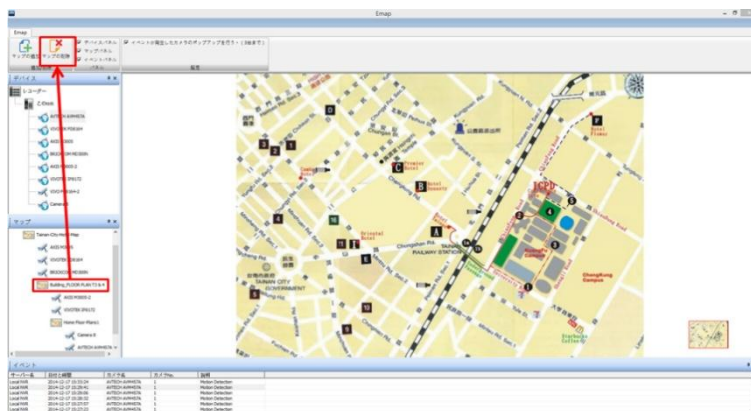


E-Map の拡大／縮小

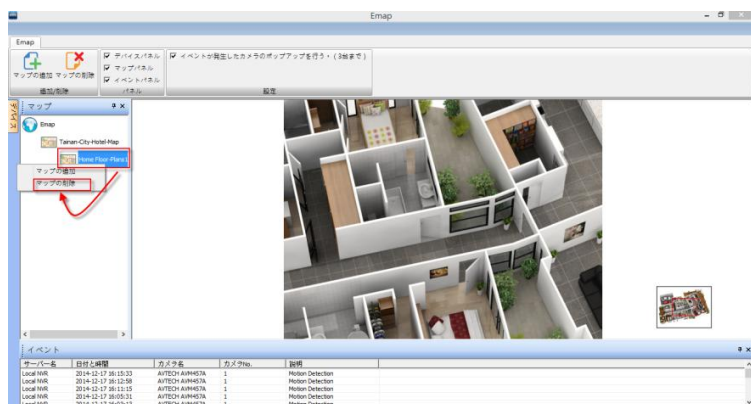
マウスのスクロールを使用し、Map の拡大／縮小ができます。

Map の削除

- (1) Map の削除ボタンによる削除: マップパネルよりマップを選択し、“マップの削除”をクリックしてください。



- (2) マップパネル上でのマップの削除: 直接マップを選択し、右クリック → “マップの削除”よりマップの削除を行ってください。



カメラの配置と削除

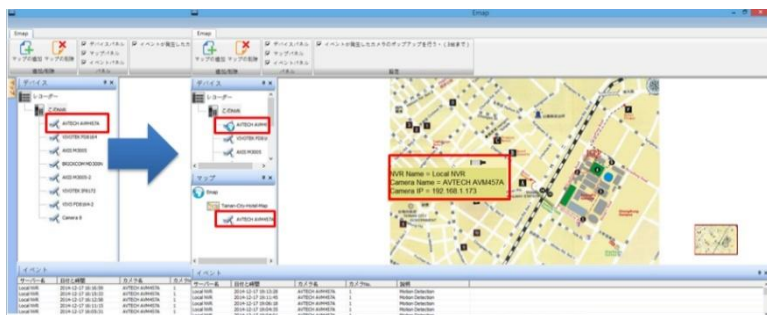
- (1) **カメラの配置:** 配置したいマップの場所にカメラをドラッグし、カメラの配置を行ってください。カメラの配置が正常に行われると、デバイスパネル上のカメラのアイコンが  (配置可能なカメラ) から  (配置済みのカメラ) へと表示が変わります。

※Ver77 より、配置できるカメラのアイコンが変更されました。

BOX、ドーム、PTZ、バレット、魚眼カメラのアイコンが配置できます。

●カメラ情報

マウスの矢印をマップ上にあるカメラアイコンへ移動すると、黄色のコラムに IP アドレス等のカメラの情報が表示されます。



- (2) **カメラアイコンの向きの変更:** カメラアイコンを右クリックすることで、カメラの向きを変更できます。

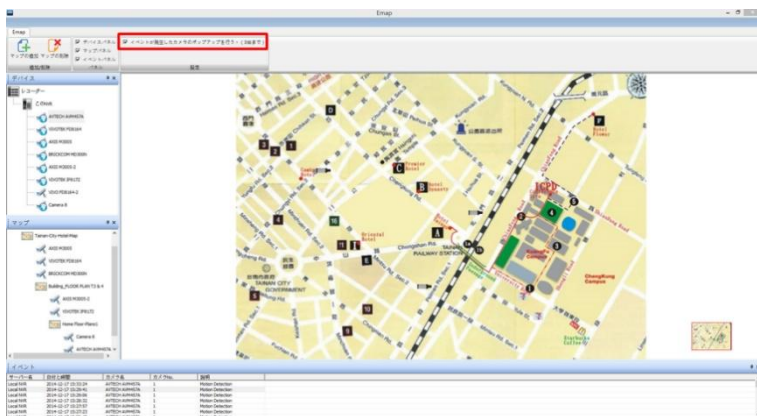


- (3) **カメラの削除:** 右クリックをして「カメラの削除」を選択することでカメラの削除が可能です。



E-map 上でのポップアップ機能

動体検知などのイベント発生時に、別ウィンドウにてカメラのライブ映像を表示させることができる機能です。この機能を有効にするには、「イベントが発生したカメラのポップアップを行う」のチェックをONにしてください。



⚠ 注意: 同時にポップアップできるカメラの最大数は4台までです。ポップアップされたカメラのウィンドウを閉じるには、右上の「×」をクリックしてください。



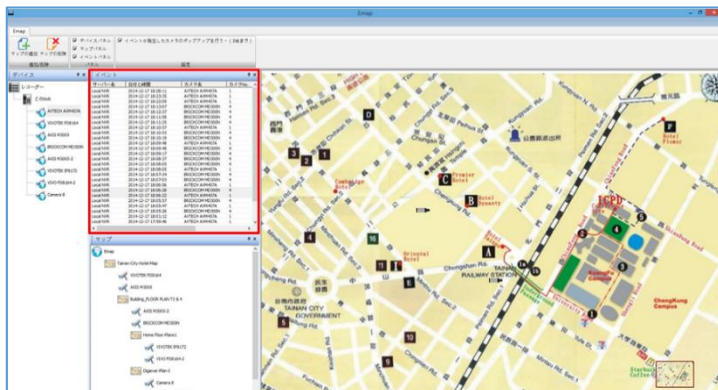
また、対応している PTZ カメラの場合、ポップアップされたウィンドウを選択すると、下記のアイコンが画面下に表示されます。

左から、デジタル・ズーム、光学ズーム、ピント調整、オートフォーカスボタン、スナップショット、保存先へのリンク、プリセット、PTZ コントローラーボタンとなります。



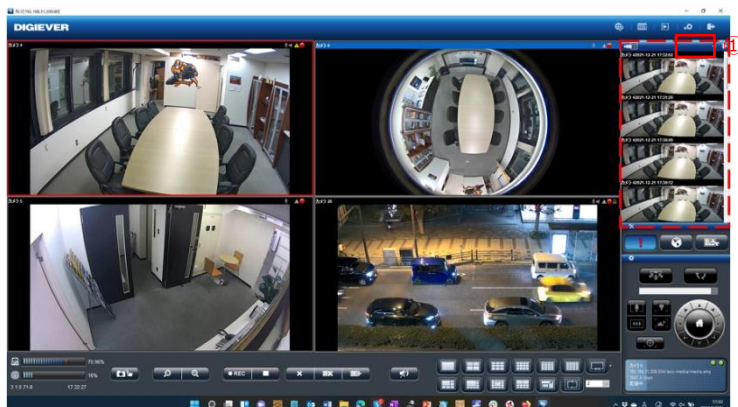
イベント (ログ)

イベントの状態を確認することで、イベントの詳細な履歴をより正確に確認することができます。



3.1.8 アラーム画像表示機能

アラーム等が入った際に、モニタリング画面上で、その時点の状況が右ペインに静止画として表示される機能です。



「イベントと動作の管理」にて、イベント設定を行い、モーション検知や、IOが入ると最新の画像が表示されます。※対応カメラのみ

- ①の矢印をクリックしてアラーム画像表示モードに変更します。
- ②アラームが発報すると、最新の画像が表示されます。



また、画像にマウスを合わせて右クリックし、

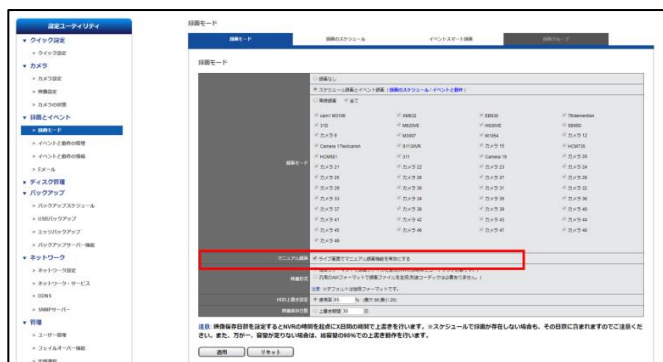
③「スナップショット」を選択すると、画像のスナップショットを PC に保存します。

④「ビデオ・クリップの再生」を選択すると、クリップ設定で設定を行った期間の録画再生が行えます。

※クリップ動画生成完了までに再生しようとすると、再生できません。

3.1.9 マニュアル一括録画機能

ライブ画面下のマニュアル録画ボタンを押すことで、手動にて、選択したすべての録画を開始、終了することができる機能です。



1. 「設定」→「録画モード」にて、“ライブ画面でマニュアル録画機能を有効にする”をチェックします。



2. モニタリング画面の「オプション」ボタンをクリックし、「マニュアル録画ボタンの設定」にて

- ①“選択したカメラをマニュアル録画する”を選択すると、青枠で選択したカメラのマニュアル録画を開始します。
- ②“すべてのカメラをマニュアル録画する”を選択すると、登録されているすべてのカメラのマニュアル録画を開始します。



3. マニュアル録画ボタンを押すと、マニュアル録画が開始します。
※停止する場合は停止ボタンを押してください。

3.2 録画再生

録画再生画面では、NVR に記録した録画映像を再生できます（※16 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます）。



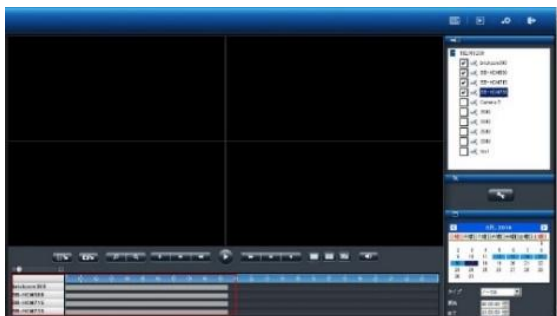
3.2.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1. カメラの選択

再生を行いたいカメラにチェックを入れてください。



※再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2. 日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付が、カレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3. 録画タイプの選択

通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復ファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）、フェイルオーバー設定（青）を選択してください。

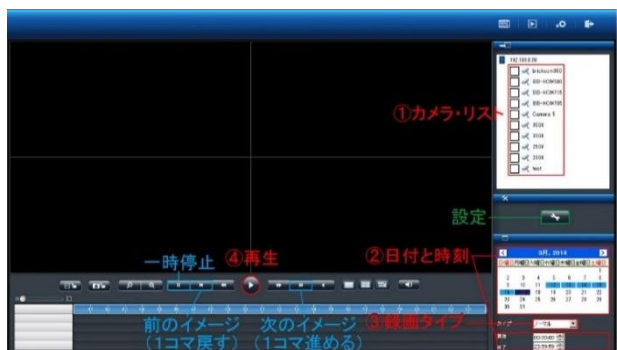


4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックして再生を行ってください。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 「一時停止」ボタンをクリックします。
2. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



「設定」→「コマ送りボタン詳細設定」のチェックを入れると、1クリック時の動作を変更できます。

1 秒／5 秒／10 秒／30 秒／60 秒／10 分／1 時間の設定変更が可能です。※LD も同様の設定があります。

●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。



●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

⚠ 注意：スクロール・バーは再生中のみ使用できます。



●サムネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることで、その時間の静止画像が表示されます。

⚠ 注意：この機能は一時停止中のみ使用できます。



3.2.2 録画再生画面の主な機能



1. 表示モード

分割表示を変更する場合は、再生バーの右のアイコンで変更を行ってください。また、各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されます。

2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を電子ズームすることができます。再生バー左側の虫眼鏡のマークをクリックして使用してください。

3. 録画再生時の操作



①一時停止：録画再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：1コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

④再生：録画映像を再生します。

⑤高速再生：倍速再生を行います。

⑥次のイメージ：コマ送りを行います。

⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

※再生速度はスクロール・バーの右上に表示されます。

4. 消音



「消音」ボタンをクリックすると、音声のミュートを行います。
もう一度ボタンを押すことでオーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。

ファイルの保存先は、「設定」→「スナップショットの保存先」で変更してください。



●録画再生時の連続スナップショット

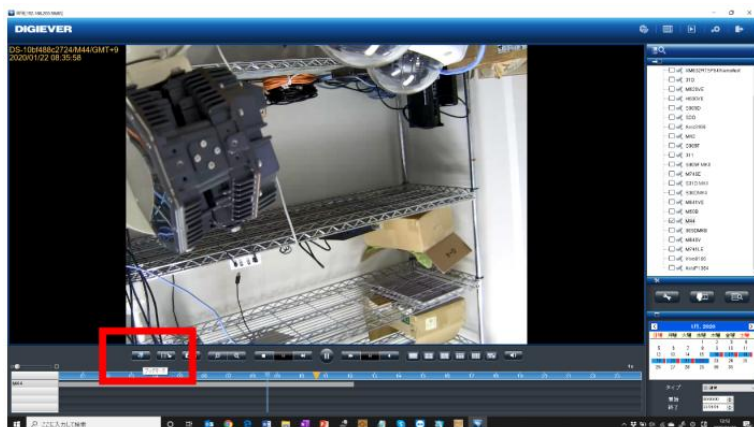
複数のスナップショットを1度のクリックで取得できます。
デフォルトは「1」で、画面右の再生設定ボタンより変更可能です。
最大5枚の連続静止画像をワンクリックで撮影できます。

●画像形式

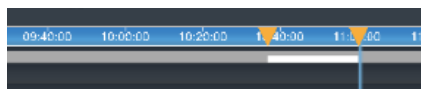
「スナップショット設定」にて、取得する画像形式(「bmp」または「jpg」)を選択できます。

6. ブックマーク

ブックマーク機能を使用すると、検索を行った日時範囲を保存して、あとからでもイベント検索から再生できるようになります。

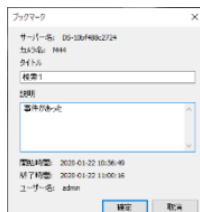


- ①保存したいカメラを選択し、再生ボタンを押して再生を開始します。
その後、ブックマークボタンをクリックします。



ブックマークボタンをクリックすると、黄色の矢印で始点が表示されます。

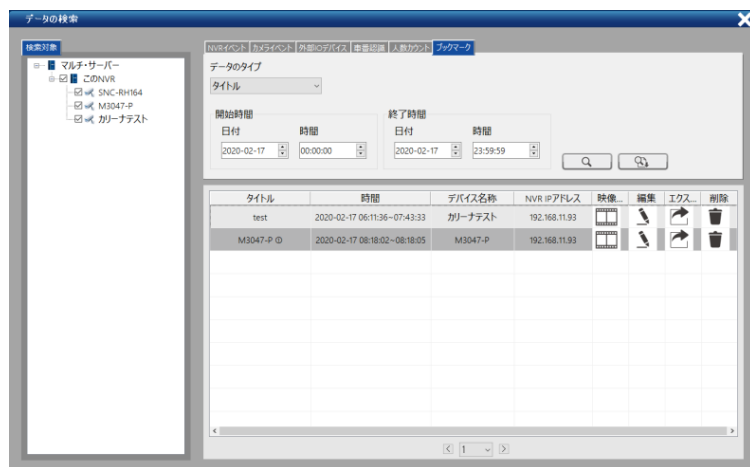
その後、再生を行い、終了させたいポイントでもう一度ブックマークを押して終点を決定します。



- ②終点を決定すると上記のダイアログが表示されるので、タイトル、およびその説明を入力してください。



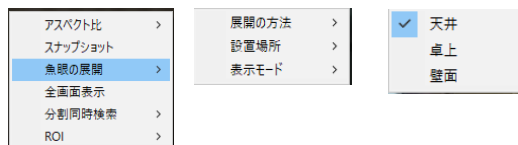
③ブックマークが設定された時刻範囲は、上記のように表示されます。



④ブックマークを検索したい場合は、再生画面より「イベント検索」→「ブックマーク」タブを選択してください。検索結果のリストから、映像の再生、エクスポート等が可能です。

7. 全方位カメラの映像補正

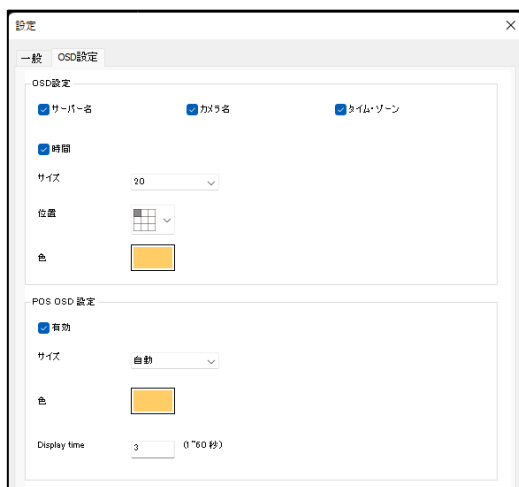
カメラを右クリックし、メニューにて全方位カメラを選択すると、補正したカメラの映像を表示できます。



8. OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD (On Screen Display) の設定を変更できます。

1) 画面内右下の「設定」→「OSD 設定」をクリックします。



- 2) 表示したいものをチェックし、文字の大きさをドロップダウン・メニューから選択してください。
- 3) 「位置」をクリックすると、表示したい場所を選択できます。
- 4) 「色」をクリックすると、パレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。

※POS OSD 設定は使用しません。

3.2.3 スマートサーチ・AI 検索

スマートサーチボタンをクリックすると、下記のアイコンが表示されます。

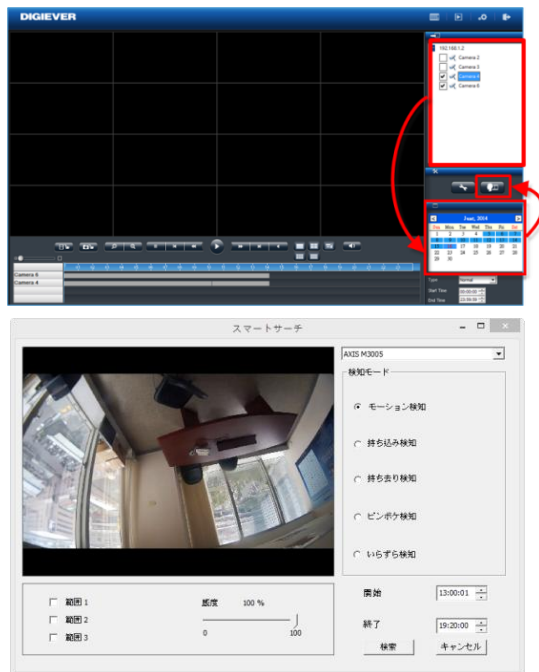


1. スマートサーチ

録画再生映像を元に、**モーションの検知**、**持ち込み検知**、**持ち去り検知**、**いたずら検知**、**ピンボケ検知**を行えます。

※録画再生を行いながら再度、検索動作を行いますので、PC のスペックや録画データ受信状況により相当な時間がかかることがあります。





リストからカメラを選択し、スマートサーチを行いたい日付を選択→
「スマートサーチ」ボタンを押して画面を移行してください。
カメラを選択して、カメラの検知モード、開始時間、終了時間を入力し、
「検索」ボタンを押してください。



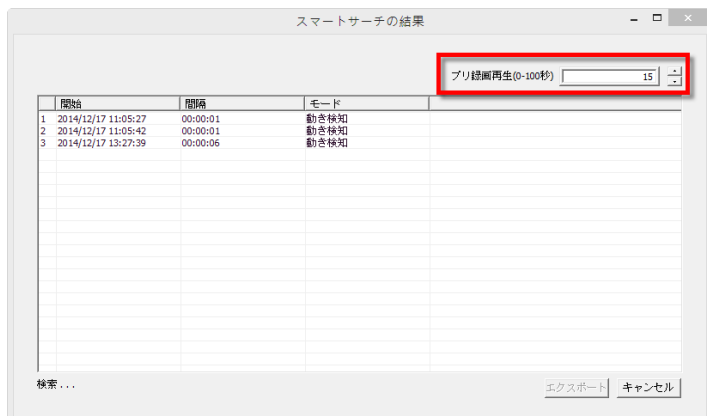
設定の概要:

(1) 物体の大きさ：検知する物体の大きさ

⚠ **注意**：モーションの検知, 持ち込み検知, 持ち去り検知には物体の大きさの調整が必要です。

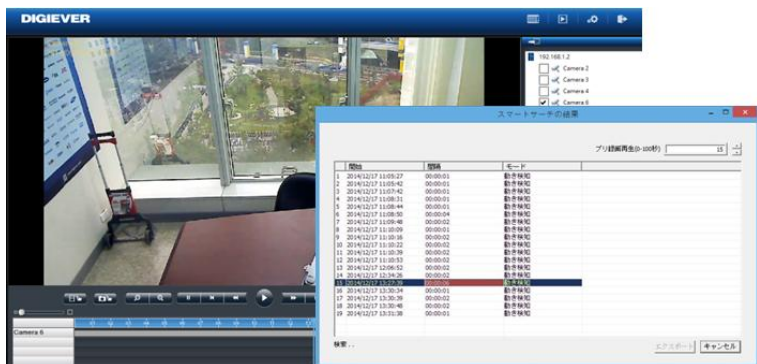
(2) 感度：検知する感度

(3) インターバル：その物体が指定した領域に存在する（しない）期間



スマートサーチの結果が表示されます（※録画の再生を行う前にプリ録画再生の秒数の変更をしたい場合、右上の“プリ録画再生”にて0秒～100秒の間で期間の変更を行ってください）。

その後、再生を行いたいリストをダブルクリックすることにより再生を行ってください。



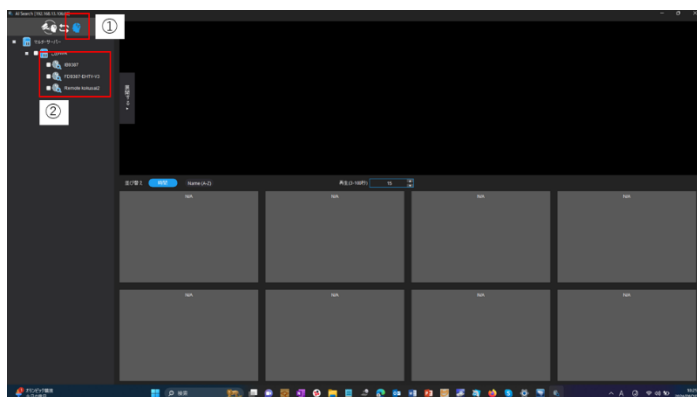
2. AI 検索機能

カメラから送信される AI 解析情報を元に、検索を行う機能です。

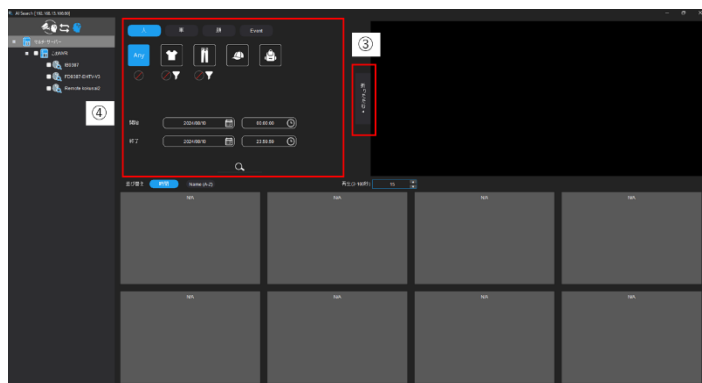
※カメラのメーカーによって使用できる機能に制限があります。詳しくは弊社カメラリストを参考にしてください。

AI 検索をクリックすると、下記の画面が表示されます。

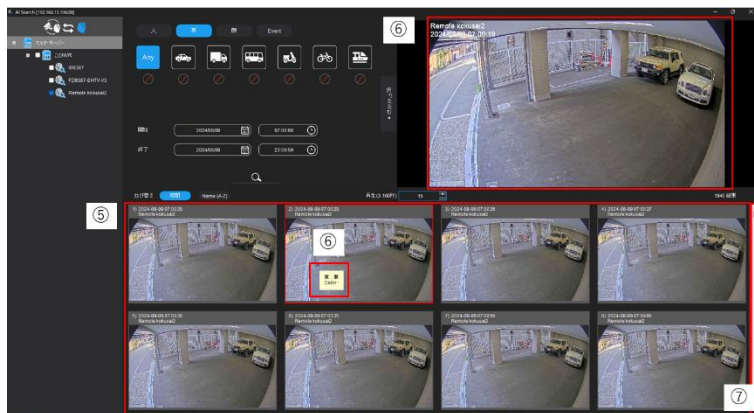
- ①AI カメラのみを選択、
- ②表示されるカメラをチェックしてください。



- ③展開するをクリック、検索画面を表示し、
- ④検索したい時間帯とオブジェクトを選択し、検索ボタンを押してください。



- ⑤検索ボタンを押すと、
- ⑥検索結果が表示されます（下画像参照）。
静止画面をクリックすると、右上に再生画面が表示され、カメラ自身が検知した AI 情報が表示されます。
- ⑦スクロールバー下の矢印をクリックすると、1 ページ分次の画像が表示されます。

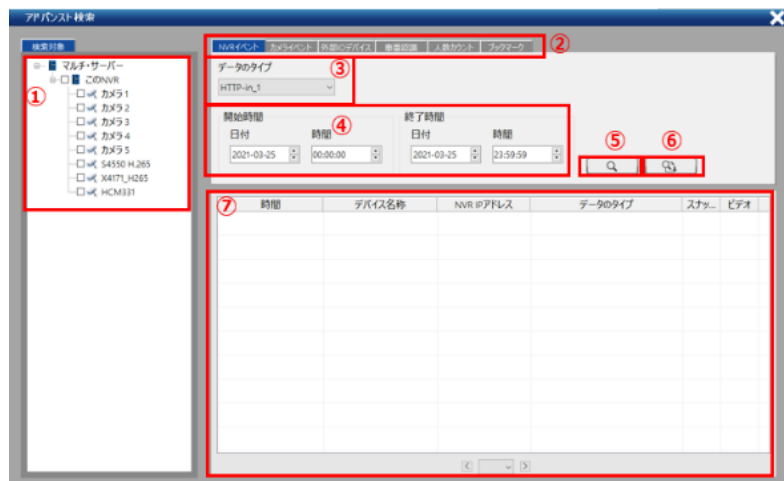


3.2.4 アドバンスド検索機能

NVR で設定を行ったイベントをリスト化したものを表示し、検索を行う機能です。



上記アイコンをクリックすると、イベント検索の画面が表示されます。



- ① カメラ選択 : 検索を行いたいカメラにチェックを入れ、カメラを選択してください。
- ② イベントタブ
- ③ イベントタイプ ※次頁参照
- ④ 検索時間の範囲指定
- ⑤ 検索ボタン
- ⑥ CSV の切り出しボタン → 検索結果を CSV で表示します。
- ⑦ 結果ウィンドウ

※イベントのタイプ

NVR イベント

■ Http-in ■ Digital Input

カメライベント

■ 音声検知 ■ 方向検知 ■ モーション検知 ■ 侵入検知
■ Digital Input

外部 IO デバイス

※開発中

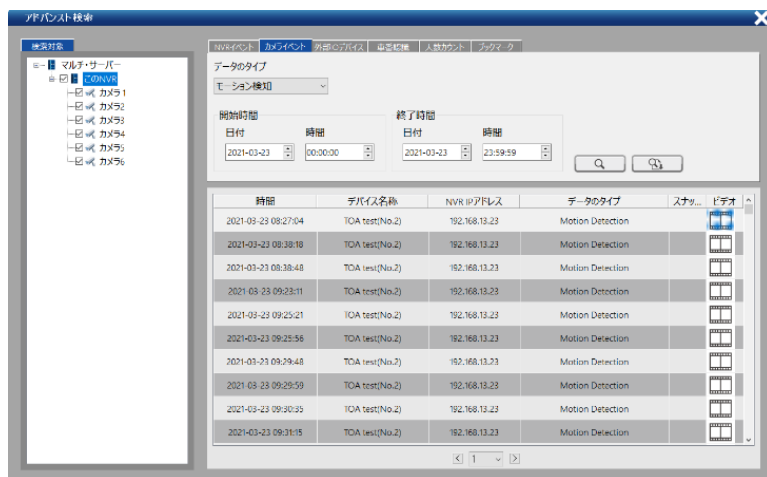
車番認識

※開発中

ブックマーク

+++++

イベント検索を使用するには、検索を行いたいカメラを選択し、イベント→イベントタイプを選択した後、時間範囲を指定して「検索」ボタンを押してください。検索ボタンを押すと下記のように検索結果が表示されます。



※Vivotek 製 SC8131 を使用すると、範囲時間を指定した統計機能が使用できます。

データ取得

マルチサーバ
CON
SCB31
RH64 0122100

データ表示

5分

開始時刻
日付 時間
2020-01-30 00:00:00

終了時刻
日付 時間
2020-01-30 23:59:59

時間範囲
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59

時間範囲	総レコード数	総エラー数	合計 (総In数-総Out数)
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59	13	10	3

時刻	デバイス名称	N/A	In	Out	In Err	Out Err
2020-01-30 10:35:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	2	1	1	
2020-01-30 10:40:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	4	2	2	
2020-01-30 10:45:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	0	0	0	
2020-01-30 10:50:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	1	1	0	
2020-01-30 10:55:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	2	2	0	
2020-01-30 11:00:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	0	0	0	
2020-01-30 11:05:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	1	0	1	
2020-01-30 11:10:00~	SCB31(Na.5)	192.168.11.201	1	1	0	

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

1月 2020

日 月 火 水 木 金 土 日

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

また、検索結果を CSV としてエクスポートできます。

時間範囲	総In数	総Out数	合計 (総In数-総Out数)		
2020-01-30 00:00:00~2020-01-30 23:59:59	13	10	3		
時間	デバイス名称	NVR IPアドレス	In数	Out数	In数-Out数
2020-01-30 10:35:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 10:40:00~	SC8131	192.168.11.201	4	2	2
2020-01-30 10:45:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 10:50:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 10:55:00~	SC8131	192.168.11.201	2	2	0
2020-01-30 11:00:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:05:00~	SC8131	192.168.11.201	1	0	1
2020-01-30 11:10:00~	SC8131	192.168.11.201	1	1	0
2020-01-30 11:20:00~	SC8131	192.168.11.201	2	1	1
2020-01-30 11:25:00~	SC8131	192.168.11.201	0	2	-2
2020-01-30 11:30:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0
2020-01-30 11:35:00~	SC8131	192.168.11.201	0	0	0

温度検知対応カメラ

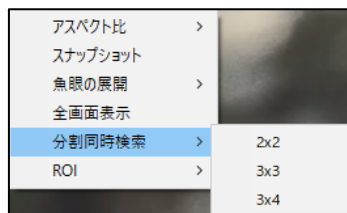
※FLIR: FC-324-R, FC-334-R, FC-632-R, FC-645-R-PAL

再生したい時間のビデオクリップをクリックして選択し、映像の再生を行ってください。

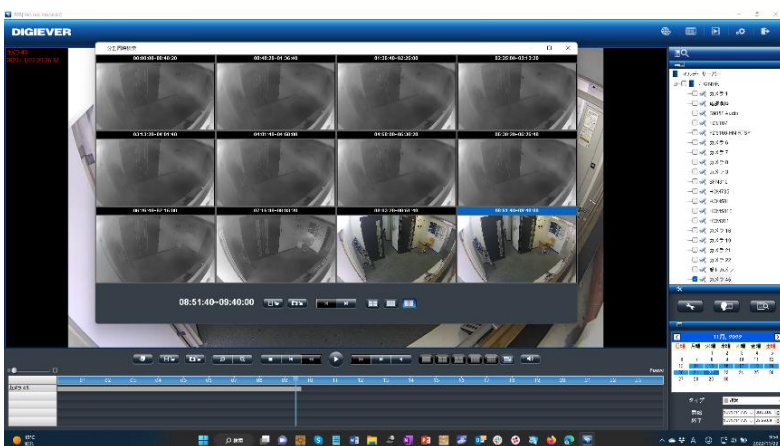
※別ウインドウにて再生画面が表示されます。

3.2.5 同一カメラの分割同時検索機能

再生時にカメラ上で右クリックすると右記のメニューが表示され、同一カメラの分割同時表示を行うことができます。



まずはじめに、1日のデータを分割して画像表示します。



その中の1つの画面をダブルクリックすると、その時間範囲がさらにx分割されて録画画像が表示され、絞り込みが可能です。

「戻る」のボタンを押すと、クリック前の状態の画面に戻ります。

また、1つの画像をクリックし、異なった分割表示を選択、ダブルクリックすると、その選択した範囲をx分割した画像が表示されます。



画像をクリックして1画面を再生することも可能です。
その後、画像の枠を選択し、エクスポートの開始ボタンを押すと、該当する5分間のファイルのコピーを行います。

3.2.6 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画データをNVRから取り出せます。

1) 映像のエクスポート先の決定

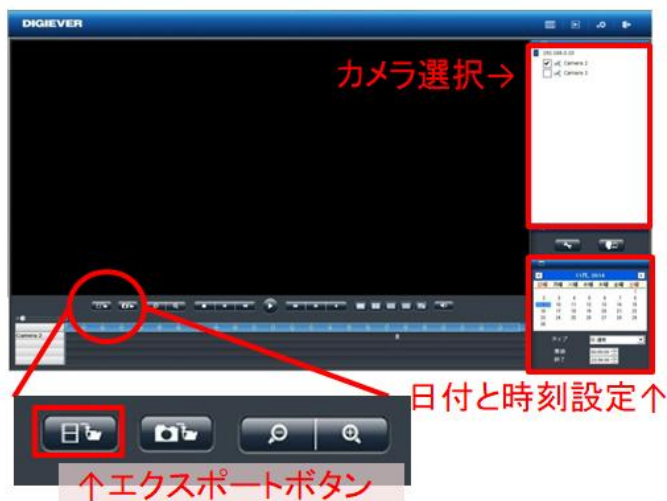
再生画面右下にある「設定」ボタンをクリックして設定ウインドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。



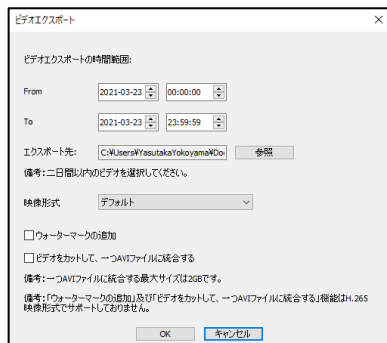
2) 録画ファイルのエクスポート

- ① 録画再生と同様にエクスポートしたいカメラをチェック
- ② カレンダーで日時を選択
- ③ バックアップを行いたい時間を選択します。

※カメラ台数は最大 16 台まで選択・バックアップ可能です。



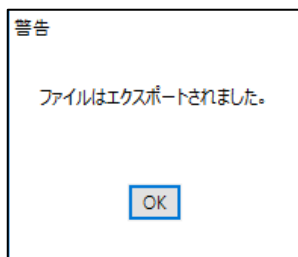
- ④ エクスポートボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



- ⑤ 「OK」を押すと、DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

※再生中にボタンを押した場合、上のような画面は表示されません。
(PC の場合)

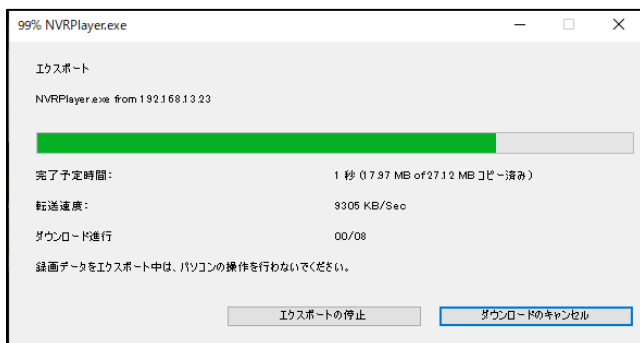
- NVRPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- NVRCheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。



上記のダイアログが表示されると、ファイルのエクスポートの完了です。

3) エクスポートの停止

データ転送中に「エクスポートの停止」をクリックすることで中止できます。



※通常のバックアップは、指定した区間の 5 分ファイル（生成されたレコーダー内部のファイル）を取得する構造のため、指定された何分秒の範囲のバックアップはできません。

3.2.7 エクスポートしたファイルの再生

- 1) エクスポートを行うとフォルダが生成され、フォルダにアクセスすると下記のフォルダが確認できます。

(※エクスポート時に NVRPlayer 及び、NVRCheck をダウンロードした場合)

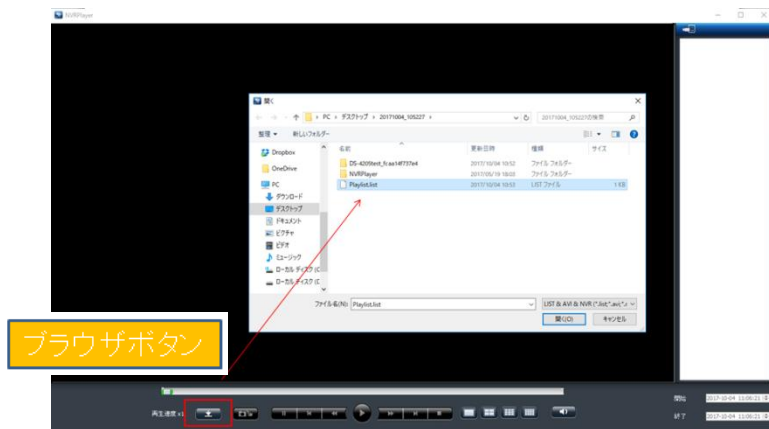
名前	更新日時	種類	サイズ
DS-4205test_fcaa14f737e4	2017/10/04 10:52	ファイル フォルダ	
NVRCheck.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	515 KB
NVRPlayer.exe	2017/10/04 10:53	アプリケーション	17,770 KB
Playlist.list	2017/10/04 10:53	LIST ファイル	1 KB

- 2) NVRPlayer.exe を選択、PC にコピーし、そのフォルダを展開してください。
- 3) 「.7z」フォルダを展開すると下記のフォルダが現れるので、そのフォルダをクリックしてください。

NVRPlayer	2017/05/19 18:03	ファイル フォルダ
-----------	------------------	-----------

- 4) NVRPlayer.exe をクリックして Player を起動してください。

名前	更新日時	種類	サイズ
mplayer	2017/05/19 18:02	ファイル フォルダ	
IMV1.dll	2015/12/14 1:35	アプリケーション拡張	512 KB
Language.ini	2016/07/06 15:29	構成設定	4 KB
NVRPlayer.exe	2017/05/23 18:40	アプリケーション	2,349 KB

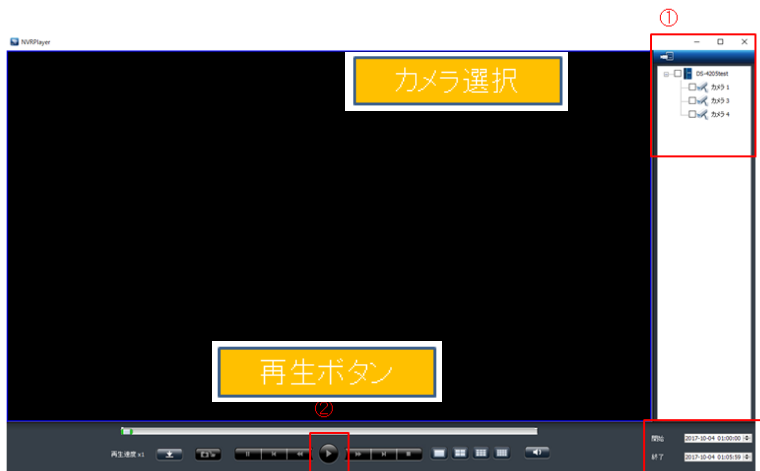


NVRPlayer の起動後、左下のブラウザボタンを押し、ダウンロードしたフォルダ内にある Playlist.list を選択してください。

5) 選択すると、エクスポートを行ったカメラが右に表示されます。

再生を行いたいカメラを選択し、再生ボタンをクリックすると録画の再生を行います。

※スナップショットを取得したい場合は、再生ボタン左のスナップショットボタンを押してください。



3.3 PC による録画フォルダへのアクセス (SMB/FTP)

Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。

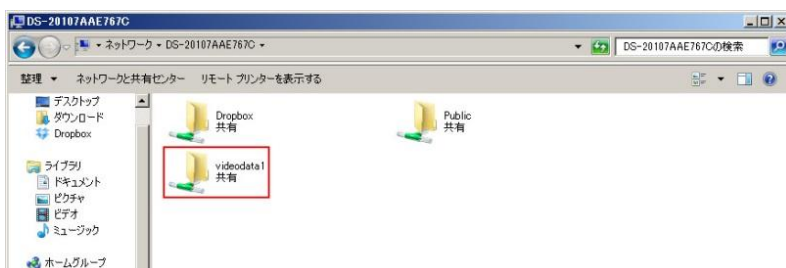
注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。

情報				
Windowsネットワーク		FTPサービス		
サービスリスト	状態	動作	リンク	
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク	
FTPサービス	ON	無効	リンク	

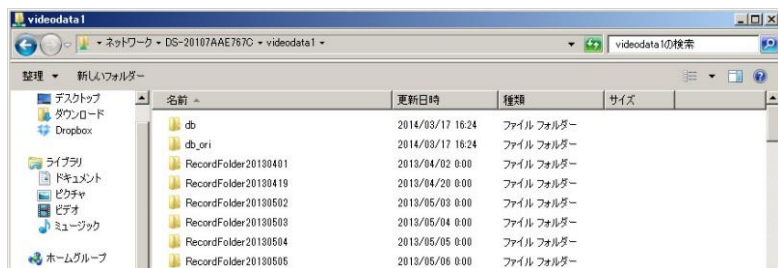
3.3.1 Windows ネットワーク

Windows のエクスプローラーにて、¥¥ (IP アドレス) を入力し、直接録画ファイルにアクセスできます。



「videodata1」のフォルダの中に録画映像が保存されています。
クリックすると日付ごとのフォルダが表示され、フォルダ内には「RecordFolder」という名のフォルダが時系列で並んでいます。
録画映像は 5 分ごとのファイルで保存されています。
(※削除はできません)

また、コピーしたファイルは「NVRPlayer」にて再生してください。



※ver75 より SMBv2/v3 に対応

4.0 ローカル・ディスプレイの操作

4.1 NVR へのログイン

NVRにログインを行います。ユーザー名とパスワードを入力してください。

※デフォルトの管理者ユーザー名、パスワードはadmin/adminです。



解像度：解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます。

※UHD モデルは、3840×2160 まで対応 ※HDMI 1 のみ

4.1.1 バーチャル・キーボード

ユーザー名、パスワード入力時は、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使用してください。下記の赤枠をクリックすることでバーチャル・キーボードを表示します。



バーチャル・キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。

4.2 ライブ表示

4.2.1 ライブ表示モードの選択



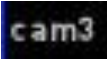
右上にある 4 つのボタンで、表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなどを設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.2.2 ライブ表示の主な機能



1.カメラの状態

アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。

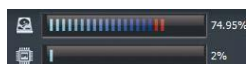


2) ディスク・NVR 負荷率

設定ページへ移動しなくても、ディスクと NVR 負荷率を確認できます。



使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 80%以下になるよう、設定に注意してください。

3.基本機能

アイコン	内 容
	スナップショット： ライブ映像で選択したカメラの静止画像を撮影します。 「Public > liveview_snapshot」に保存されます。 Windows ネットワークまたは FTP でアクセスして確認してください。 また、オプションで、「スナップショットを外付け USB デバイスに保存します。」を選択すると、USB メモリに直接スナップショットが保存されます。 ※FAT32 でフォーマットを行ってください。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	マニュアル録画開始： マニュアル録画を開始します。
	マニュアル録画停止： マニュアル録画を停止します。

	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示

	16 分割表示
	20 分割表示
	1×2/2×1/3×1/3×2/5×1/5×5/6×5/6×6/7×6/7×7/ 8×4/8×7/8×8 分割表示
	5+1 分割表示
	8 分割表示
	12+1 分割表示
	8+2 分割表示
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はド ロップダウン・メニューから選択してください。

※表示分割は 64ch まで可能ですが、1 カメラあたりの大きさを考慮すると最大 16 分割程度までの閲覧をお勧めします。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。
以下はその制御アイコンです。ただし、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。 中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの調整： カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。 ※また、対応しているカメラではオートフォーカス機能が使用できます。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

6. イベント・ログ

「イベントと動作の管理」の設定を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。



ログのエクスポートをクリックすると、ログを一括で取得できます。

※USB メモリを差し込み、ボタンを押すと、保存先を指定してログファイルの保存が可能です。

また、インスタント再生アイコンをクリックすると、クリップ映像の再生が可能です（※イベント時）。

4.2.3 映像設定

警告設定やウインドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

1) 一般設定

●アスペクト比及び警告線表示の設定を全カメラに適用する。

映像ウインドウ上での右クリック→アスペクト比→「オリジナルのサイズ」または「ウインドウのサイズ」をすべて一括で切り替えます。

●イベント発生時にウインドウを強調表示

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウインドウが強調表示されます。

※映像ウインドウをクリックすると強調表示は終了します。

●イベント発生時にポップアップ通知

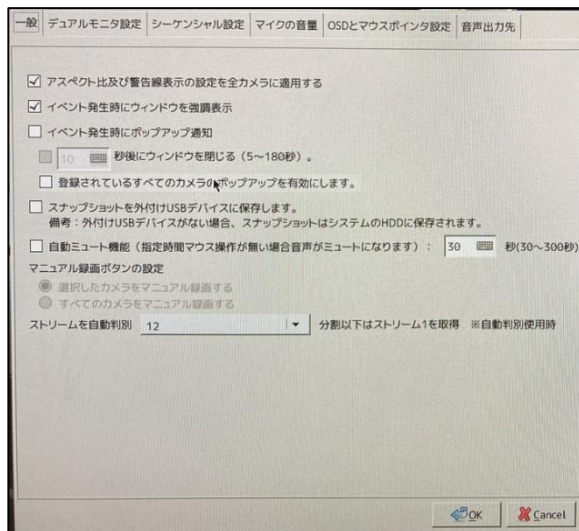
ポップアップの設定を有効にすると、イベントが発生したカメラのポップアップを行います。複数同時にイベントが発生すると4分割表示になりカメラを割り当てます。※ver70-3.1～

※対応していないカメラもあります。



ポップアップのウインドウをクリックすることで、手動でポップアップを閉じます。

自動でポップアップを閉じる場合は、「設定」内で設定を行ってください（デフォルトは10秒です）。



“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”

を選択した場合、すべてのカメラでポップアップ動作を行います（チェックを行わない場合は表示されているカメラのみポップアップを行います）。



普通



登録されているすべてのカメラの
ポップアップ

注意: 同時にイベントが発生した場合、最新のカメラのイベントがポップアップとして表示されます。

●スナップショットを外付け USB デバイスに保存します

スナップショット画像を外付け USB に保存します。

※通常、モニタリング画面のスナップショットは本体に保存されます。

●自動ミュート機能

※指定時間経過後、マウス操作がない場合、音声がミュートします。

※30-300 秒

●マニュアル録画ボタンの設定

マニュアル録画を使用する場合に、

①選択したカメラのみ

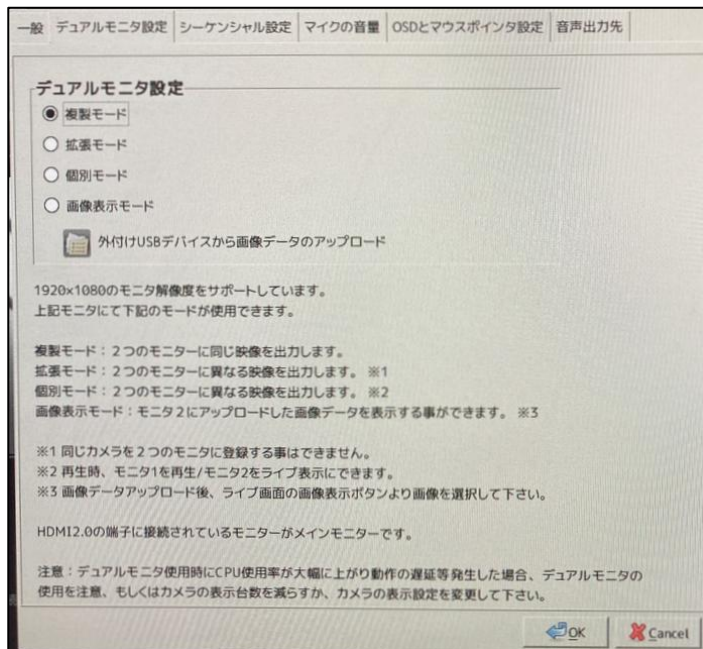
②すべてのカメラ

のマニュアル録画を行うか選択してください。

●ストリームを自動判別

「12/10/9/8/6/5/4/3/2/1/ライブ映像をストリーム 2 で表示」分割以下の場合に、ストリーム 1 を取得して表示する設定です。

※自動判別使用時の表示設定です。



2) デュアルモニタ設定

●複製モード

※2つのモニターに同じ映像を出力します。

●拡張モード

※2つのモニターに異なる映像を出力します。

※同じカメラを2つのモニターに出力できません。

●個別モード

※2つのモニターに異なる映像を出力します。

※同じカメラを2つのモニターに出力できます。

※再生時にモニター1を再生/モニター2をライブ表示にできます。

※表示できるカメラ台数は最大64台です。

※負荷率が70%を超えないようにしてください。

●画像表示モード

※モニター2にアップロードした画像データを表示することができます。

※1024×768の解像度には対応していません。

3) シーケンシャル・モード設定

ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

4) マイクの音量

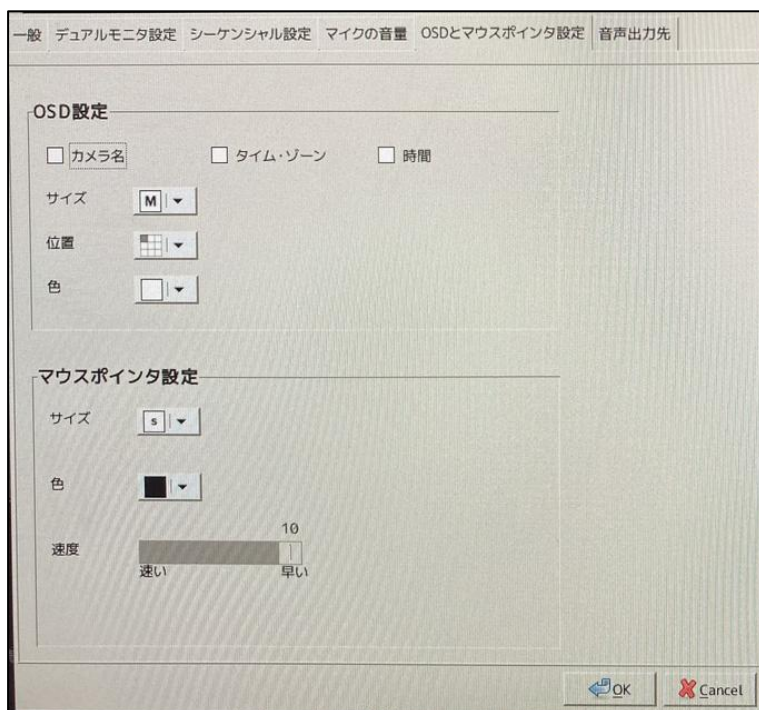
本体に接続したマイクの音量を調整できます。

5) OSD とマウスポインタ設定

OSD 設定が可能です。

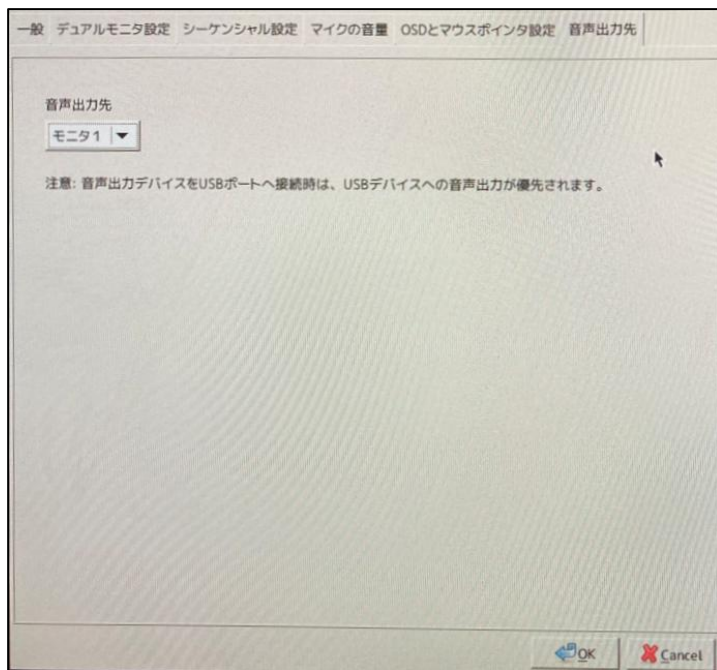
表示したい名称をチェックし、文字サイズ、表示位置、色を選択してください。

マウスポインタ設定では、マウスの大きさ(大・中・小)、色(白・黒)、速度（10 段階）の設定が可能です。

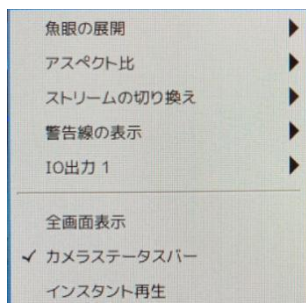


5) 音声出力先

HDMI を使用したモニターを 2 台接続した際に使用する機能です。
音声の出力先を「モニター 1」、「モニター 2」いずれか選択ができます。



4.2.4 オプション（映像ウインドウ上の右クリック）



1.魚眼の展開モード (panomorph) : 全方位カメラの映像を補整する際に使用できます。

(1) 全方位カメラの補整

カメラを選択して右クリックし、メニューにて Panomorph を選択して、補正を行いたい表示モードの変更を行ってください。

2.アスペクト比: 原寸サイズ、または最大サイズ (ウインドウに合わせる) を切り替え表示できます。

3.ストリームの切り換え : 表示しているストリーミングの切り替えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質 (録画用)、ストリーム 2 は低画質 (小サイズのウインドウ表示用) に使用します。



「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて自動的に最適のストリームが選択され、表示されます。

※ストリームをサーバーから配信の場合は、NVR 経由でストリームを配信します。

4.警告線の表示：警告線が設定されているカメラにて警告線の表示／非表示の選択ができます。※対応カメラのみ

5.カメラ IO 出力機能：ボタンを押すと「カメラ IO」の出力：ON・OFFの制御ができます。※対応カメラのみ

6.全画面表示：全画面表示を終了します。

7.カメラステータスバー：カメラ情報などのステータスの表示／非表示の切り替えができます。

8.インスタント再生：選択した 1 台のカメラの即時再生を行います。

4.3 録画再生

録画再生画面に移行すると、NVR に記録した録画映像を再生できます。

※16 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

※カメラの台数や解像度、コマ数設定によっては、うまく再生できないことがあります。その際は、再生分割数を下げて再生を行ってください。

4.3.1 録画再生

録画再生は次の手順で行います。



- 1.再生したいカメラをリストから選択します。
- 2.再生したい日付と時刻を選択します。
- 3.再生したい録画映像のタイプを選択します。
- 4.「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

5 台以下のカメラを選択して再生できます。



2. 録画タイプの選択

再生したい日付と時刻を指定してください。

選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。

再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黄色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

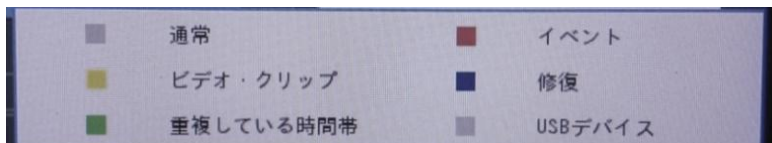
フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記 4 つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



録画タイプの選択:

イベント録画等で録画されたデータを再生するには、通常録画（グレー）、**イベント（赤）**、**ビデオ・クリップ（黄）**、**修復ファイル（青）**、**重複している時間帯（緑）**、USB デバイス（グレー）を選択した上で検索を行います。



検索上の録画データの色帯に関しても上記の色により種別されます。

= 録画タイプ =

1) 通常録画（グレー）:

通常録画: 常時録画やスケジュール等で設定を行い、録画を行ったファイル。（※イベント、重複した時間帯等以外の録画ファイル）

2) イベント（赤）:

イベントファイル: イベントファイル動体検知などのイベントが発生した際の録画ファイル。（※詳細は **5.2.7 イベントと動作の管理を参照**）

3) ビデオ・クリップ（黄）:

ビデオ・クリップ: 設定>イベントと動作の管理>詳細設定内で設定されたビデオ・クリップファイル。

4) 修復（ブルー）:

修復ファイル: 不意に NVR の電源が落ちた場合など、バッファされているできる限りのデータを保全し、修復を行ったファイルです。（※電源が落ちている間の録画データは修復できません）

5) 重複している時間帯（緑）:

重複している時間帯: 録画時間の変更を行った際に重複される時間の録画データを表示します。

6) USB デバイス（グレー）:

バックアップを行った録画ファイルをチェック用に確認できます。クリックするとフォルダが表示され、**フォルダ内（playlist.list）**をクリックすることでバックアップファイルを再生できます。

4.3.2 録画再生の主な機能



1.表示モード

再生バー右の表示モードアイコンにて分割画面の変更が行えます。
また各カメラの録画映像の時間は、カメラの左上に表示されています。

2.デジタル・ズームイン／アウト

選択したカメラの映像を拡大／縮小する際に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使用してください。

3.録画再生時の操作



- ①停止：録画再生を停止します。
- ②前のイメージ：1コマ前に戻ります。
- ③スロー再生：再生速度を落とします。
- ④再生と一時停止：録画映像を再生します。もう一度押すと録画再生を一時停止します。

⑤高速再生：再生速度を上げます。

⑥次のイメージ：1コマ先に進めます。

⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。



4. スケール・バー

スケール・バーを操作することで、タイム・テーブルの表示を拡大／縮小できます。



5. スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



4.3.3 音声の再生



選択中のカメラの音声を再生できます。

※映像と音声が同期しない場合がございます。

アイコン	内 容
	消音： 再生中の録画映像の音声をミュートします。 再度クリックすると音声を ON にします。
	音量ダウン： 再生中の記録映像の音声ボリュームを下げます。
	音量アップ： 再生中の記録映像の音声ボリュームを上げます。

●音声同期再生機能の無効化



分割再生時の同期再生機能を無効にし、映像と音声のずれを調整・軽減する機能です。

●コマ送りボタン詳細設定

「設定」→「コマ送りボタン詳細設定」のチェックを入れると、1クリック時の動作を変更できます。

1秒／5秒／10秒／30秒／60秒／10分／1時間の設定変更が可能です。

4.3.4 スナップショット

ローカル・ディスプレイでの**再生中**にもスナップショットを撮影できます。USBの保存メディアをNVRのUSBポートに接続してください。

「スナップショット」ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。



※USBメモリを差し込むと、「スナップショット」ボタンが使用可能になります。

※USBメモリはFAT32形式でフォーマットしてください。

4.3.5 録画映像のエクスポート

録画映像のエクスポートは USB デバイス(フラッシュメモリ)、USB-DVD
(※推奨品) 等を使用してバックアップが可能です。



カメラ、日付、時間を選択し、エクスポートボタンを押してください。
※USB デバイスのフォーマットは「メニュー」より「設定ユーティリティ」
→「USB バックアップ」にて行ってください。



エクスポートボタンを押すと上記の画面が表示されます。エクスポートを
行いたい日付と時間を選択してください。

※USB を差し込むとそのアイコンがハイライトされ、コピーできるよう
になります。

※想定容量をクリックすると USB メモリとコピー容量を確認できます。

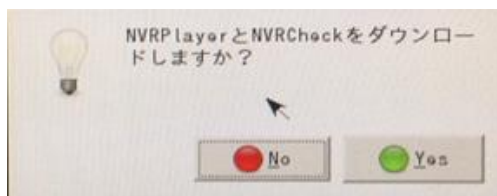
「OK」をクリックすると、エクスポートが開始されます。

※パスワード保護の設定を行っている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。

※NVRPlayer は、録画再生を行うための再生専用プログラムです。

※NVRCheck は、録画ファイルの改ざんをチェックするチェックツールです。

USB DVD を使用する場合は、録画検索と同様に日付、時間を選択した後、バックアップボタンを押してください。その後、下記のようなメッセージが表示されます。



「YES」を選択後、エクスポートがはじまります。

※パスワード保護の設定を入れている場合は、ここでパスワードを入力する画面が表示されます。

“録画映像をエクスポートしました”というダイアログが表示されると、エクスポート完了です。

※エクスポートファイルの再生方法は、3.2.7「エクスポートしたファイルの再生」をご参照ください。

4.3.6 ブックマーク機能

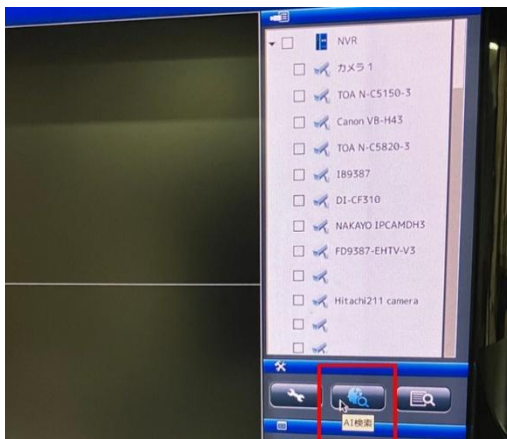
ブックマークを使用すると、検索を行った日時範囲を保存して、あとからイベント検索より再生が行えます。

※P.102 参照

4.3.7 AI 検索機能 ※Beta 版の機能です。

カメラから送信される AI 解析情報をもとに検索を行う機能です。

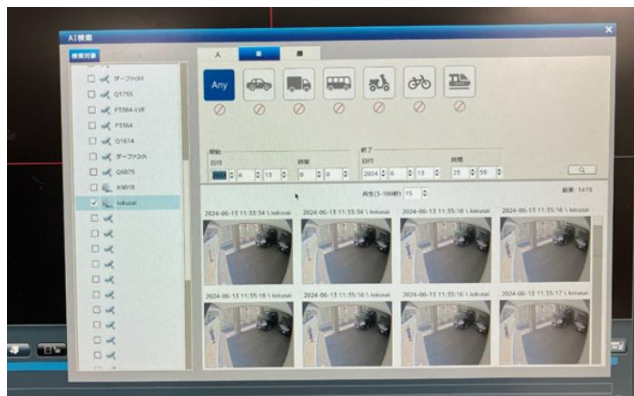
録画再生画面にて「AI 検索」ボタンを押し、AI 検索の画面に移行してください。



検索を行いたいカメラを選択し、検索を行ってください。

※対応カメラのみでの機能となります。対応しているネットワークカメラ、及び対応オブジェクトは弊社カメラリストをご覧ください。

対応カメラ、オブジェクトを選択し、検索ボタンを押すと、下記のような画面が表示されます。

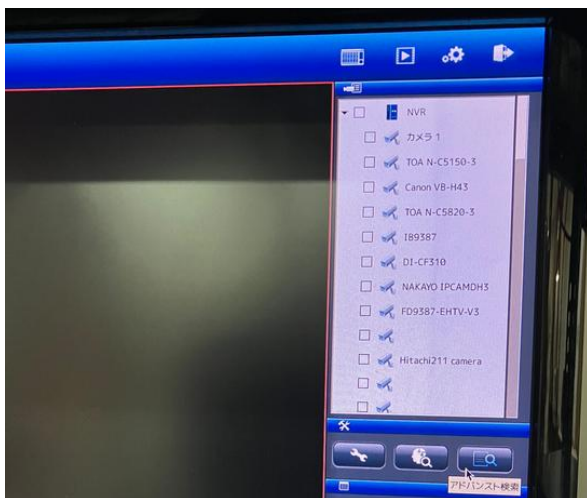


検索を行いたい画像を選択すると、録画再生を行います。



4.3.8 アドバンスド検索機能

録画再生画面で下記のボタンをクリックすると、アドバンスド検索機能に移行します。



内容の詳細は、チャプター3.2.4を参照ください。

5.0 設定

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

5.1 カメラ設定

▼ カメラ

> カメラ設定

> 映像設定

> カメラの状態

5.1.1 カメラ設定

手動または UPnP/Onvif 検索でカメラを NVR に登録します。

カメラ設定

カメラ設定

カメラ設定

カメラNo: 15

カメラ名: カメラ 15

IPアドレス: 192.168.31

メーカー: Auto

ユーザー名: admin

Generic URL:

Stream2 Generic URL:

録画実行: ☒ このカメラで録画を行う

ビデオサーバー: ☐ 有効 ☐ 無効

カメラ登録時の設定

☒ NVRによる初期値設定

☐ カメラの設定も取得

ポート: HTTP: 80 / HTTPS:

暗号:

パスワード:

RTSP port:

Stream2 RTSP port:

MACアドレス:

通信設定モード ▼

1. 手動設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録してください。

※HTTPS は開発中の機能です。

カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードを入力してください。

※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください（カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります）。

※ID とパスワードは 1 文字から 32 文字の間で入力してください。

カメラ設定

通常設定モード ▾

カメラNo.	9 ▾	カメラ登録時の設定	☒ NVRによる初期値設定 ☐ カメラの設定を取得
カメラ名	カメラ 9	ポート	80
IPアドレス	192.168.0.11 ①	型番	
メーカー	Auto ▾	パスワード	*****
ユーザー名	admin ②	RTSP port	☐
Generic URL		Stream2 RTSP port	☐
Stream2 Generic URL			
録画実行	☒ このカメラで録画を行う		
ビデオサーバー	☐ 有効 1CH ▾	Immersion SDK デフォルト	☐ 有効 ASBTRT-H.Q.O ▾

注) ストリームの自動判別時、ライブビュー画面は12分割以下はストリーム1を使用し、16分割以上はストリーム2を使用します。(※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示においてストリーム1を使用します)

注) カメラ登録については必ずカメラリストを確認した上で登録をしてください。対応していないカメラも表示されますのでご注意ください。

UPnP検索 ONVIF検索 VB検索 適用 ③

リスト

再適用 削除

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	追加されました。(0/8) 全て ☐
1	カメラ 1	192.168.0.123	80	Toshiba	CI8001-D	☒
2	カメラ 2	192.168.0.125	80	Toshiba	CI8101-D	☐
3	カメラ 3	192.168.0.39	80	AXIS	M3047-P	☐
4	カメラ 4	192.168.0.124	80	Toshiba	CI8601-D	☐
5	カメラ 5	192.168.0.90	80	HikVision	DS-2DE4220-AE	☐
6	カメラ 6	192.168.0.40	80	AXIS	M3048-P	☐
7	カメラ 7	192.168.0.138	80	Sony	SNC-XM632	☐
8			80			☐
9	カメラ 9	192.168.0.206	80	Canon	VB-S805D	☐

登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

カメラの登録が完了したら、「適用」をクリックしてください。

また、カメラリスト右のチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックすることで、NVR からカメラの登録の削除を行えます。

2. 事前設定モード

事前設定モードを使用することにより、前もってカメラの概要設定を行うことが可能です。

カメラ設定

カメラ設定 - 事前設定モード

事前設定モード

カメラNo.	15	カメラ登録時の設定	NVRによる初期値設定 カメラの設定を取得
カメラ名	カメラ 15	ポート	HTTP 80 / HTTPS
IPアドレス	192.168.31	パスワード	
メーカー	Auto	RTSP port	
ユーザー名	admin	Stream2 RTSP port	
Generic URL		MACアドレス	
Stream2 Generic URL			
録画実行	☒ このカメラで録画を行う		
ビデオサーバー	☐ 有効 1CH		

右上の「事前設定モード」を選択すると、画面が青になり、事前設定モードへと移行します。

＝使用方法

- (1) カメラ情報を入力してください。
カメラ名、IP アドレス、ポート、メーカー名、ユーザー名、パスワードを入力してください。
- (2) 「適用」ボタンを押してください。
- (3) 適用されると、リスト上に赤字で、事前登録されたカメラが表示されます。

＝現地で行う作業

- (1) カメラと接続できる環境に DIGISTOR を設置してください
- (2) カメラリストよりカメラを選択し、「再適用」ボタンを押してください。
※カメラの登録作業にはしばらく時間がかかります。完了後、映像設定にてカメラの録画フレーム等の設定を行ってください。

●Generic RTSP/ Generic M-JPEG

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ M-JPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます（※特別な機種を除き、あくまでテスト用の機能です）。

メーカーで「GenericRTSP」を選択後、Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	動作
1	Camera 1	192.168.1.235	80	VIVOTEK	IPH300EH	動作
2	Camera 2	192.168.1.237	80	VIVOTEK	PH315	動作

「適用」をクリックすると、設定が反映されます。

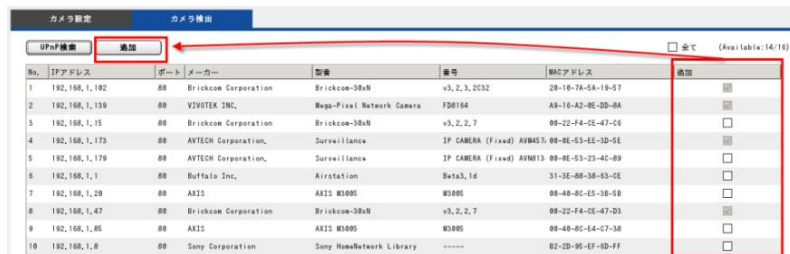
※詳細は営業担当にお問い合わせください。

3.UPnP/Onvif 検索

「UPnP/Onvif 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP/Onvif 機能を持つカメラだけです。一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。



検索中の画面です。しばらくお待ちください。



登録可能なカメラが一覧表示されます。

リストから「追加」をクリックして、必要なカメラを追加してください。



登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。

「適用」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します。

登録が終わったら「次へ」をクリックします。

4.VB 検索（※特定の Canon 製カメラのみ）

VB 検索をクリックすると、カメラが検索されリストとして表示されます。
※Canon 製カメラとの組み合わせで使用できる初期設定検索となります。
※使用できるカメラ等の内容は弊社 HP にてご確認ください。検索を実行できても設定できないカメラもあります。

カメラ設定

カメラ設定

カメラNo.	9	ストリーミングの状態	☒ NVRによる最適化
カメラ名	カメラ 9	☐ ユーザー指定	
IPアドレス	192.168.0.	ポート	80
メーカー	Auto	型番	
ユーザー名	admin	パスワード	*****
Generic URL		RTSP port	
Stream2 Generic URL		Stream2 RTSP port	
録画実行	☒ このカメラで録画を行う		
ビデオワーバー	☐ 有効 ☒ OFF	Immerision SDK デフォルト	☐ 有効 ☒ ASSTR-H.Q.O.

注) ライブビューにおいて単画面から16分割はストリーム1を使用し、16分割以降はストリーム2を使用し表示を行います。(※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示にてストリーム1を使用します。)

注) カメラリストを参照してください。

UPnP検索 ONVIF検索 **VB検索** 適用

①登録を行いたいカメラを選択します。

カメラ設定

グループ追加

VB検索

すべてのカメラの追加

カメラ設定へ

No. 1

カメラ名 カメラ9

IPアドレス 169.254.248.126

ポート 80

ユーザー名 root

パスワード *****

ストリーミングの状態 * NVRによる最適化
○ ユーザー指定

追加可能 ☒ このカメラで録画を行う

ビデオサービ ☐ 有効 1CH

Intervention SDK デフォルト

☐ 有効 ASRT-4.0.0

②カメラ名、IP アドレス、ユーザー名を任意で入力してください。

カメラ設定

グループ追加

VB検索

追加

No.	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	番号	MAC	追加されました (年)
1	192.168.0.20	80	Canon	VB-S910F	Canon_VB-S910F	—	☐

③「すべてのカメラの追加」ボタンを押すと、設定を開始します。
カメラの登録にはしばらく時間がかかります。

※ローカルネットワークのみで利用できる機能です。

※カメラは初期状態である必要があります。

※ネットワーク設定内にある DHCP の機能を使用すると、より簡単に設定することができます。

5.1.2 映像設定

映像設定

カメラNo. 1 カメラ名 TOA-N-C5820

ストリーム1 単 独画

圧縮方式 MPEG4 ○ H264 ※ MJPEG ※ H265

解像度 1280x720

フレームレート 3 fps

画質 単 VBR [3] CBR

音声 5 音声適用スナップショット

ストリーム2 単 独画

有効 無効

圧縮方式 MPEG4 ○ H264 MJPEG ※ H265

解像度 1280x720

フレームレート 15 fps

画質 単 VBR [3] CBR

音声 5

注) ストリームの自動切り替え時、ライブビュー画面は12分割以下はストリーム1を使用し、16分割以上はストリーム2を使用します。(※ただし、1ストリームのカメラの場合は、すべての表示においてストリーム1を使用します)

適用 リセット

メニューの中の「映像設定」を選択してください。

カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用 (※1~12 分割表示に使用するライブ映像用)、ストリーム 2 は 16 分割以上のライブ映像を表示するために使い、通常は低画質設定を行います。それぞれ最適な解像度、フレームレート、画質を設定してください。

リスト

No.	カメラ名	IPアドレス	メーカー	型番	カメラへのリンク
1	brickcom360	192.168.0.80	Brickcom Corporation	Brickcom-360-N-360	ブラウザで開く
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Panasonic	BB-HCM580	ブラウザで開く
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Panasonic	BB-HCM715	ブラウザで開く
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Panasonic	BB-HCM735	ブラウザで開く
5	Camera 5	192.168.0.78	Talix	NvC-130P	ブラウザで開く
6	Camera 6	192.168.0.81	Talix	NBC-130P	ブラウザで開く
7	3500	192.168.0.143	SANYO	VCC-HD3500	ブラウザで開く
8	3300	192.168.0.105	SANYO	VCC-HD3300	ブラウザで開く
9	2500	192.168.0.144	SANYO	VCC-HD2500	ブラウザで開く
10	talix3	192.168.0.82	Talix	NBC-130	ブラウザで開く
11	2300	192.168.0.165	SANYO	VCC-HD2300	ブラウザで開く
12	test1	192.168.0.135	iCanTek	testD46M	ブラウザで開く
13	talix4	192.168.0.79	Talix	NvC-130P	ブラウザで開く
14					ブラウザで開く
15					ブラウザで開く
16					ブラウザで開く

映像設定を行う時は、先に下段にあるカメラリストから、設定したいカメラを選択してください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

●音声

音声機能を使用する際はチェックを入れてください。

「カメラの設定」ページから、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると、NVR に登録しているカメラのステータスを確認できます。

カメラの状態

カメラの状態									
No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	録画状態	フレームレート (fps)	ビットレート(Kbps)	圧縮方式	解像度	デバイス経由で
1	カメラ 1	192.168.13.155	接続しました	録画中	5 fps	1942.2 Kbps	H264	1920x1088	---
2	TOAN-C5150-3	192.168.13.137	接続しました	録画中	5 fps	937.2 Kbps	H265	1920x1088	---
3	Canon VB-H43	192.168.13.153	接続しました	録画中	5 fps	2052.7 Kbps	H264	1920x1088	---
4	TOAN-C5820-3	192.168.13.162	接続しました	録画中	5 fps	779.3 Kbps	H265	1920x1088	---
5	IB0387	192.168.13.172	接続しました	録画中	5 fps	55.2 Kbps	H265	1600x1200	00:02:D1:02:20:71
6	DI-CF310	192.168.13.185	接続しました	録画中	4 fps	1010.9 Kbps	H264	1280x960	---
7	NAKAYO IPCAMHD3	192.168.13.201	接続しました	録画中	4 fps	252.8 Kbps	H264	640x480	---
8	FD0387-EHTV-V3	192.168.13.173	接続しました	録画中	5 fps	75.1 Kbps	H265	1600x1200	00:02:D1:00:E2:5F

接続状態が「接続しました」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態、「接続不良」は何らかの理由で接続できていない状態です。ただし、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「停止」状態になります。

※ストリーミングサーバー等を使用し、再配信されている場合は、「デバイス経由で」カメラの IP アドレスが記載されます。

Ver77 より、カメラの MAC アドレスの表示機能を追加しました。

※AXIS・VIVOTEK・i-PRO・パナソニックの一部のカメラのみ対応

5.2 録画とイベント

5.2.1 録画モード

録画モードには「録画なし」「スケジュール録画とイベント録画」「常時録画」の3タイプあります。

録画モード	録画のスケジュール	スナップショットのスケジュール	イベントスマート録画
録画グループ	タイムラプス録画		

録画モード

☐ 録画なし
☐ スケジュール録画とイベント録画 (録画のスケジュール/イベントと動作)
☒ 常時録画 ☐ すべて

カメラ 1

TOA N-C5150-3

Canon VB-H43

TOA N-C5620-3

IB9367

DI-CF310

NAKAYO IPCAM0H3

F09367-EXTV-V3

カメラ 9

Hitachi211 camera

カメラ 11

カメラ 12

カメラ 13

カメラ 14

カメラ 15

カメラ 16

カメラ 17

カメラ 18

カメラ 19

カメラ 20

Remote Iokusa2

Remote Iokusa1

カメラ 23

カメラ 24

カメラ 25

カメラ 26

カメラ 27

カメラ 28

カメラ 29

カメラ 30

カメラ 31

カメラ 32

カメラ 33

カメラ 34

カメラ 35

カメラ 36

カメラ 37

カメラ 38

カメラ 39

カメラ 40

カメラ 41

カメラ 42

カメラ 43

カメラ 44

カメラ 45

カメラ 46

カメラ 47

カメラ 48

カメラ 49

カメラ 50

カメラ 51

カメラ 52

カメラ 53

カメラ 54

カメラ 55

カメラ 56

カメラ 57

カメラ 58

カメラ 59

カメラ 60

カメラ 61

カメラ 62

カメラ 63

カメラ 64

マニュアル録画

☒ ライブ画面でマニュアル録画機能を使用する
☐ 独自フォーマットで録画ファイルを生産(NVR内のplayerとコーデックが必要です。)
☐ 汎用のAVフォーマットで録画ファイルを生産(別途コーデックは必要ありません。)

注意

※デフォルトは独自フォーマットです。

HDD上書き設定

☒ 使用率 90 % (最大:95,最小:20)
☐ 上書き期間 7 日

スナップショット保存日数

☐ 上書き期間 30 日 (1-9999)

- **録画なし** : すべてのカメラで録画をしないモードです。
- **スケジュール録画とイベント録画** : 決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。
※アラーム録画を行う場合もこちらを選択します。
- **常時録画** : 連続的に録画するモードです。
- **マニュアル録画** : ライブ画面でマニュアル録画を使用する場合はチェックを入れます。
- **映像形式** : NVR の録画形式を変更できます。
※デフォルトは独自フォーマットです。

●**HDD 上書き設定**:HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20～90 までの値 (%) を設定してください。

例えば「90」を設定した場合、HDD の使用量が 90%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 90%を保つようにします。

(※初期値 90%)

●**映像保存日数**: 録画ファイルを保存する日数を決め、その設定した期日が過ぎたファイルを削除していきます。ただし、HDD の容量が足りず、その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯な状態になると、録画が停止する恐れがあるので注意してください。

※この設定を ON にすると録画グループの設定が可能です。

設定が終わったら、「適用」をクリックして設定を反映させてください。

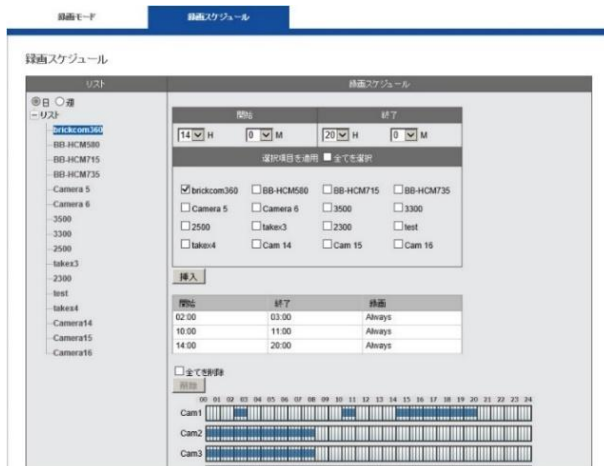
5.2.2 録画スケジュール

録画スケジュールの設定を行います。



1) スケジュールの設定

カメラを選択し、開始時間と終了時間を決めて「挿入」をクリックしてください。



2) スケジュールの削除

削除したいスケジュールのバーをクリックし、「削除」をクリックすると、そのスケジュールが削除されます。

5.2.3 スナップショットのスケジュール

スケジュールスナップショットの設定を行います。

録画モード 録画のスケジュール **スナップショットのスケジュール** イベントスマート録画

録画グループ タイムラプス録画

スナップショットのスケジュール

スケジュール番号		開始	終了	間隔
0	H	0	M	1
適用するカメラを指定 ■ すべてを選択				
☐ 1. カメラ 1	☐ 2. TOAN-CS150-3	☐ 3. Canon VB-H43	☐ 4. TOAN-CS820-3	
☐ 5. IB9387	☐ 6. DI-CF310	☐ 7. NAKAYO IPCAMDH3	☐ 8. FDR387-EHTV-V3	
☐ 9. カメラ 9	☐ 10. Hlachi211 camera	☐ 11. カメラ 11	☐ 12. カメラ 12	
☐ 13. カメラ 13	☐ 14. カメラ 14	☐ 15. カメラ 15	☐ 16. カメラ 16	
☐ 17. カメラ 17	☐ 18. カメラ 18	☐ 19. カメラ 19	☐ 20. カメラ 20	
☐ 21. Remote kokutan2	☐ 22. remote kokutan1	☐ 23. カメラ 23	☐ 24. カメラ 24	
☐ 25. カメラ 25	☐ 26. カメラ 26	☐ 27. カメラ 27	☐ 28. カメラ 28	
☐ 29. カメラ 29	☐ 30. カメラ 30	☐ 31. カメラ 31	☐ 32. カメラ 32	
☐ 33. カメラ 33	☐ 34. カメラ 34	☐ 35. カメラ 35	☐ 36. カメラ 36	
☐ 37. カメラ 37	☐ 38. カメラ 38	☐ 39. カメラ 39	☐ 40. カメラ 40	
☐ 41. カメラ 41	☐ 42. カメラ 42	☐ 43. カメラ 43	☐ 44. カメラ 44	
☐ 45. カメラ 45	☐ 46. カメラ 46	☐ 47. カメラ 47	☐ 48. カメラ 48	
☐ 49. カメラ 49	☐ 50. カメラ 50	☐ 51. カメラ 51	☐ 52. カメラ 52	
☐ 53. カメラ 53	☐ 54. カメラ 54	☐ 55. カメラ 55	☐ 56. カメラ 56	
☐ 57. カメラ 57	☐ 58. カメラ 58	☐ 59. カメラ 59	☐ 60. カメラ 60	
☐ 61. カメラ 61	☐ 62. カメラ 62	☐ 63. カメラ 63	☐ 64. カメラ 64	

適用

スナップショットの保存日数：上書きの周期を入力します。

※スケジュールごとでの保存日数の変更はできません。

※「スナップショットの保存日数」は、「録画モード」の画面にて変更できます。

スケジュールNo.：最大 20 個までのスケジュールが入力できます。

開始時間、終了時間、間隔（※スナップショット取得間隔）を入力してください。

※スナップショットの取得間隔は、10/12/15/30 秒ごと、1/2/3/4/5/6/12/15/30/60/120 分ごとです。

※スナップショットの保存先は、¥¥(NVRIP)内の「Snapshot」フォルダです。

※常時録画の設定が行われているカメラで使用できます。

リスト

削除

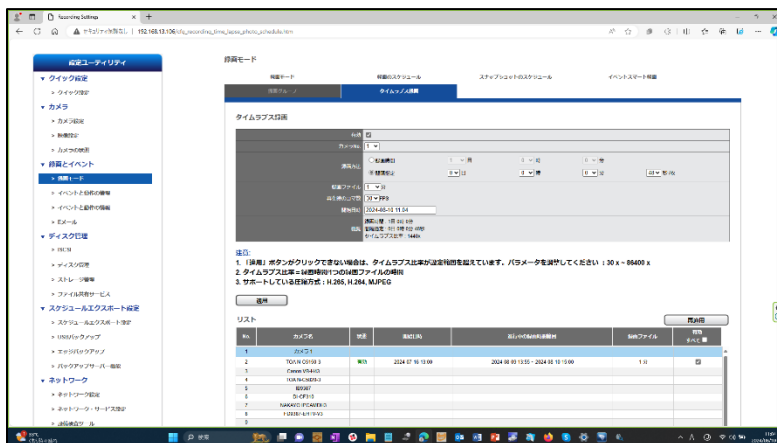
No.	開始時間	終了時間	間隔	カメラNo.	追加したいカメラ(0/2) すべて ☐
1	00:00	00:00	10 sec	2	☐
2	00:00	00:00	10 sec	3	☐
3					☐
4					☐
5					☐
6					☐
7					☐
8					☐
9					☐
10					☐
11					☐
12					☐
13					☐
14					☐
15					☐
16					☐
17					☐
18					☐
19					☐
20					☐

注意:

1. スナップショットのスケジュールを利用するのは、カメラを常時録画にしてください。
2. スナップショットの保存容量は合計容量の10%までです。
3. スナップショットのスケジュールを利用するのは、カメラのI-frameを1秒にしてください。
4. スナップショットの保存先はSambaのSnapshotフォルダーです。

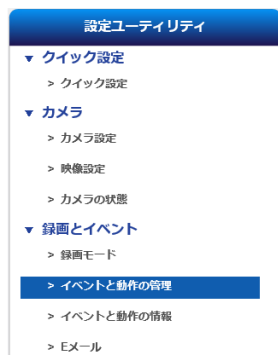
5.2.6 タイムラプス録画

同一アングルで一定間隔で撮影された静止画を、並べた動画を作成するための微速度録画ができるようになりました。長期にわたる建造物の完成に至る過程などを、視覚的に捉えることができる機能となります。



5.2.7 イベントと動作の管理

イベントと動作の機能を使用すると、下記イベント内容に対してポップアップ通知を行ったり、動体検知時に録画を開始したりするなどの機能が使用できます。



1) イベントと動作



画面左側よりイベントを選択し、右上の「追加」をクリックして設定を行ってください。トリガーイベントと動作の内容は、下記の通りです。

=カメラのイベント=

1.接続不良

カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

2.モーション検知

カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

3.FPS 通知

指定した FPS の値を下回った場合、イベントを発生させることができません。

4.音声検知（※対応 AXIS カメラのみ）

音声を検知した際、設定した動作を行います。

5.IO 入力

カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。

6.通話ボタン（※アイホン製 IX-DA・EA 及びナカヨ製 IPCAMDH3）

ドアホンの通話ボタンを押下した際に設定した動作を行います。

=NVR のイベント=

1.接続不良

NVR がネットワーク接続を失うと、設定した動作を行います。

2.録画エラー

NVR が録画（※書き込み）に失敗すると、設定した動作を行います。

3.UPS の警告（※対応 UPS のみ）

UPS の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

4.HDD の容量不足通知

HDD の容量が設定値を下回ると、設定した動作を行います。

5.異常シャットダウン

異常シャットダウンのログが確認されると、設定した動作を行います。

6.DigitalInput（※対応機種のみ）

NVR 側の IO 入力が入った際、設定した動作を行います。

=ハードウェアのイベント=

1.CPU 温度警告（CPU Temperature Warning）

CPU の温度が規定値を超えると、この動作を行います。

2.CPU ファン警告（CPU Fan Warning）

CPU ファンに異常があると、この動作を行います。

3.システムのファン警告（System Fan Warning）

システムのファンに異常があると、この動作を行います。

4.HDD エラー警告

HDD の SMART 警告が発生した場合、この動作を行います。

5.HDD Failed

HDD が故障し使用できなくなった場合、この動作を行います。

6.低バッテリー警告

7.eSATA の接続不良

8.RAID デグレード

RAID が格下げの状態になった場合、この動作を行います。

9.RAID 障害

RAID 障害が発生した場合、この動作を行います。

10.RAID の構築中

RAID 構成中にこの動作を行います。

①新しく HDD を入れた際

②RAID の構成が終了した際

③RAID の再構成が停止した場合
に動作を行います。

11.外部イベント (HTTP-in)

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると、設定した動作を行います。全部で 5 種類の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

`http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.cgi
&eventName=Defined_<int>`

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。

<int>は、外部イベントの番号（1-5）です。

例：

`http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ip
c.cgi&eventName=Defined_3`

※外部イベントは 32 個まで作成できます。※ver69 より

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

＝動作＝

●イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの2種類があります。

イベント録画：イベントが発生すると5分間の映像を記録します。イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。

ビデオ・クリップ：Eメールでビデオ・クリップを送信します。詳細設定でイベント発生前後に記録する時間（秒数）を設定できます。

設定するカメラを選択したら、「適用」をクリックします。

イベント録画設定

イベント録画

☒ 有効 ☐ 無効

ビデオ・クリップ

注意: Eメールでビデオ・クリップを送信する時は、録画とイベント Eメールで受信者も設定します。

選択	受信者名	Eメール
保持	DS-4205ent - モニタリングカメラ 1 (最大数: 64 文字)	

メッセージ

test1
(最大数: 127 文字)

FTP

☐ スナップショット ☐ ビデオ・クリップ

☒ カメラ 1 ☐ カメラ 2 ☐ カメラ 3 ☐ カメラ 4
☐ カメラ 5 ☐ カメラ 6 ☐ カメラ 7 ☐ カメラ 8
☐ カメラ 9

適用するカメラを選択
■ 全て

注意: 指定したカメラにこのオプションが設定されます。

OK

●Eメールを送る

「Eメールを送る」を選択すると、Eメールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント > Eメール」で設定します。

「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。

注意：カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。

Eメール送信は20秒間隔で行われます。例えば1分間イベントが続いたとしたら、メールは3通送信されることになります。

● 本体 IO 出力（※対応機種のみ）

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウインドウが表示されます。

ブザーは、60 秒間鳴らすことができます。

注意：NVR 正面の USB バックアップ・ボタンを 1 秒間押せばブザーを止めることができます。

デジタル出力 1 とデジタル出力 2 は最長 60 秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。

接点出力設定

ブザー ☐ 有効 / 時間: 60 秒

Digital Output1 有効 ☐ 有効 / 時間: 継続 秒

Digital Output2 有効 ☐ 有効 / 時間: 継続 秒

適用するカメラを指定 ☐ 全て

☒ カメラ 1 ☐ カメラ 2 ☐ カメラ 3 ☐ カメラ 4
☐ カメラ 5 ☐ カメラ 6 ☐ カメラ 7 ☐ カメラ 8
☐ カメラ 9

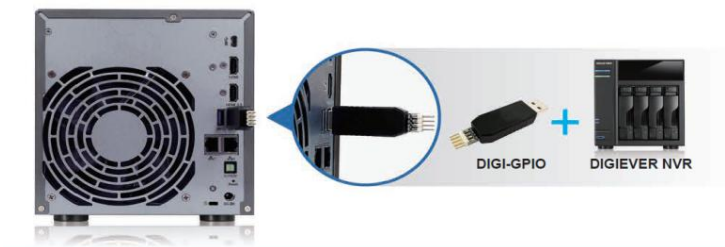
注意: 指定したカメラにこのオプションが設定されます。

OK

● USB I/O 出力（※対応機種のみ ※別途オプション）

別途オプションで、USB I/O をご購入いただくと、本体背面 USB ポートに差し込むことで本体での I/O 入出力機能が使用できます。

※オープンコレクタ出力





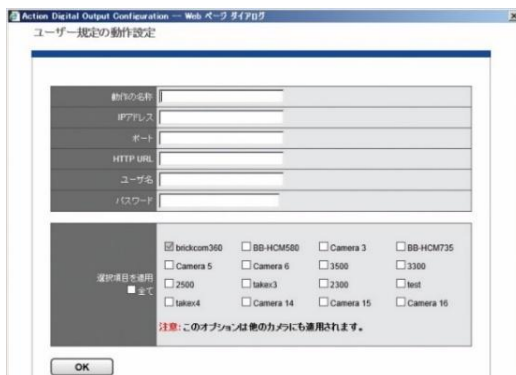
- ① USB I/O の接続状態を確認してください
- ② それぞれの I/O 入出力の設定が可能です。
- ③ 上記の写真は、HDD 故障時に I/O の出力を行う設定例です。
- ④ 詳細の設定で、どの出力を動作させるか選択してください。

■ 継続/3 秒/10 秒/20 秒/30 秒/60 秒の設定が可能です。

継続選択時の出力を OFF にするには、本体のシステムメニューより
→ブザー→OFF を行い、出力のリセットを行ってください。

●ユーザー規定の動作

イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。また、その機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。



●SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

●カメラプリセットポイント

PTZプリセット設定

PTZカメラがありません。

☐カメラ 1 ☐カメラ 2 ☐カメラ 3 ☐カメラ 4
☐カメラ 5 ☐カメラ 6 ☐カメラ 7 ☐カメラ 8
☐カメラ 9

カメラプリセットポイント

▼ 追加 削除 全てを削除

OK

※カメラプリセット数は同時に 3 点まで指定可能です。

●カメラの IO 出力（※対応機種のみ）

●パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、NVR のハードウェアのエラーなどをわかりやすく表示できます。

パトライト

機器設定

機器番号

機器名称 IPアドレス

ポート パスワード

適用

機器リスト **Delete**

No.	機器名称	IPアドレス	ポート	全て ☐
1			80	☐
2			80	☐
3			80	☐
4			80	☐

上記設定を入力し、ネットワークパトライトを NVR に登録してください。登録後にハードウェアのイベントにて設定を行うと、詳細な設定が可能です。

パトライト設定

パトライト動作 ☐赤 ☐黄 ☐緑 ☐ブザー

パトライト ☐デバイス 1 ☐デバイス 2 ☐デバイス 3 ☐デバイス 4

適用するカメラを指定 ☐カメラ 1 ☐カメラ 2 ☐カメラ 3 ☐カメラ 4
☐Camera 5

注意: 指定したカメラにこのオプションが設定されます。

注意: 設定画面へってください。

OK

※イベントの解除は、パトライト本体のボタンを押して手動でキャンセルしてください。

●ネットワークスピーカー（※対応機種：Axis C3003-Eのみ）

対応しているネットワークスピーカーであれば、イベント発生時に録音されている音声を鳴らすことができます（※ネットワークスピーカーをカメラとして登録する必要があります）。

ネットワークスピーカー動作設定

スピーカー	カメラ 1	カメラ 2	カメラ 3	カメラ 4
	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐
	☐		☐	☐

音声ファイルリスト
▼ 追加 削除 全てを削除

OK

●ライブ映像での通知

NVR やカメラの外部 IO 等と連動し、選択したカメラの強調表示、及びポップアップ表示と連動させることができる機能です。

※**注意**：もし、強調表示やポップアップさせたくないカメラがある場合は、この設定で☑を入れず、☐のままにしてください。

※Ver70-3.1 からの機能です。

5.2.8 詳細設定

イベントと動作の管理

イベントと動作	詳細設定	チェーンイベント	データ管理																				
詳細設定																							
動作トリガー間隔: 10 秒																							
ビデオクリップ																							
検知前録画時間: 3 秒 (録画開始)																							
検知後録画時間: 3 秒 (録画停止)																							
録画モード																							
検知前録画時間: 10 秒 (録画開始)																							
検知後録画時間: 10 秒 (録画停止)																							
☐ イベント録画のみオーディオ保存																							
ユーザー指定時間: ☐ 60 秒間のカメラ記録																							
IO入出力の設定																							
状態: 停止中																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>D/VDO</th> <th>ピン</th> <th>名前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>IO出力</td> <td>高</td> <td>test1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>IO出力</td> <td>高</td> <td>test2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>IO入力</td> <td>低</td> <td>test3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>IO入力</td> <td>低</td> <td>test4</td> </tr> </tbody> </table>					D/VDO	ピン	名前	1	IO出力	高	test1	2	IO出力	高	test2	3	IO入力	低	test3	4	IO入力	低	test4
	D/VDO	ピン	名前																				
1	IO出力	高	test1																				
2	IO出力	高	test2																				
3	IO入力	低	test3																				
4	IO入力	低	test4																				
FPS検出設定: 3 FPS以下で検出																							
☒ 音声表示でのイベントポップアップ																							
☒ 外部イベント (HTTP-req)																							
☒ イベント時にスナップショットを保存																							
ヒント: 'イベント録画のみオーディオ保存' を選択すると、イベント時のみ音声の録音を行います。																							
適用 リセット																							

●動作トリガー間隔

この間隔内での同一のトリガーは無視されます。

●ビデオクリップ

検知録画時間は前後 3/5/7/10 秒で設定できます。

●録画モード

トリガーが入る前後それぞれ何秒間を録画するのかを設定します。イベント発生前 10-300 秒間、イベント終了後 10-300 秒間まで設定できます。※ver69 より 10 秒設定ができるようになりました

●イベント録画のみオーディオ保存

この項目にチェックを入れると、通常はオーディオを保存しませんが、イベント発生時のみオーディオを保存します。イベントが終了すると自動的にオーディオは無効になります。

「適用」をクリックして設定を保存してください。

5.2.9 イベントと動作の情報

イベントと動作の情報をクリックすると、設定されたイベントの情報及び設定可能なイベント、動作情報の一覧が表示されます。

▼ 録画とイベント

- > 録画モード
- > イベントと動作の管理
- > イベントと動作の情報
- > Eメール

5.2.10 Eメール

「録画とイベント」の「Eメール」を選択してEメールに関する設定を行います。

▼ 録画とイベント

- > 録画モード
- > イベントと動作の管理
- > Eメール

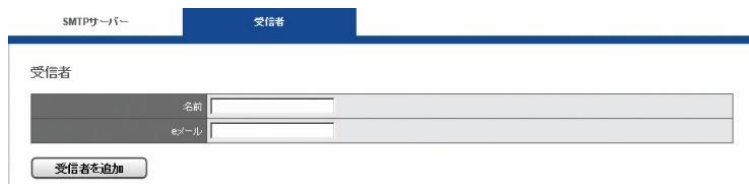
SMTP サーバー

- **サーバー・アドレス** : SMTP サーバーのアドレスを入力します。
- **送信者** : 送信者の E メール・アドレスを入力します。
- **件名と本文** : メールの件名と通知文面を入力します。
- **認証** : お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
- **ユーザー名とパスワード** : SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。



The screenshot shows the '受信者' (Receiver) tab selected. The form contains two input fields: '名前' (Name) and 'eメール' (Email). Below the input fields is a button labeled '受信者を追加' (Add Receiver).

「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。

「適用」をクリックして設定を保存します。

※使用しているメールサーバーによっては、セキュリティの関係でこの機能が使用できない場合があります。

5.3 ディスク管理

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。

▼ ディスク管理

> ディスク管理

> ストレージ管理

> ファイル共有サービス

ディスク情報

下記画面にて、HDD の状態の確認ができます。また、HDD 稼働時間によりライブ画面上でのポップアップを行いたい場合は、右下の閾値より時間の設定を行ってください。

RAIDリスト		HDD1	
NVR 1 [linear, 465.76 GB]		DIGARRAY 1 [raid5, 3725.93 GB, eSATA-1]	

HDD1 詳細	
プロトコル	1
型番	WDC WD6003ABYX-6FWER1
シリアル番号	WD-WMAYPS138904
容量	465.76 GB
状態	正常
S.M.A.R.T. 状態	正常
S.M.A.R.T. 温度	73.34
稼働時間合計	20000 時間
フォーマット済み	あり

●フォーマット

フォーマットを選択するとすべての録画データが消去されます。

※フォーマットを行うには、録画の停止を行う必要があります。

RAID名	RAIDタイプ	容量	状態	フォーマットの必要
RAID A	ビッグデータプライム	931.51 GB	使用中	ボリュームは使用されています。

注意: ボリュームの状態とは、RAIDがストレージボリュームグループでの使用状態を示します。使用中の場合は、操作できません。

削除 フォーマット

※HDD カセット方式

シングルモードの HDD を複数作成し、HDD が故障した場合でも他の HDD が代用し、録画が継続する機能です。

※故障した HDD の録画データはなくなりますが、他の HDD に入っている録画データは再生可能+残りの HDD で運用を行える機能となります。

※ver75 での新機能です。詳しくは、販売店までご相談ください

5.3.2 ストレージ管理

「ディスク管理」メニューの「ストレージ管理」を選択してください。

▼ ディスク管理

> ディスク管理

> ストレージ管理

> ファイル共有サービス

ストレージボリュームでは、ディスク・ボリュームの容量、使用している容量、HDD の状態などが表示されます。

ストレージ管理

ストレージボリューム	ボリュームの削除	ボリュームの削除	フォーマット
ストレージボリュームリスト ④ ストレージボリュームグループ [4125.64 GB, 310.65 GB, 8.43%] Volume Main [458.32 GB, NVR 1] Volume 1 [3667.32 GB, DIGIARRAY 1]		ボリューム情報 名前: Volume Main 容量: 458.32 GB 使用容量: 310.57 GB, 71.89% デバイス: NVR 1 状態: 正常/読み	

5.3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。

▼ ディスク管理

> ディスク管理

> ストレージ管理

> ファイル共有サービス

NVR が対応しているファイル共有サービスには「Windows ネットワーク」と「FTP」の二つがあります。

情報			
Windowsネットワーク		FTPサービス	
サービスリスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク
FTPサービス	ON	無効	リンク

1. 情報

ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

2. Windows ネットワーク

サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行います。

情報		Windowsネットワーク	FTPサービス
Windows設定			
サービス	☒ 有効 ☐ 無効		
コンピューター名	DS-20107aae767c		
コンピューターの説明	NVR		
ドメインまたはWorkgroup名	Surveillance		
適用		リセット	

3.FTP サービス

サービスの有効／無効の切り換え、モード指定、使用するポートの変更などを行えます。

ファイル共有サービス

情報	Windowsネットワーク	FTPサービス
FTP設定		
サービス	☒ 有効 ☐ 無効	
モード	☒ アクティブ ☒ パッシブ	
コマンド・ポート	21	
パッシブ・ポート	1024	~ 65535
注意: ポート 1 2 3 4 ~ 1 3 6 2、その他一部のポート番号はシステムが使用しています。		
FTPフォルダ設定		
有効	☐	
FTPフォルダしきい値	50	GB
注意: ファイル名が.jpgまたは_s.jpgまたは.log2 フォーマットに従っている場合、自動に日付ごとにファイルを ANPR フォルダに分類します。		
適用		リセット

※FTP フォルダ設定は開発中の機能です。

5.4 スケジュールエクスポート設定

▼ スケジュールエクスポート設定

> スケジュールエクスポート設定

> USBバックアップ

> エッジバックアップ

> バックアップサーバー機能

5.4.1 スケジュールエクスポート設定

DIGIARRAY を使用したバックアップ設定です。

(※USB、FTP などのデバイスでのバックアップは開発中となります。)

スケジュールエクスポート設定

デバイス	スケジュールエクスポート設定	手動設定
------	----------------	------

デバイス	USBデバイス ▼
デバイス情報	
容量	
状態	

接続切断フォーマット

アーカイブ情報

タスクID	NVR ID	モード	タスクの開始	タスクの停止	状態	データサイズ	タスク内容	情報
-------	--------	-----	--------	--------	----	--------	-------	----

1. ローカルデバイスを選択します。

※正常に認識されているか確認してください。

スケジュールエクスポート設定

デバイス

スケジュールエクスポート設定

手動設定

録画データの選択

日	☒ 日 ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土
時間範囲	開始: 0 時 0 分 終了: 0 時 0 分
カメラの選択	☐ すべて ☒ i-Pro1 銀行 ☐ i-Pro2 銀行 ☐ TOA1 銀行 ☐ TOA2 銀行 ☐ カメラ 5 ☐ ショールーム ☐ カメラ 7 ☐ VivoAI ☐ JVCConvivN-H258R ☐ sony CS11 ☐ カメラ 11 ☐ カメラ 12 ☐ カメラ 13 ☐ test vivoV2 ☐ カメラ 15 ☐ カメラ 16 ☐ Nidec Test ☐ Axis AI test ☐ ipro AI test ☐ Hanwha AI test
録画タイプ	☒ すべて ☐ 通常 ☐ イベント ☐ ビデオクリップ

開始時間

開始時間	☐ 自動エクスポート ☒ スケジュール設定 開始: 20 時 5 分 終了: 0 時 0 分
通知メッセージ	☐ 1 時間バックアップが実行されない場合通知メッセージを表示(1-24)

ヒント:

1. エクスポートしたい録画データの曜日と時間を指定し、指定したデバイスにスケジュールを組み、エクスポートする機能です。
2. 自動エクスポート使用時は、10分間隔で録画データのエクスポートを行います。
3. 手動で開始/終了時間を選択した場合、バックアップ未完了でも終了時間にてバックアップ動作を停止します。
4. エクスポート中に指定先のデバイスの容量が一杯になった場合は古いデータより上書きを行います。

エクスポート開始

エクスポート中止

2. エクスポートを行いたいカメラと時間帯を入力/選択してください。
3. 「自動エクスポート」にチェックを入れると、10分間隔で録画データのエクスポートを行います。
4. スケジュール設定にすると、その時間からそのエクスポートを開始します。

5.4.2 USB バックアップ

1.USB バックアップ

USB ストレージを NVR 本体正面の USB ポートに接続すると、「デバイス情報」に USB ストレージの情報が表示されます。

USBバックアップ

USBバックアップ		DVDへのバックアップ	詳細設定
機器情報			
デバイス情報	TOSHIBA Model: TransMemory Rev: 1.00		
容量	7391 MBytes (残り: 6282 MBytes)		
状態	準備完了		
情報	☒ FAT32 ☐ NTFS フォーマット		
USBバックアップ・ボタンの設定			
有効 ☐			
適用		USBバックアップ開始	
		注意: 有効にチェックを入れ適用する事でバックアップ期間が指定できます。 注意: バックアップ期間を指定し適用後に、「USBバックアップ開始」を選択して下さい。	

USB ストレージが「準備完了」になると、USB インジケータは青色で点灯します。バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、「情報」にはコピー中のファイル数が表示されます。

USB ストレージを初期化する時は FAT32 もしくは、NTFS を選択し、「フォーマット」ボタンをクリックします。

注意: USB バックアップ・ボタンを有しているのは、DS-2205(B) UHD シリーズ、DS-4220(B) UHD シリーズ、DS-4220-RM UHD シリーズ、DS-16364-RM UHD シリーズです。

2.DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インジケータが青色で点灯し、「状態」が準備完了となります。



注意： DVD ドライブに対応しているのは DS-2205(B) UHD、DS-4220(B) UHD、DS-4220-RM UHD シリーズ、DS-16364-RM UHD シリーズとなります。

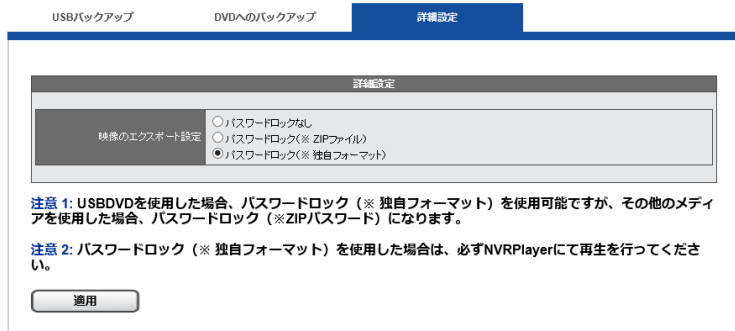
注意： DVD ドライブ内に DVD メディアが挿入されていない時は USB 機器として認識されません。

注意： DVD ドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck が DVD にコピーされます。

注意： ロジテック INA ソリューションズ株式会社ポータブル DVD ドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3.詳細設定

詳細設定



録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行えます。録画ファイルは設定に基づき、パスワードつき zip ファイルもしくは、独自ファイルにて圧縮されます。

※パスワード独自フォーマットを使用した場合は、NVRPlayer にて再生を行った際にパスワードの入力画面が表示されるので、パスワードを入力して再生してください。その際、他の汎用プレイヤーは使用できません。

注意：パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。該当欄にチェックを入れた後、「適用」をクリックしてください。

※zip ファイルを解凍する時、バックアップ時に決めたパスワードを使用し解凍を行ってください。

5.4.3 エッジバックアップ ※開発中の機能です。

5.4.4 バックアップサーバー機能

この機能を使用することで、NVR が録画バックアップ用の装置となり、NVR のバックアップを 10 分おきに行います。また、バックアップされたデータはローカル・ディスプレイでも再生が可能です。

※バックアップできるカメラの台数は、バックアップサーバーに変更する前の NVR のチャンネル数です。

バックアップサーバー機能

バックアップ設定

録画スケジュール

有効 ☐

カメラNo.

IPアドレス

ポート

ユーザー名

パスワード

注意: NVR とバックアップサーバーの時間を同じにしてください。
 注意: 全ての保存容量を利用するために、HDD をフォーマットしてください。
 注意: NVR とバックアップサーバーの間に 30 分以上が切断された場合は、一部のビデオがバックアップされない可能性があります。

NVR の検索

適用

リスト

削除

No.	NVR 名	カメラ名	IP アドレス	ポート	メーカー	型番	全て
1				80			☐
2				80			☐
3				80			☐
4				80			☐
5				80			☐
6				80			☐
7				80			☐
8				80			☐
9				80			☐

- 「有効」にチェックを入れ、バックアップサーバーに変更後、バックアップを行いたい NVR の IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して NVR を追加してください。
- 録画スケジュールをクリックして、バックアップを行いたいカメラとその時間範囲を入力すると自動的にバックアップを行います。

※NVR とバックアップサーバーの時計を同期してください。

※万が一、親子間の通信が途切れた場合でも、720 分（12 時間）以内であれば、そのデータの補填を行います。

※ライブ映像の閲覧はできません。

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

▼ ネットワーク

> ネットワーク設定

> ネットワーク・サービス

> DDNS

1. 情報

コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

情報	設定	DHCP設定	HTTPサービス
コンピューター名 Demo-64-2100UHD			
LAN IPv4 / IPv6			
IPアドレス	192.168.11.94		IPv4 IPv6
サブネット・マスク	255.255.255.0		
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.11.1		
プライマリ・DNSサーバー	192.168.11.1		
セカンダリ・DNSサーバー	8.8.8.8		

2. 設定

コンピューター名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

ネットワーク設定

ネットワーク・インターフェイス	☒ 共有のIP ☐ 個別のIP ☐ ポートトラッキング balance-alb		
コンピューター名	kenshou		
インターネット・プロトコル	☐ DHCP ☒ 固定IP		
デフォルト・ゲートウェイの選択	☒ LAN 1 ☐ LAN 2	IPv6	☒ IPv4 ☐ IPv6

LAN IPv4 / IPv6

			1 2 3
IPアドレス	192.168.200.58	/	
サブネット・マスク	255.255.255.0	/	64 (prefix)
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.200.254	/	
プライマリ・DNSサーバー	192.168.200.254	/	
セカンダリ・DNSサーバー	8.8.8.8	/	

●共有の IP

2 個の LAN 端子に同じ IP アドレスを割り振ります。

●個別の IP

2 個の LAN 端子にそれぞれ別の IP アドレスを割り振ります。

●ポートランキング- 開発中の機能です。

インターネット・プロトコル

●DHCP：ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

●固定 IP：お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。

※DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」となります。

デフォルトゲートウェイ

チェックすることで、LAN1、LAN2 いずれかをゲートウェイに指定することができます。

3.DHCP 設定

NVR を DHCP サーバーとして動作させる機能です。サーバー機能を有効にし、アドレスの範囲を設定すると、この機能が使用できます。

DHCP設定

DHCPサーバー	☐ 有効 ☒ 無効	
IPアドレス	192.168.200.58	
開始IPアドレス	192.168.200.	(1~254)
終了IPアドレス	192.168.200.	(1~254)

4.HTTP サービス

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。

※HTTPS は、開発中の機能です。

ネットワーク設定

情報	設定	DHCP設定	HTTPサービス
HTTP			
有効	☒		
管理ポート番号	80		
HTTPS			
有効	☐		
管理ポート番号	843		
注意: ポート 1 2 3 4 ~ 1 3 6 2、その他一部のポート番号はシステムが使用しています。 注意: HTTPSは設定画面向け機能です。			
適用 リセット			

5.PPPoE - 使用しません

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

▼ ネットワーク

> ネットワーク設定

> ネットワークサービス

> DDNS

1. ネットワークサービス

ネットワーク・サービス設定

ネットワーク・サービス設定		アクセス禁止/許可リスト		リレーサーバーポート設定		DVRの555ポート設定	
ネットワーク・サービス設定							
UPnP	☒ 有効	UPnP名	DS-76726417d03				
Telnet	☒ 有効	Telnetポート	23				
IP Forward	☒ 有効						
適用		リセット					

【UPnP】【Telnet】【IP Forward】機能を有効/無効にできます。

2. 禁止/許可リスト

ネットワーク・サービス設定

ネットワーク・サービス設定		アクセス禁止/許可リスト		リレーサーバーポート設定		DVRの555ポート設定	
アクセス禁止/許可リスト							
オプション		☐ 許可リスト ☐ 禁止リスト					
IPアドレス		追加					
		削除					
		IPアドレス					
		アクセス					
		機能					
適用		リセット					

禁止リストまたは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。

禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。

許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

3. リレーサーバー

リレーサーバー機能を使用することで、複数のクライアントを使用し、同時に 4 台以上の複数の端末で監視ができます。

※カメラ 1 台（※単体）あたり最大 12 ストリーム・最大 144 ストリームの配信ができる機能です。

リレーサーバーポート設定

有効	☒
管理ポート番号	44444

注意:

1. ポート 1 2 3 4 ~ 1 3 6 2、その他一部のポート番号はシステムが使用しています。
2. カメラ 1 台あたり同時配信数は 1 2 まで。(2 MPカメラ使用した場合)
3. 全体の最大配信数は 1 4 4 となります(2 MPカメラを使用した場合)
4. 負荷率が最大 70%-80% までの設計で運用をしてください。

リレーサーバー機能を使用するには、リレーサーバー機能を有効にし、管理ポートを設定してください。

＝リレーサーバー使用時の同時接続数の目安＝

カメラ 1 台（※単体）あたり最大 12 ストリーム・最大 144 ストリーム
1920*1080 5-10fps カメラ 16 台使用時（※録画）Dual-Eye 3rd 8-9
台まで接続可能

※ただし、接続においては、レコーダー側のシステム負荷の状態を確認してください。また、リレーサーバーは 20 台以下のレコーダーのみ、使用してください。それ以上は、ストリーミングサーバーの導入をお勧めします。

Web Liveview -- 開発中の機能です。

4. ドアホン SIF ポート設定

NVR はアイホン製のドアホン（IX シリーズ）、ナカヨ製のドアホン（IPCAMDH3）に対応しており、ドアホンのコールボタンを押すことでアラーム録画もできます。

※アイホン製ドアホンのカメラ登録はポート番号 10080 を設定してください。

対応しているドアホンに接続して連動させるには、「ドアホン SIF ポート設定」を有効にし、管理ポートを入力してください。

※別途、ドアホン側にも設定が必要です。詳しくは販売店にお問合せください。

ネットワーク・サービス設定

ネットワーク・サービス設定 アクセス禁止/事件リスト リレーサーバーポート設定 **ドアホンSIFポート設定**

SIF

呼び出し

管理ポート番号 55555

注意: ポート1234~1362, その他一部のポート番号はシステムが使用しています。

適用 リセット

通話ボタンによる録画を有効にする場合は、NVR メニューイベント&アクションの設定にて設定を行ってください。

5.5.3 設備検査ツール

Ping ツールとなります。疎通を確認したい装置の IP を入力し、テストボタンを押してください。

設備検査ツール

Pingテスト

リモートデバイスのIPアドレス

テスト

5.5.4 DDNS

DDNS

サービス ☐ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip

有効 ☐

更新サーバー (最大文字数: 64 文字)

ユーザ名 (最大文字数: 128 文字)

パスワード (最大文字数: 64 文字)

Host Name (最大文字数: 128 文字)

DDNS (Dynamic Domain Name Service) とは、固定 IP を使ってインターネット経由で NVR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせ、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。

DIGISTOR が対応している DDNS は、

①ipcam.jp ②nwcam.jp ③DynDNS ④No-IP ⑤ChangeIP です。

DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。

DDNS

サービス ☒ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip ☐ ChangeIP

有効 ☒

更新サーバー (最大文字数: 64 文字)

ユーザ名 (最大文字数: 128 文字)

パスワード (最大文字数: 64 文字)

Host Name (最大文字数: 128 文字)

例：ipcam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（例：ユーザ名：001、パスワード：ab cdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさせます。

ユーザーは IP アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.5.5 YouTube ライブ

YouTube Live 機能は、YouTube と連携して配信できる機能です。

詳しくは、You tube をご参照ください。

配信を行いたいカメラ、ストリームを選択、取得したストリーム URL、ストリームキーを入力して「適用」ボタンを押してください。

YouTubeライブ

YouTubeライブ

YouTubeライブ設定

No.	カメラ	ストリーミング	圧縮方式	ストリームURL	ストリームキー	配信 ON/OFF
1	3-カメラ3	stream 1	H264	rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2	XXXXXXXXXX	☒
2				rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2		☐
3				rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2		☐
4				rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2		☐

注意: H.264のみ対応しています。
注意: 音声対応カメラのみ対応しています。

適用

YouTubeライブリスト

No.	カメラ	ストリーミング	共有リンク	状態	メモールを添付
1	3-カメラ3	stream 1	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	☒	☐
2				☐	☐
3				☐	☐
4				☐	☐

適用

※注意：YouTube で本機能を使用するには、H.264 及び音声の配信ができるカメラの選定が必要です。

YouTube ライブリストにて登録したカメラの共有リンクを入力し、



ボタンを押すと、配信状態の確認ができます。

また、状態ボタンのを入れて適用ボタンを押すと配信開始、を外して適用ボタンを押すと配信が停止します。

※配信仕様等の詳細内容は、YouTube サイトを参考ください。

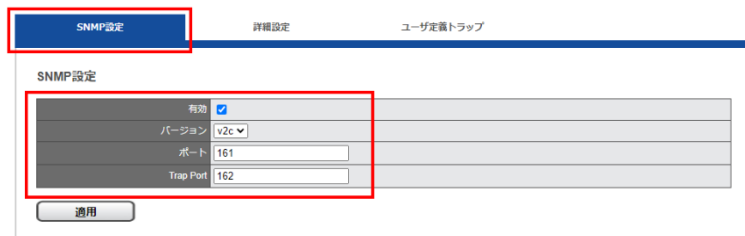
5.5.6 SNMP サーバー

●SNMP 設定 ※SNMP エージェント機能

SNMP (simple network management protocol) を使用し、一般的な SNMP マネージャーソフトウェアを使用、ネットワーク経由で DIGISTOR を監視及び管理できる機能です。

※MIB 情報ファイルなど、詳しくは販売店にお問い合わせください。

SNMPサーバー



SNMP設定

有効 ☒

バージョン v2c

ポート 161

Trap Port 162

適用

「ネットワーク」→「SNMP サーバー」→「SNMP 設定」にて、SNMP の設定を入力してください。

バージョン： ver 2 / Ver 2c を選択してください。

ポート： ポーリングで使用するポート番号を入力してください。

Trap ポート： トラップ時に使用するポート番号を入力してください。

SNMPサーバー



SNMP設定 詳細設定 ユーザ定義トラップ

コミュニティ設定

コミュニティ名称 追加

コミュニティリスト

コミュニティ名称	操作
ROD	✕

Trap設定

Trapアドレス	Community	操作
		追加

Trapリスト

Trapアドレス	Community	操作
192.168.100.14	ROD	✕

詳細設定にて、コミュニティ名称を追加、SNMPTrap を使用する場合は、「Trap 設定」にて受信側 SNMP マネージャーの設定を入力し、追加を行ってください。

SNMPサーバー

SNMP設定 トラップ情報の配信選択

トラップ情報の配信選択

☒ システムトラップ	☒ 起動	☒ シャットダウン	☒ 異常シャットダウン
	☒ ネットワークの切断	☒ IO入力	☒ HDD温度不均衡通知
	☒ HTTP-60外部イベント	☒ NTPサーバー同期失敗	☒ フェイルオーバーサーバーへ移行
☒ ハードウェアトラップ	☒ ファン異常イベント	☒ 冗長化電源イベント	☒ USBデバイスの取り付け
☒ カメライベントトラップ	☒ カメラのIO入力	☒ カメラのモーション検知	☒ カメラ接続不良
	☒ FPS通知		
☒ HDDトラップ	☒ HDDオンライン	☒ HDDオフライン	☒ HDD故障
	☒ HDD不良セクターの検知	☒ HDDリード/ライトエラー	☒ HDD故障
☒ RAIDトラップ	☒ RAIDリビルド状態	☒ RAID異常状態	☒ RAID再アクティブ
	☒ RAIDリビルド完了		

「トラップ情報の配信選択」を設定すると、必要のない SNMP トラップを停止することができます。

※HDDトラップ、RAIDトラップに関しては、重要なトラップのため変更できません。

注意：ネットワーク切断のイベントは、LAN ケーブルが 2 本使用されている場合のみ SNMP トラップを行います。また、カメライベントトラップは、DIGISTOR のイベント設定の使用時のみ動作します。

■SNMPで使用、取得できる内容について

1. システム 2. ハードウェア 3. カメラ
等の状態

++++++

1. システム状態

システム情報“ポーリング”

■システム情報

サーバー名	-- NVR 名を取得します。
サーバーMAC	-- 接続されている NVR の MAC アドレスを取得します。
NTP の IP	-- 内蔵 NTP サーバーのアドレスを表示します。
最後に起動した時間	-- 最後に起動した日時を表示します。
CPU 使用率	-- CPU 使用率を表示します

■ファームウェア情報

型名	-- レコーダーの型名を表示します。
シリアル	-- レコーダーのシリアル番号を表示します。
ファームウェア Ver	-- レコーダーのファームウェアの情報を表示します。
最終のアップグレード時間	-- 最後にアップグレードを行った日時を表示します。

■ハードウェア情報

CPU 温度	-- CPU の温度を表示します。
CPU ファンのスピード	-- CPU ファンの速度を表示します。
システム温度	-- システムの温度を表示します。
システムファン数	-- システムファンの総数を表示します。
=システムファンテーブル	
=ファンエントリ	
=ファンインデックス	
ファンのスピード	-- それぞれのファンの回転数を表示します。

■ユーザー情報

ユーザーの数	-- 登録されているユーザーの数を表示します。
=ユーザーテーブル	--
ユーザー名	-- 登録されているユーザー名を表示します。
ユーザーパスワード	-- 登録されているユーザーパスワードを表示します。
ユーザーアクセスレベル	-- 登録されているユーザーのアクセスレベルを表示します。

システム状態“トラップ”

■システムトラップ

起動

シャットダウン

異常シャットダウン

ネットワークの切断

IO 入力

HDD 容量不足通知

HTTP-in 外部イベント

NTP サーバー同期失敗

フェイルオーバーサーバーへ移行

■ハードウェアトラップ

ファン状態イベント

冗長化電源イベント

USB デバイスの取り外し

2. カメラの状態

カメラ状態“ポーリング”

■カメラ情報

最大カメラサポート数 -- 登録できるカメラの総数を表示します。

有効なカメラ数 -- 動作しているカメラの総数を表示します。

==カメラテーブル

==カメラエントリー

カメラインデックス

カメラ数 -- 登録されているカメラの総数を表示します。

カメラブランド -- 登録されているカメラのブランド名を表示します。

カメラの IP アドレス -- 登録されているカメラの IP アドレスを表示します。

カメラ状態 -- 登録されているカメラの状態を表示します。

カメラフォーカス -- 使用しません。

ビデオサーバーからのカメラ数 -- 登録されているビデオサーバーの数

カメライベント“トラップ”

■カメライベントトラップ

カメラの IO 入力

カメラのモーション検知

カメラ接続不良

FPS 通知

3. ストレージの状態

HDD 状態“ポーリング”

HDD 数	--	挿入されている HDD の総数
==HDD テーブル	--	
==HDD エントリー		
==HDD インデックス		
HDD モデル名	--	接続されている HDD の型名を表示します。
HDD シリアル番号	--	接続されている HDD のシリアルを表示します。
HDD 容量	--	接続されているそれぞれの HDD の容量を表示します。
HDD 状態	--	HDD の状態を表示します。0 は正常
HDD スマート	--	HDD のスマート状態を表示します。0 は正常
HDD 温度	→	接続されているそれぞれの HDD の温度を表示します。

HDD “トラップ”

HDD オンライン

HDD オフライン

HDD 挿抜

HDD 不良セクターの検出

HDD リード/ライトエラー

HDD 故障

■ RAID “トラップ”

RAID リビルドの状態

RAID 同期状態

RAID 非アクティブ

RAID リビルド失敗

※MIB 情報ファイルなど、詳しくは販売店にお問い合わせください。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理設定を行うことができます。

▼ 管理

- > ユーザー管理
- > フェイルオーバー機能
- > 定期通知

5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。

管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の 2 グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが、自分のパスワードしか変更できません。

1. ユーザーの作成

● Power User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。

「適用」をクリックするとユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

● User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックの入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

No.	名前	グループ	AD Group	ドメイン	行動規則	ライブ形式	P2P	マルチ・サーバー	バックアップ	録画再生	スナップショット	検索のエクストラスポート	FTPの書き込み	FTPの読み込み	ディレクトリ操作	ネットワーク設定	システムのログ	システムのアップグレード	画面表示とシャットダウン
ユーザ一覧																			
ユーザの作成																			
Active Directory																			
詳細設定																			
ユーザ - リスト																			
ユーザー名: 有効期限: パスワード: ランダムパスワード: ☐ グループ: Eメール: グループ(ワーク-ユーザ)																			
名字(姓) ☒ すべて ☐ カメラ1 ☐ カメラ2 ☐ カメラ3 ☐ カメラ4 ☐ カメラ5 ☐ カメラ6 ☐ カメラ7 ☐ カメラ8 ☐ カメラ9																			
P2P機能 ☐ マルチ・サーバー ☐ 絶電力 ☒ すべて ☐ カメラ1 ☐ カメラ2 ☐ カメラ3 ☐ カメラ4 ☐ カメラ5 ☐ カメラ6 ☐ カメラ7 ☐ カメラ8 ☐ カメラ9																			
スナップショット ☐ 検索のエクストラスポート ☐ 書き込み ☐ 読み取り																			
FTP ☐ ディレクトリ管理 ☐ ネットワーク転送 ☐ システムログ ☐ システムのアップグレード ☐ 画面表示とシャットダウン																			
Advanced Privilege																			
適用 リセット																			

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。
Userの権限変更を行う時は、適宜変更して「適用」をクリックします。
登録しているユーザーを削除する時は、リストで選択し、「削除」をクリックします。

ユーザー管理																
ユーザーの作成			ユーザーの更新				パスワードの更新									
詳細設定																
ユーザー・リスト																
No.	名前	グループ	Eメール	Expiry day	タイムゾーン	性別	マルチユーザー	録画再生	スナップショット							
1	user	user		1	O	X	X	1	O							
2	exp	user		1	X	X	X	O	X							
3	fulluser	power user		1,2,3,4,5	O	O	O	1,2,3,4,5	O							

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。
「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

※admin（管理者）ユーザーの作成は行えませんが、admin ユーザ名を変更できるようになりました（※ver7.7 より）。

ユーザー管理

ユーザーの作成

ユーザーの変更

ユーザー名 / パスワードの変更

Active Directory

詳細設定

ユーザー名 / パスワードの変更

ユーザー名	admin ▼	新しいユーザー名	admin (最大数: 32 文字)
パスワード			(最大数: 32 文字)
新しいパスワード			(最大数: 32 文字)
パスワードの再入力			(最大数: 32 文字)
ユーザー指定パスワード	0		
ランダムパスワード	0		
Eメール			

注意: ユーザー名 / パスワードに使用できる特殊文字は ! \$ % & ' * () , . _ : ; { } [] ^ & # ~

適用 リセット

4. Active Directory

※検証中の機能です。

5. 詳細設定

ユーザー管理

ユーザーの作成

ユーザーの変更

パスワードの変更

Active Directory

詳細設定

詳細設定

ローカル匿名アクセス	☐ 有効
再起動時の自動ログイン	☒ 有効
最大ログイン数	6 (最大数: 128)
ログアウトの時間	600 秒 (最大数: 3600)

適用

5.6.2 フェイルオーバー

フェイルオーバーとは、稼働中の NVR に障害が発生した際、その機能を自動的に引き継ぎ、処理を実行する機能です。例えば、1 台の NVR に対し 1 台のフェイルオーバーサーバーを導入することで、万が一のレコーダー障害等に対しての大きな録画欠損を避けることができます。

※最大 4 台までの NVR を管理、監視します。

※カメラ台数の上限は、登録チャンネル数までとなります。64ch であれば 64 台のカメラとなります。

●フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定

詳細設定

NVR No.

NVR名

IPアドレス

ポート

管理番号

パスワード

NVRの検索

適用

NVRリスト

No.	NVR名	IPアドレス	ポート	登録
1			80	
2			80	
3			80	
4			80	

ヒント: NVRのフェイルオーバーサーバーは設定された時間に同期を行います。

■本設定は、フェイルオーバーサーバーとなるレコーダーで設定を行います。レコーダーの設定を入力し、「適用」を押下することで、フェイルオーバー機能が有効となります。

※フェイルオーバー機能を有効にしたレコーダーのカメラ設定は消去されます。

●詳細設定

フェイルオーバーの切り替えタイミングの設定を行えます。

フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定

詳細設定

詳細設定	
監視対象	NVR設定画面の監視 (60) 秒 (30-180)
フェイルオーバーの呼び出し	設定されたIPアドレスに接続できなくなった場合、フェイルオーバーを呼び出します。 (最大 10 番以内)

ヒント: フェイルオーバーサーバーは、設定されたサーバーに対し定期的に確認を行い、異常があった場合、フェイルオーバーの機能を動作します。

適用

詳細設定より、監視先のレコーダーに対する確認回数を設定することが可能です。

フェイルオーバーサーバーは監視対象のレコーダーを定期的に監視し、異常なレスポンスが設定回数に達した場合、フェイルオーバーサーバーが動作して代替録画処理を行います。

※監視間隔 30-180 秒

※監視回数設定可能範囲：1-10 回

カメラ設定引き継ぎ後のカメラとの再接続の時間を考慮し、切り替えにかかる時間は最低 10 分程度とご想定ください。

5.6.3 定期通知機能

ライブ映像にて定期通知を行いたい場合に設定する機能です。

定期通知

定期通知

No. 3

開始 2017 年 1 月 16 日

間隔 1 日 (このフィールドの範囲はです。[1-2000])

件名

メッセージ

適用 リセット 削除

No.	開始	間隔	件名	通知されました (0/2)
1	2017-01-16	365	テスト	☐
2	2017-01-16	1	1日のテスト	☐
3				☐
4				☐
5				☐

上記の設定を入力し、登録することで、ライブ画面上で定期的にメッセージの通知を行うことができます。



開始時間と間隔、メッセージ内容を入力し、「適用」ボタンを押してください。

5.7 外部デバイス

▼ 外部デバイス

- > PoEスイッチ管理
- > POS System
- > Webリンク
- > Modbus IO Device
- > AI Box
- > AXIS IOデバイス
- > Access Control
- > UPS管理
- > バトライト
- > IP Controller

5.7.1 PoE スイッチ制御

(※専用の PoE 使用時の機能の為、使用しません)

5.7.2 POS Syetem

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.7.3 Web リンク機能

AI などの外部機器を登録し、PC からワンクリックでブラウザ接続できる機能です。

Webリンク

機器設定

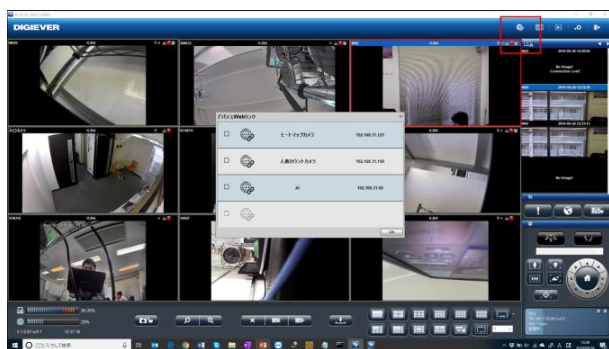
機器番号	2 ▼
デバイス名称	デバイス 2
IPアドレス	http://

保存

機器リスト

No.	デバイス名称	IPアドレス	リンク	カメラの選択(0/1) すべて
1	人数カウント	http://192.168.11.75/vm/index.htm#/setup/peoplecounting_search	リンク	☐
2				☐
3				☐
4				☐
5				☐
6				☐
7				☐
8				☐
9				☐

- ①使用したい VS-AI 等の IP アドレス、ポート番号を入力し、「適用」ボタンを押します。



- ②右上の地球儀のアイコンをクリックすると、登録したウェブリンク名が表示されます。アクセスしたいリンクをクリックしてください。

5.7.4 Modbus IO Device

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.7.5 AI BOX

DIGISTOR に AI-BOX を登録することで、AI-BOX が検知したイベントをトリガーに、イベント録画等の動作や AI 検索ができます。

サポート機種：WEBGATE 社製 AIBOX-B808B

※詳細は営業担当にお問い合わせください。



5.7.6 AXIS IO デバイス

AXIS 製 P8221/D3110 を NVR に登録して、その外部入力を利用することができます。

「管理」メニューから「外部 IO デバイス」を選択してください。

- ▼ 管理
 - > ユーザー管理
 - > ログ・システム
 - > 設定の保存 / 読み込み
 - > USB バックアップ
 - > 外部 IO デバイス
 - > UPS 管理

機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば、登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。

デバイス設定

イベント

デバイス設定

デバイス番号

Device 1

デバイス名

IPアドレス

ポート

80

管理者名

パスワード

メーカー

型番

適用

リセット

検出

リスト

No.	デバイス名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	記録
1			80			

リストには登録された機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。

登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

5.7.7 Access Control

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.7.8 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

●UPS の情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

●UPS 管理の設定 : スマート・シャットダウンと復旧

タイプ :

USB で接続

⚠ 注意 : USB で接続を行った際、DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS-R」と「UPS1010SS-R」です。

UPS管理

UPS情報

UPSの情報	
メーカー	YEC
型番	UPS510SS
電圧の状態	ONLINE
バッテリー電圧	100%
平均バッテリー稼働時間	8分

UPS管理の設定

タイプ ☒ USBで接続 ☐ SNMPで接続

☒ 有効
UPSのバッテリー容量が次の値に達すると [20] % スリープモードに移行します。

☐ 有効
UPSのバッテリー容量が次の値に達すると [50] % イベントがトリガーされます。
(ONLINE go to イベントと動作の管理 の設定を行って下さい。)

適用

※USB 接続で UPS との接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定: UPS のバッテリー容量が X%に達すると自動的にスリープモードになります。

SNMP で接続

⚠ 注意 : SNMP で接続を行った際、DIGISTOR シリーズが対応している UPS は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社製「BU150R+SC21 (ネットワークカード)」の組み合わせとなります。

UPS管理

UPSが見つかりません。

UPSの編集

メーカー	
型番	
電圧の区画	
バッテリー電圧	
充電/ディชาร์จ保持時間	

UPS情報の設定

タイプ	☐ USBで接続 ☒ SNMPで接続
設定	UPSのIPアドレス 192.168.200.45 AC電源が遮断された場合は、サーバーは自動的にシャットダウンを行います。 0 100

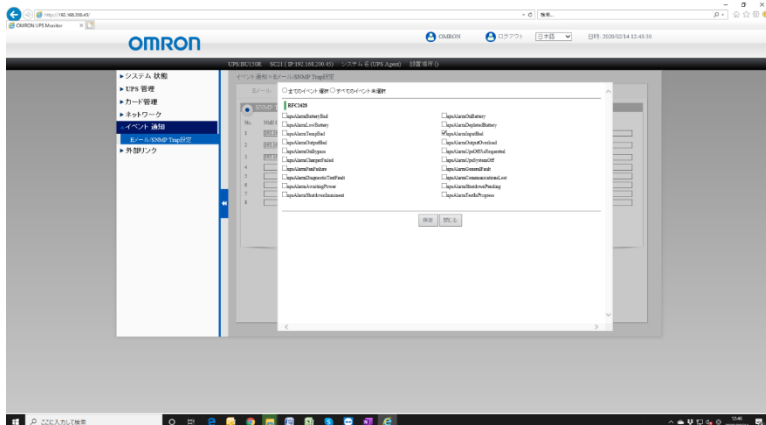
適用

UPS の IP アドレスを指定して接続を行います。正常に接続が行われると、UPS の情報欄に機器の情報が表示されます。

設定：UPS の IP アドレス、またシャットダウン時間を指定し、UPS 側の AC が遮断されると、指定時間の経過後、自動的にシャットダウンを行います。

※LAN のみの仕様要件となります。

イベント通知→Eメール/SNMP Trap 設定にて
NVR の”IP アドレス、Trap タイプ ”RFC1628、Trap バージョン
”v2c 、 イベント選択にて、上画面の内容を入力してください。



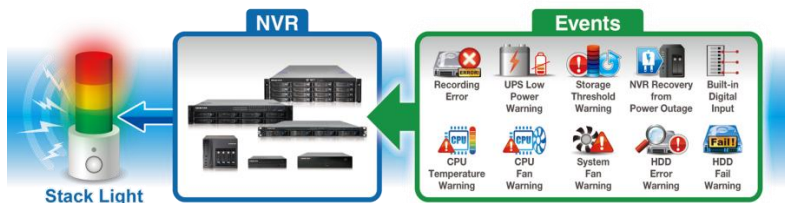
“upsAlarmInputBad”でのシャットダウンの設定例です。

※他、詳細設定が必要な場合、詳しくは UPS の取扱説明書をご参考ください。

5.7.9 パトライト

パトライト製ネットワークパトライトを使用することで、HDD エラーなどのイベントが発生した際に、いち早く状況を知ることができます。

参考図：



サポート機種：NHx-3FB1-RYG

接続パトライト数：4 台まで

※パトライト点灯時のイベントの解除は、手動で行ってください。

機器設定

機器設定

機器番号	1 ▼		
機器名称	Device 1	IPアドレス	rodweb.dip
ポート	80	パスワード	

機器リスト

No.	機器名称	IPアドレス	ポート	全て ☐
1			80	☐
2			80	☐
3			80	☐
4			80	☐

デバイス名、IP アドレス等の情報を入力し、「適用」を押すことで登録できます。動作に関しては、イベント&アクションの設定にて動作設定を行ってください。

5.7.10 IP Controller

(※専用の端末との連動機能の為、使用しません)

5.8 システム

▼ システム

- > Device Information
- > システムログ
- > 設定の保存／読み込み
- > ブザー
- > システムのアップグレード
- > 日付と時刻
- > 言語
- > 再起動とシャットダウン

5.8.1 機器情報

「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

●システム情報：

オペレーティング・システム、OS バージョン、NVR バージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

●位置確認：

ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。

情報

型番	NVR-4116
ファームウェアバージョン	2.1.1.50-1
MACアドレス	20:10:7a:ae:76:7c, 20:10:7a:ae:76:7d
OS	Embedded Linux
OSバージョン	Linux version 3.2.29
CPU	Intel(R) family
ネットワーク・アダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

●エンクロージャー情報：

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

注意： NVR の動作環境は 0～40 度です。

Temperatures	
CPUの温度	49 °C
VMMの温度	48 °C
システムの温度	38 °C

ファンの回転速度	
CPUのファン	1708 RPM
システムのファン 1	952 RPM
システムのファン 2	1814 RPM

5.8.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。

DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります：

ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

ハードウェア・ログ	NVRログ	イベント・ログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

ハードウェア・ログ・リスト		
日付	レベル	ページ
All	All	1
<<	<	>
>>	表示件数	20
Save		
日付と時間	レベル	メッセージ
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable fan control.
2014/03/19 21:47:53	info	[HW] System is starting to work

●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。

ハードウェアログ **NVRログ** イベント・ログ

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

NVRログ

日付: All レベル: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export to file.
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export during 2014-03-21 15:00 to 2014-03-21 16:00.

●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。

ハードウェアログ NVRログ **イベント・ログ**

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

イベント・ログ

日付: All レベル: All カメラ: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	番号	メッセージ
2014/03/25 12:48:59	notice	1	[Event] Motion detected.
2014/03/25 12:45:26	notice	1	[Event] Motion detected.

●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。

ハードウェアログ NVRログ イベント・ログ

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

現在のユーザー

日付と時間	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	admin	192.168.0.51	[CurUSER] Access /cfg_management_log_currentuser.htm

●ユーザー履歴

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

ハードウェアログ
NVRログ
イベントログ

現在のユーザー
ユーザー履歴
アクセス履歴

ユーザー履歴
日付: All レベル: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 12:51:39	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 11:59:32	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login

●アクセス履歴

SAMBA や FTP を使って NVR にアクセスした情報が記録されます。

現在のユーザー
ユーザー履歴
アクセス履歴

接続ログ
日付: All レベル: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

ログ・ファイルのエクスポート

ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。

現在のユーザー
ユーザー履歴
アクセス履歴

接続ログ
日付: All レベル: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

5.8.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

●設定の保存

設定の保存／読み込み

保存先を、ボリュームとフォルダのメニューから選択し、ファイル名（拡張子は cfg）を決定して「適用」ボタンを押してください。

デフォルトのタイプ（カメラ設定～）の場合、設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、Eメール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルは、NVR 内の共有フォルダに保存されます。Windows ネットワークまたは FTP サービスを使い、PC から設定ファイルにアクセスできます。

●設定の読み込み

設定の読み込みを行うことで、設定ファイルの適用ができます。

※「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、Eメール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択し、保存した「cfg ファイル」を選択して「適用」をクリックしてください。

5.8.4 ハードウェア設定

①ブザー

ブザー警告の有効・無効の設定が可能です。

また、何らかの理由でブザーが鳴った場合は、「ブザーの停止ボタン」を押し、ブザーを停止してください。

ハードウェア設定

ブザー リセットボタン

設定

ブザー警告 ● 有効 ○ 無効 ブザーの停止

適用 リセット

②リセットボタン

本体背面にあるリセットボタンの有効／無効を設定できます。

「適用」ボタンを押して適用してください。

ハードウェア設定

ブザー リセットボタン

リセットボタン

有効 ☒

適用

5.8.5 システムのアップグレード

ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

注意：アップグレード実施前に必ず再起動していただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

1. ブラウザを用いたアップグレード

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを、弊社 HP または販売店より取得し、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍します。
- (3) 「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。
- (4) 「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。



- (5) 「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

※念のため、アップグレード前に録画装置の再起動をお願いします

2. ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを弊社 HP または、販売店より取得し、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍して、USB ストレージに保存します。

注意：アップグレード実施前に必ず再起動していただき、再起動後にファームウェアのアップグレードを実施してください。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

- I. 「マイコンピュータ」を開きます。
 - II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
 - III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
 - IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。
-
- (3) NVR にローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。
 - (4) NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。
 - (5) 「設定」ページに移動し、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。
 - (6) システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認してください。

3.ソフトウェアを使用してのアップグレード ※ver 69 から



上記のソフトウェアをインストールすることで、複数台のレコーダーのアップグレードを同時に行うことができます。※ローカルネットワークのみ

1. アップロードするファイルを選択してください。
2. アップグレードを行いたいレコーダーを選択してください。
3. アップグレードのボタンを押してください。

※ネットワーク上の何らかの理由により、機器の IP アドレスが検出できない場合は、このソフトウェアでのアップグレードはできません。手動でアップグレードを行ってください。

5.8.6 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

●セッアップ

手動で設定する時は、年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。

※パソコンから時刻を取得しての補正も可能です。

日付と時間

手動設定	タイム・ゾーン	電源同期機能
日付の表示形式		
日付の表示形式: YYYY / MM / DD ▼		
日付と時間		
パソコンから時刻を取得する 日付: 2022-1-6 時間: 13:13:37 更新		
年: 2022 ▼		
月: 1 ▼		
日: 6 ▼		
時間: 13 ▼ 13 ▼ 10 ▼		
適用 リセット		

●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

日付と時間

手動設定

タイム・ゾーン

電源同期機能

タイム・ゾーン設定

タイム・ゾーン

(GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo

☐ サマータイムを使用する

NTPサーバーアドレス

接続テスト

time.stdtime.gov.tw (プライマリサーバー)

(セカンダリサーバー)

(ターシャリサーバー)

☐ NTPサーバーと同期する

☒ 毎月 1 日 0 0 (時:分)

☐ 毎週 日曜 0 0 (時:分)

☐ 毎日 0 0 (時:分)

時間差が 30 秒以上の場合、時刻同期を行う。(1-180)

NVR内蔵NTPサーバーアドレス 192.168.31.201

適用

リセット

NTP サーバーアドレス :

NTP サーバーを 3 つ設定可能です。

NTP サーバーと同期を行うには、「NTP サーバーと同期する」にチェックを入れ、時刻補正を行いたい時間、及び時間差を入力してください。

●電源同期機能

使用しません

5.8.7 言語

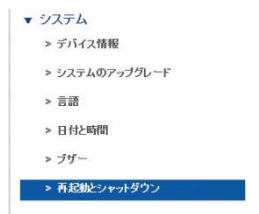
「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.8.8 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。

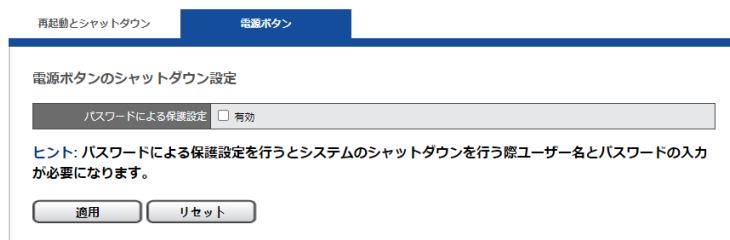
「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。

「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。



※電源を落とす場合は、必ず「シャットダウン」を選択するか、もしくは前面ボタンを長押し（2 秒程度押すと 1 度ビープ音が鳴ります。ビープ音が鳴った後、電源ボタンから指を離してください。シャットダウンには、しばらく時間がかかります。）し、電源を切ってください。

電源ボタン



また、パスワードによる保護設定を行うと、電源ボタンを押した後、パスワードの入力を行い、シャットダウンを行うことができます。

+++++

《補足 1》

=カメラ追加アップグレード=

カメラを追加アップグレードしたいレコーダーの情報を取得してください。
※型番及び、“MAC アドレス”もしくは、本体記載のシリアル番号の情報が必須です。

※カメラ追加アップグレードは PC を使用して行います。

※以前の録画データを削除する必要はありません。

機器にログイン後、「設定」→「機器情報」より、その情報の確認ができます。

機器情報

システム情報		エンジンジャーナル情報
情報		
型番	DS-1105 Pro	
ファームウェアバージョン	2.1.0.64-2	
MACアドレス	d0:50:99:4c:bfc:c	
OS	Embedded Linux	
OSバージョン	Linux version 3.13.6	
CPU	Intel(R) family	
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps	
位置確認	位置確認	

上記の情報を元に、アップグレードキーのファイルを発行します。

アップグレードのキーファイルを受け取ったら下記アドレスを入力し、アップグレードキーの画面に移行してください。

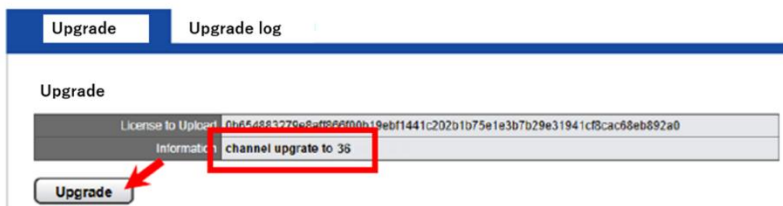
http://レコーダーの IP アドレス/cfg_management_licensecheck.htm

Camera number upgrade

Upgrade	Upgrade log
Camera number upgrade	
アップロードするファイル	参照...
状態	準備完了
情報	Maximum 5 IP Camera connections are permitted
ヒント: System must be restarted when you finished this checking proceeding, no matter the camera number upgrade or not	
Checking	

上記メニューでファイルの「参照」ボタンを押し、お送りしたキーファイルを選択した後、「Checking」ボタンを押してください。

Camera number upgrade



License to Upload	Information
0be548832726e8aff856500b19ebf1441c202b1b75e1e3b7b29e31941cf8cac58eb892a0	channel upgrade to 3s

Upgrade

ファイルをアップロードすると、下記の画面が表示されます。

「Upgrade」ボタンを押し、カメラ追加アップグレードを開始してください。

※ファイルに不備があった場合、下記の画面が表示されます。

Checking

File to upload	瀏覽...
Status	Error!!
Information	error

1. 「カメラ」→「カメラ設定」内のリストにチャンネルが追加されます。
 2. 念のため機器ログイン後、「設定」→「機器情報」より内容の確認をお願いします。
- ※確認後、念のためレコーダーの再起動をお願い致します。

《補足2》

■DS-2205(B) UHD/4220 UHD

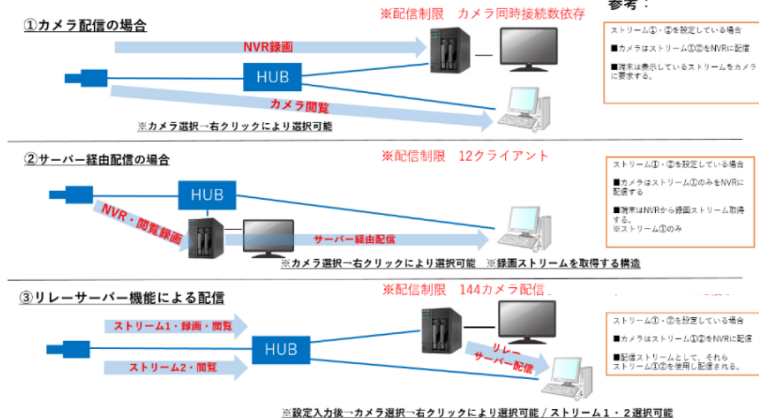
※ローカル・ディスプレイ使用時の最大コマ数

「1920*1080」の場合、最大 360 コマ 「1280*720」 の場合、最大 480 コマ
「640*480」の場合、最大 800 コマ 「320*240」の場合 最大 900 コマ

※システム負荷 約 60%

※レコーダー使用時に時折、瞬間的に 100%程度になることはありますが、上書き
処理をしている間のため全体の負荷への影響はありません。

Digistorでの配信選択について(Ver.7.7以降)



こんな時は？

正常に動作しない場合、まずは以下の表でお確かめください。

以下の表にて内容をご確認いただき、該当する項目があればご確認をお願い致します。その他不明な点がございましたら、販売店へご確認ください。

現象	確認事項
カメラのライブ映像が表示されない	カメラの電源／HUB の電源が入っているかを確認してください。
	DIGISTOR の LAN ケーブルが抜けていないか／ネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	ログインしているユーザーがカメラ映像表示可能なユーザーかを確認してください。
	レイアウトにカメラが割り当たっているかを確認してください。
	PC 使用時、DG デコードの機能が有効になっている場合は、無効にして確認してください。 ※DG デコード非対応の PC は項目がグレーアウトしています。
録画再生ができない	ログインしているユーザーが録画再生可能なユーザーかを確認してください。
	録画モード／スケジュール設定を確認し、録画設定が行われているかを確認してください。
	HDD が認識されているかを確認してください。
PTZ 操作ができない	弊社ホームページに掲載しているカメラ対応リストを確認し、操作可能なカメラかを確認してください。
	ライブ画面にて一度別のカメラを選択した後、再度該当カメラを選択し、操作できるかを確認してください。
PC から DIGISTOR へアクセスできない	DIGISTOR の電源が入っていることを確認してください。
	PC／DIGISTOR の LAN ケーブルが抜けていないか、DIGISTOR のネットワークポートの LED が光っているかを確認してください。
	接続する DIGISTOR の IP アドレス／ポート番号が正しいかを確認してください。
	PC のネットワーク設定が DIGISTOR へアクセス可能な設定になっているかを確認してください。
	PC から PING コマンドを使用し、DIGISTOR との疎通確認を行ってください。